

# 現場説明書

1 工 事 名 平成 30 年度梅田橋修繕工事  
2 監 督 員 土木部 道路補修課

## 説明事項

### 1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

### 2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の 100 分の 10 以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、市長が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和 27 年法律第 184 号)第 2 条第 4 項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

### 3. 前払金について

前払金 する ~~しない~~

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

### 4. 中間前払金について

中間前払金 する ~~しない~~

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

### 5. 部分払について

部分払 する(        回以内) ~~しない~~

### 6. 継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度( <u>      </u> 年度)	%	支払限度額・請負代金額の %
第 2 年度( <u>      </u> 年度)	%	支払限度額・請負代金額の %
第 3 年度( <u>      </u> 年度)	%	支払限度額・請負代金額の %

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

## 7. 契約に関する事項について

### (1) 設計図書関係

- ア 土木工事等における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

### (2) 提出書類関係

- ア 請負代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
  - ・施工体制台帳
  - ・施工体系図
  - ・再下請負通知書(再下請負の発注がある場合)
- カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

### (3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

### (4) 支給材料、貸与品関係

- ア 支 給 材 料 あり なし
- イ 貸 与 品 あり なし

### (5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

### (6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

### (7) 部分引渡し関係

- 部分引渡し指定部分 あり なし

### (8) 火災保険等の関係

- 火災保険その他の保険の付保条件 あり なし

## 8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、[横須賀市ホームページ](#) > [入札の広場](#) > [工事](#) > [入札制度関連情報<工事>](#) において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

## 9. コリnzの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

## 10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合は、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。  
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮される事となる。

## 11. 施工計画書の提出について

### (1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

- ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事
- イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事
- ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

### (2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

### (3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

### (4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

## 12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

- (1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

- (2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

## 13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

## 14. 下請負者について

- (1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。
- (2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

## 15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

## 16. 技術的事項について（別紙）

## 請 負 工 事 仕 様 書

工 事 名	平成 30 年度梅田橋修繕工事
工 事 場 所	横須賀市内川 1 丁目 1 番地先
1. 工 期	( 1 5 0 日 間 )
	自 平成 年 月 日
	至 平成 年 月 日
2. 工 事 概 要	
	橋長 31.2 m 幅員 10.8～22.0 m
	橋梁支承工 1 式 橋梁付属物工 1 式 橋梁補修工 1 式 現場塗装工 1 式
3. 本工事の仕様は、神奈川県土木工事共通仕様書（平成 28 年 4 月）によるものとし、当該共通仕様書の共通編等における契約条項等は、本市の契約条項等に読替えて使用するものとする。（使用材料等の基準が改正された時は、新基準に基づくものとする。）	
4. 本工事の特記仕様書は、別紙のとおり。	

# 特記仕様書

## 1 施工管理について

本工事の施工管理の方法、品質及び出来形の規定値は、平成 28 年 4 月の神奈川県土木工事施工管理基準によるものとし、監督員の指示に従い施工管理を行うものとする。

## 2 出来形について

出来形については、管理図により出来形図表を作成するとともに、設計図に朱色で完成寸法を入れた資料を提出すること。

## ~~3 現場密度の測定について~~

~~下層路盤、上層路盤及びアスファルト舗装が 300 m<sup>2</sup>未満の工事は、原則として異常が認められた場合のみ、現場密度の測定を行うものとする。~~

## 4 法定外の労災保険について

本工事の現場管理費には、法定外の労災保険の経費を含んでいるので、その写しを提出すること。

## 5 工事写真帳について

(1) 工事写真用アルバム (32×33.5 cm 緑色) を使用する。

(2) 工事写真帳が、2 冊以上になる場合には (2 の 1) 、 (2 の 2) と明記すること。

また、表紙に、工事名・工事場所・工期・発注者名・施工者名を記入し社印を押印し、背表紙をつけること。

(3) デジタルカメラで撮影した写真をプリントアウトし、工事写真帳に貼り付ける場合は、監督員の承諾を受けること。また、その場合は電子データ「CD」も併せて提出すること。

(4) 上記提出方法以外で工事写真帳を提出する場合は、監督員の承諾によるものとする。

## 6 しゅん工図の提出について

本工事完了後、請負者は、監督員の指示に従い、マルチ tiff 形式ファイル又は Pdf 形式で、しゅん工図を作成し提出すること。上記 2 形式で提出する場合には下記の(1)から(5)の通りとする。

なお、監督員と協議を行いマイクロフィルムにて作成し、提出することもできる。この場合には別途紙媒体 (A3 又は B4) を併せて提出すること。

Tiff 形式の場合

(1) しゅん工図はスキャナーで読取り、解像度は 400dpi とする。

Pdf 形式の場合

(2) CAD 図をイメージデータとし、解像度は 400dpi とする。

## Tiff・Pdf形式共通

- (3) 工事ID(ファイル名)は図面等一枚に1つとし、監督員と協議の上決定する。但し監督員が認めれば複数の図面等を一枚にすることができる。
- (4) 記録媒体は原則としてCDとする。
- (5) 提出するCD-Rのレーベル部には工事完成年度、工事名、工事場所、請負社名を明記する。  
また、ウイルス感染の無い事を確認し結果をCD-Rに記載すること。  
提出するデータについては、ウイルスチェックを実施すること。ウイルスチェックは成果物の納品前に実施する。実施内容については以下に従うものとする。

### ウイルスチェック

- ①請負者は、納品すべき最終成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。
- ②ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、できるだけシェアの高いものを利用する。
- ③最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)したものを利用する。
- ④納品する媒体のラベルに、ウイルスチェックに関する情報として以下を記載する。

### ウイルスチェックに関する情報

ウイルスソフト名：〇〇〇〇

ウイルス定義：平成〇年〇月〇日版

チェック年月日：平成〇年〇月〇日

## ~~7~~ 別途発注される測量業務について

- (1) 請負者は、本工事施工前に測量業務受託者と契約後速やかに打ち合わせを行い、請負者が責任をもって測量の工程が記入された実施工程表を作成すること。
- (2) 請負者は、工事に伴い境界標等の移設(撤去)が生じた場合は引照杭を設け、測量業務受託者の確認を受けること。
- (3) 測量業務受託者の行う境界標などの移設及び復元に際しては、原則として現場代理人が立ち会って確認すること。

## 8 熱帯材使用型枠の削減について

本目的は、地球環境保全の観点から、従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板(熱帯材100%のもの)を代替型枠材料(鋼製型枠、針葉樹型枠、複合型枠等)へ転換することにより、熱帯材使用型枠の使用量を削減し、熱帯材の保全に寄与することを目的とする。

- (1) 従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板(熱帯材100%のもの)は使用しないものとする。請負者は、これに替わる代替型枠の選択にあたっては、地球環境保全に配慮するとともに、その工事の作業条件等により、請負者の責任と費用負担により選択するものとし、代替型枠について、施工計画書に記載するものとする。

なお、工事完了後には、その使用実績を監督員に報告しなければならない。

- (2) コンクリート型枠用合板（針葉樹型枠、複合型枠）を使用する場合は、塗装されたものを極力使用し、その型枠の転用の増加を図るものとする。また、最終的な型枠材料の処理としては、できるだけ再利用等を図るなどして、資源のムダ使いを無くすよう努めるものとする。

#### 9 交通誘導警備員について

一般交通の支障となる箇所には、交通誘導警備員を配置し、交通安全に努めなければならない。（別添「施工条件明示書」4. 安全対策関係 18. 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置を参照のこと。）

なお、現場の実状、施工方法及び地元や交通管理者との協議等により、交通誘導警備員の配置に変更が生じた場合には、別途協議するものとする。

#### ~~10 建設発生土の搬出先への情報提供について~~

請負者は、本工事から他の市町村へ 100m<sup>3</sup>以上の建設発生土を搬出する場合は、「建設発生土搬出のお知らせ」により搬出前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX 等で提出しなければならない。

なお、情報提供後、速やかにその写しを監督員に提出しなければならない。

- (1) 工事件名、工事概要、工事場所
- (2) 工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先
- (3) 工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
- (4) 建設発生土の運搬業者名
- (5) 建設発生土の受入先名（搬出先事業所名等）、住所
- (6) 建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
- (7) 建設発生土の搬出時期（搬出期間）
- (8) 建設発生土の土質（砂、ローム等）、土量（m<sup>3</sup>）

#### ~~11 公共建設発生土処分にかかる指定処分について~~

##### (1) 受入場所

- ・ 処分場等の名称：横須賀市久里浜港受入地（UCR）
- ・ 場 所：横須賀市久里浜 8 丁目 2567 番地 62 久里浜港内

##### (2) 受入条件

- ・ 搬入不可日：原則として、土曜日・日曜日・祝祭日・旧盆・年末年始及び雨天日とする。
- ・ 搬入時間：原則 8:00～17:00
- ・ 土質条件：第 1 種～第 3 種建設発生土（改良土及び第 4 種建設発生土・泥土は受入不可）  
最大粒径 100 mm 以下の土砂であること。
- ・ 搬入経路：一部通行禁止の区間あり
- ・ 受入費

ほぐし土量 1.0m <sup>3</sup> 当たり（税別）	3, 310円
---------------------------------	---------



車 種	積載土量(ほぐし)	備 考
2 t 車	1.33 m <sup>3</sup>	土砂の単位体積重量は、 1.8t/m <sup>3</sup> として計算
3 t 車	1.99 m <sup>3</sup>	
4 t 車	2.66 m <sup>3</sup>	
10 t 車	6.66 m <sup>3</sup>	

※整理券発行枚数は、原則として搬入対象ほぐし土量を使用車種別に積載土量（ほぐし）で除し、少数以下を切り上げた整数枚とする。

ただし、現場から発生する土砂の単位体積重量が、1.8t/m<sup>3</sup>と著しく異なることにより、これによりがたい場合は監督員と協議することとする。

(3) 請負人は、自ら選定した仮置場に建設発生土を搬入する場合は、事前に監督員と協議すること。

#### ~~12 公共建設発生土処分にかかる確認処分について~~

(1) 請負者は、再生資源の利用促進に関する法律に基づき、当該現場から発生する建設発生土の利用促進に努めなければならない。

(2) 請負者は、関係法令を遵守し、安全性等を勘案のうえ、自らの責任において受入先を選定し、適切な施工を確認しなければならない。

(3) 請負者は、自ら選定した受入地に建設発生土を搬入する場合は、事前に監督員に届け出なければならない。

(4) 請負者は、別添「建設副産物実態調査に係る特記仕様書」に基づき再生資源利用促進計画書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。

#### ~~13 処理計画書の提出について~~

「神奈川県土砂の適正処理に関する条例」（平成11年10月1日施行）により、建設工事に伴い発生する土砂を建設工事の区域から500 m<sup>3</sup>以上搬出する場合は、監督員と速やかに協議し、処理計画書を県知事あてに提出すること。

#### 14 工事コストの表示について

契約金額（当初契約）が1000万円以上の工事は、工事標示板に工事請負額を表示するものとする。表示方法等の詳細は、監督員と協議の上決定するものとする。

#### 15 舗装版切断時に発生する濁水の処理について

##### (1) 処理方法

舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

## (2) 条件

請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

また、請負者が、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

## (3) 提出書類等

請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。

また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

なお、請負者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

## (4) その他

上記内容について疑義が生じた場合は、別添監督員と協議するものとする。

## 16 無石綿（アスベスト）化への対応について

使用する建材は、石綿を原材料としていないものを用いて施工すること。

また、下請負者を使用する場合は、同様の内容を周知し、徹底を図ること。

## ~~17 植栽樹木の枯れ補償について~~

植栽樹木等が工事完了引渡し後 1 年以内に植栽した時の状態で枯死又は形姿不良（枯枝が樹冠部のおおむね 3 分の 2 以上となった場合又は通直な主幹をもつ樹木については、樹高のおおむね 3 分の 1 以上の主幹が枯れた場合をいい、確実に同様の状態となると想定されるものを含む。）となった場合には、請負者は当初植栽した樹木等と同等又はそれ以上の規格のものに植替えるものとし、樹木等の枯死、又は形姿不良の判定は発注者と請負者とが立会のうえ行うものとする。

ただし、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、騒乱、暴動等の天災などにより流失、折損、倒木した場合はこの限りでない。

なお、植替え時期については発注者と協議するものとする。

この契約でいう樹木等とは「樹木、地被類」とする。

## 18 下検査の実施について

土木部では、請負金額 500 万円以上のものは下検査を実施するものである。必要となる書類は監督員の指示により、しゅん工前に提出すること。

~~19 屋外広告物（屋外に設置される公共サイン等）について~~

屋外広告物の設置は、横須賀市屋外広告物条例第 26 条の 3 に規定する屋外広告業者登録簿に登録されていること又は、同条例第 28 条の 6 第 8 項に規定する特例屋外広告業者届出簿に記載があること。

20 補助・単独合併工事に関する提出書類の作成について

本工事は国の交付金による工事（以下補助工事）及び市の単独費用による工事（以下単独工事）から成る合併工事である。

工事設計書の区別に従い、工事写真については補助工事分及び単独工事分を、それぞれ別冊として作成すること。

また、施工計画書並びに材料承認願等に記載する内容についても工事区分が判別できるように記載するものとする。

上記詳細については、別途監督員の指示による。

~~21 マンホール蓋等調整工事について~~

本工事範囲には、横須賀市上下水道局所管の下水道施設（マンホール蓋等）があり、工事実施にあたっては、マンホール蓋等の調整が必要となる。

そのため、本工事契約後には横須賀市上下水道局発注のマンホール蓋等調整工事を受注者と随意契約を交わし、本工事と併せて実施する予定である。

22 しゅん工検査時に必要な書類について

横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約・検査>検査情報>[土木工事関係書類一覧表](#) (H30.4.1時点) を参照し作成すること。

上記一覧表以外の書類については監督員の指示によるものとする。

23 ゴム製品等の品質確認等

受注者は、東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料（以下、ゴム製品等とする。別表参照）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を得るものとする。

なお必要な品質証明書は、以下の試験及び検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。

試験名	計測項目
通常状態での試験（常態試験）	硬さ、比重、引張強度、伸び
熱老化試験	熱老化前後での変化率（硬さ、比重、引張強度、伸び）
圧縮永久ひずみ試験	圧縮による残留歪み
製品検査	外観、寸法、性能

24 ゴム製品等の品質確認をした場合における瑕疵担保の取扱い

第三者による品質証明書類を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

25 橋梁塗装工

施工に先立ち、既設塗膜中の有害物質の含有量試験、溶出量試験を行うこと。

試験方法はそれぞれ「JISK5674：2008 附属書A,B」「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定法(第3版)塗膜くずー高分解能GC-HRMS法」「環境庁告示13号試験」に基づき行うものとする。

既設塗膜中の有害物質の含有量試験、溶出量試験の結果に基づき、請負者は監督職員と施工方法、施工中の安全対策等について協議しなければならない。

26 エポキシ系樹脂の規格と品質管理

接着注入用及びシーリング用として使用するエポキシ系樹脂、また定着アンカー注入用のエポキシ系樹脂は下表の試験項目と規格値に適合することを証明する試験成績表を1ロットごとに提出しなければならない。

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値	
				接着注入用	シーリング用
比重	JIS K 7112	20°C7日間	-	1.2±0.2	1.7±0.2
可使時間	温度上昇法	20°C	分	30以上	60以上
粘土	JIS K 6833	20°C	MPa・s	5000以下	-
圧縮降伏強度	旧 JIS K 7208 準用	20°C7日間	N/mm <sup>2</sup>	50以上	50以上
曲げ強度	旧 JIS K 7203 準用	20°C7日間	N/mm <sup>2</sup>	40以上	35以上
引張強度	JIS K 7113	20°C7日間	N/mm <sup>2</sup>	20以上	20以上
圧縮弾性係数	旧 JIS K 7208 準用	20°C7日間	N/mm <sup>2</sup>	(1.0~8.0)×10 <sup>3</sup>	(1.0~8.0)×10 <sup>3</sup>
引張せん断強度	JIS K 6850	20°C7日間	N/mm <sup>2</sup>	10以上	10以上
衝撃強度	JIS K 7111	20°C7日間	KJ/m <sup>2</sup>	3.0以上	1.5以上
硬度	JIS K 7215	20°C7日間	HDD	80以上	80以上

27 ひび割れ補修工

ひび割れ補修工は実施前にひび割れの状況を確認すること。

ひび割れ注入材はエポキシ樹脂系とする。

28 断面修復工

コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。

防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシ等でケレンし、防錆剤を塗布すること。

防錆剤の種類はポリマーセメント系とし、鉄筋の節部が残るように塗布して、断面修復材との付着に影響を与えないこと。

## 29 伸縮継手工

施工に先立ち、床版側伸縮装置のフェースプレートと床版面の高さを詳細に計測し、フィラープレートの加工図を作成しなければならない。

なお、当初はフィラープレートの製品費を計上していないため、監督職員と協議するものとし、必要に応じて設計変更の対象とする。

## 30 橋梁地覆補修工、沓座拡張工

当工種において使用する生コンクリートの水セメント比 (W/C) は55%以下とすること。

## 建設副産物実態調査に係る特記仕様書

- 1 元請業者は、建設資材利用量の大小や有無及び建設副産物発生量・搬出量の大小や有無にかかわらず、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源有効利用促進法」で定められた「再生資源利用 {促進} 計画書 (実施書) の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備 考
搬入する 建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト混合物	
	土砂	
	砕石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
その他の建設資材		
搬出する 建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A (柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事 (工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。) に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト (飛散性)	
その他の分別された廃棄物		
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土 (建設汚泥を除く)		

2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ<http://www.recycle.jacic.or.jp/>から建設副産物情報交換システムにログインする。  
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
- (3) CREDASの各種書類の印刷により、「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」を印刷し、施工計画書に添付する。
- (4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。
- (5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督員に提出する。
- (6) CREDASの各種書類の印刷により、「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式—」を印刷し、監督員の確認を受ける。
- (7) 完成図書に「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式—」を添付する。

### 3 データ入力上の留意点

#### (1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出（一種発生土～浚渫土）には、「地山m<sup>3</sup>」で入力し、建設資材利用（土砂）には、「締めm<sup>3</sup>」（表2、土量の変化率Cを考慮）で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100 m<sup>3</sup>  
 埋戻し 20 m<sup>3</sup> (締めm<sup>3</sup>) …… 「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。  
       22 m<sup>3</sup> (地山m<sup>3</sup>) …… 「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。  
       20 m<sup>3</sup>/変化率C (仮に0.9とする) = 22 m<sup>3</sup>  
 処分 78 m<sup>3</sup> (地山m<sup>3</sup>) …… 「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。  
       100 m<sup>3</sup> - 22 m<sup>3</sup> = 78 m<sup>3</sup>

#### (2) 建設資材利用について

- ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。
- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県建設リサイクル資材認定資材一覧表（以下、認定一覧表という）を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目(建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物
砕石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋) ※
	再生舗装用ブロック (平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋) ※
木材	再生木質ボード
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10(再生砂)を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材A・B、建設汚泥、建設発生土(第一種～第四種建設発生土及び浚渫土))について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を神奈川県コンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの)」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物となったもの)」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「6 ストックヤード(再利用先工事が決定)」と選択する。



## 施工条件明示事項

1. 当該工事の施工条件明示事項は、下記表□内の黒塗り部分が対象となる。  
ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではない。
2. なお、請負者は下記明示事項やそれ以外に該当すると思われるもので、明示されていない場合には、その都度監督員と協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項
■工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響 <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限(準備工期の設定等) <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立 <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響 <input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間 <input type="checkbox"/> 設計上、見込んである休日日数等以外の作業不能日数
□用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分 <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地 <input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用 <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容
■周辺環境関係 (公害、排水等)	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策 <input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設 <input checked="" type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策 <input type="checkbox"/> 事業損失防止関係
■安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定 <input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限 <input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策
■工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限 <input type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置 <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置 <input checked="" type="checkbox"/> 一般道路の占用
□仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物(仮土留、足場等)の他の工事への転用若しくは兼用 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定
■建設副産物関係	<input type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理
□薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工 <input type="checkbox"/> 周辺環境への調査
□工事支障物件等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在 <input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工
■その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き <input checked="" type="checkbox"/> 工事現場発生品 <input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品 <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等 <input type="checkbox"/> 架設工法の指定 <input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定 <input type="checkbox"/> 部分使用 <input type="checkbox"/> 給水の必要 <input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書

# 施工条件明示書

工事名 平成30年度梅田橋修繕工事

明示項目	明示事項	条件	内容	別添資料No.
<b>1 工程関係</b>				
1) <input type="checkbox"/> 他工事の開始又は完了の時期による影響	ある・ない	ある・ない	当該工事に影響のある他の工事 平成 年度 影響箇所・内容 他の工事の開始時期 平成 年 月 日 他の工事の完了時期 平成 年 月 日	
2) <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限	ある・ない	ある・ない	制限を受ける施工内容 制限を受ける施工時期 平成 年 月 日～平成 年 月 日 制限を受ける施工時期 開始 時 分から 終了 時 分まで 制限を受ける施工方法	
3) <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立	ある	ない	未成立協議内容 仮設工(吊り足場)の河川占用 について 神奈川県 と協議中 協議成立見込み時期 平成 30 年 10 月 31 日 頃	
4) <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響	ある	ない	河川管理者、道路管理者、交通管理者との協議により作業時間の制約があった場合は厳守すること。	
5) <input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間	ある・ない	ある・ない	事前調査(地下埋設物) 項目 地下埋設物等移設期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日	
6) <input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数	ある・ない	ある・ない		
<b>2 用地関係</b>				
7) <input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分	ある・ない	ある・ない	未処理部分の内容 処理の見込み時期 平成 年 月 日頃	
8) <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場の民有地等の借地	ある・ない	ある・ない	使用目的内容 使用場所 使用範囲 使用時期 平成 年 月 日頃 使用期間 工事期間	
9) <input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用	ある・ない	ある・ない	使用目的内容 使用場所 使用範囲 使用時期 平成 年 月 日頃 使用期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日	
10) <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容	ある・ない	ある・ない		
<b>3 周辺環境関係(公害、排水等)</b>				
11) <input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	ある	ない	対象となる工種 施工方法の制限 機械施設の制限 神奈川県土木工事共通仕様書(平成28年4月)P.1-21 1-1-1-30「環境対策」を参照のこと。 作業時間の制限 開始 09 時 00 分から 終了 17 時 00 分まで(昼間) 作業時間の制限 開始 22 時 00 分から 終了 翌06 時 00 分まで(夜間)	
12) <input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設	ある・ない	ある・ない		

# 施工条件明示書

工事名 平成30年度梅田橋修繕工事

明示項目	明示事項	条件	内容	別添資料No.																									
13)	■ 濁水、湧水等の処理対策	ある <input checked="" type="radio"/> ない	舗装版切断時に発生する濁水の処理については、別途特記仕様書「舗装版切断時に発生する濁水処理について」とおとりとする。																										
14)	□ 事業損失防止関係	ある・ない																											
<b>4 安全対策関係</b>																													
15)	■ 交通安全施設等の指定	ある <input checked="" type="radio"/> ない	現況調査を行い、作業にあわせた安全施設計画図を監督員に提出すること。また、関係機関等との協議の結果または条件変更に伴い、変更する必要が生じた場合は監督員と別途協議する。																										
16)	□ 近接工事での施工方法、作業時間等の制限	ある・ない	近接する施設 施工方法の制限  作業期間の制限 平成 年 月 日～平成 年 月 日 作業時間の制限 開始 時 分から 終了 時 分まで																										
17)	□ 落石、土砂崩落等に対する防護施設	ある・ない	防護施設の内容																										
18)	■ 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	ある <input checked="" type="radio"/> ない	<p>交通誘導警備員については、警備業法による警備員とし、配置場所については監督員と協議するものとする。なお、警備員の配置体制は下記を見込んでいる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工種 (種別)</th> <th>交通誘導警備員 A・B</th> <th>昼・夜間</th> <th>配置人員 (名)</th> <th>交替要員 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋上作業</td> <td>交通誘導警備員A</td> <td>夜間</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋上作業</td> <td>交通誘導警備員B</td> <td>夜間</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>交通誘導警備員B</td> <td>昼間</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、警察等の協議により変更が生じた場合は別途協議する。</p>	工種 (種別)	交通誘導警備員 A・B	昼・夜間	配置人員 (名)	交替要員 (名)	橋上作業	交通誘導警備員A	夜間	1	1	橋上作業	交通誘導警備員B	夜間	2	0	その他	交通誘導警備員B	昼間	2	0						
工種 (種別)	交通誘導警備員 A・B	昼・夜間	配置人員 (名)	交替要員 (名)																									
橋上作業	交通誘導警備員A	夜間	1	1																									
橋上作業	交通誘導警備員B	夜間	2	0																									
その他	交通誘導警備員B	昼間	2	0																									
19)	□ 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	ある・ない																											
<b>5 工事用道路関係</b>																													
20)	□ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	ある・ない																											
21)	□ 搬入路の使用後及び使用後の処置	ある・ない																											
22)	□ 仮設道路の設置	ある・ない																											
23)	■ 一般道路の占用	ある <input checked="" type="radio"/> ない	通行止め等とする場合は、所管警察署との協議は監督員が行うため、必要となる書類について別途監督員と協議を行うこと。																										

# 施工条件明示書

工事名 平成30年度梅田橋修繕工事

明示項目	明示事項	条件	内容	別添資料No.																								
<b>6 仮設備関係</b>																												
24) <input type="checkbox"/>	仮設物(仮土留、足場等)の他の工事への転用若しくは兼用	ある・ない	仮設物の内容 使用方法 期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日																									
25) <input type="checkbox"/>	仮設備の構造及び施工方法の指定	ある・ない	仮設備の構造 仮設備の施工方法																									
26) <input type="checkbox"/>	仮設備の設計条件の指定	ある・ない																										
<b>7 建設副産物関係</b>																												
27) <input type="checkbox"/>	残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件	ある・ない	別添特記仕様書「公共建設発生土指定処分について」参照。また、土砂検定の結果UCRへの搬出が出来ない場合、設計変更の対応とし、監督員と協議すること。 確認処分の場合は、監督員に届け出ること。																									
28) <input checked="" type="checkbox"/>	建設副産物の現場内での再利用及び減量化	ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	本工事においては下記のとおり、再生資材を使用するものとする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>規格</th> <th>用途</th> <th>資材名</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生加齢アスファルト混合料</td> <td>再生密粒度</td> <td>試掘工</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> なお、使用に際し品質が適正なものであるか確認するものとする。	資材名	規格	用途	資材名	規格	用途	再生加齢アスファルト混合料	再生密粒度	試掘工																
資材名	規格	用途	資材名	規格	用途																							
再生加齢アスファルト混合料	再生密粒度	試掘工																										
29) <input checked="" type="checkbox"/>	建設副産物及び建設廃棄物の処理	ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入れ場所</th> <th>運搬距離</th> <th>受入れ条件</th> <th>種類</th> <th>受入れ場所</th> <th>運搬距離</th> <th>受入れ条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>As塊</td> <td>県で指定を受けた指定工場</td> <td>6.8km</td> <td>処分場決まりのみ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Co塊</td> <td>県で指定を受けた指定工場</td> <td>6.8km</td> <td>処分場決まりのみ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 当該内容の変更については、監督員と協議するものとする。 別添「建設副産物実態調査に係る特記仕様書」参照	種類	受入れ場所	運搬距離	受入れ条件	種類	受入れ場所	運搬距離	受入れ条件	As塊	県で指定を受けた指定工場	6.8km	処分場決まりのみ					Co塊	県で指定を受けた指定工場	6.8km	処分場決まりのみ					
種類	受入れ場所	運搬距離	受入れ条件	種類	受入れ場所	運搬距離	受入れ条件																					
As塊	県で指定を受けた指定工場	6.8km	処分場決まりのみ																									
Co塊	県で指定を受けた指定工場	6.8km	処分場決まりのみ																									
<b>8 薬液注入関係</b>																												
30) <input type="checkbox"/>	薬液注入工法の施工	ある・ない	工法区分 材用種類 施工範囲 削孔数量 注入量																									
31) <input type="checkbox"/>	周辺環境への調査	ある・ない																										
<b>9 工事支障物件等</b>																												
32) <input type="checkbox"/>	占有物件の有無及び占有物件等による工事支障物の存在	ある・ない	工事支障物件 占有者 移設・撤去・防護の時期 平成 年 月 日頃 移設・撤去・防護の期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日																									
33) <input type="checkbox"/>	地上、地下等の占有物件工事との重複施工	ある・ない	占有物件工事 占有者 占有工事期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日																									
<b>10 その他</b>																												
34) <input type="checkbox"/>	工事事業資機材の保管及び仮置き	ある・ない	工事事業資機材 保管・仮置き場所 保管・仮置き期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日																									
35) <input checked="" type="checkbox"/>	工事現場発成品	ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	現場発成品名・数量 既設伸縮装置、既設防護柵 現場内での使用の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 納入場所・運搬距離 スクラップ工場 運搬距離10.0km																									

# 施工条件明示書

工事名 平成30年度梅田橋修繕工事

明示項目	明示事項	条件	内容	別添資料No.
36) <input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品		ある・ない	支給・貸与品名・数量	
			品質・規格・性能	
			引渡し場所・引渡し時期	
			平成 年 月 日頃	
37) <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等		ある・ない		
38) <input type="checkbox"/> 架設工法の指定		ある・ない		
39) <input type="checkbox"/> 工事用水電力等の指定		ある・ない		
40) <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定		ある・ない		
41) <input type="checkbox"/> 部分使用		ある・ない		
42) <input type="checkbox"/> 給水の必要		ある・ない		
43) <input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書		ある・ない		

※上記に該当する項目がない場合、別途任意の書式で条件を明示すること。

## 積算諸条件調書に係る追加事項

### 1 市独自単価及び積算における補足資料について

本設計積算書内（市独自単価一覧表）に記載の資材単価は、「ホームページ（各部局の工事積算情報）」の「市独自単価一覧表（土木工事編）」に掲載しています。又当該頁に併せて積算における補足資料も掲載しています。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/1623/koujitousekisann.html>

### 2 単価表コードについて

本設計積算書内の単価表コードは、神奈川県土木工事標準積算基準書の施工単価入力基準表のコードに適用しています。

なお、下水道用設計標準歩掛表を適用する場合の単価コードは（DKG……、DKK……）となります。

### 3 市場単価及び標準単価の端数処理について

市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。

なお、単価補正が行われた場合の単価は、小数点以下第2位（少数点以下第3位四捨五入）まで計算し、数量×単価＝金額を算出している。

### ~~4 土砂検定費等について~~

土砂検定費（1～28項目一括実施）、土砂検定費（ヒ素+銅）及び六価クロムの単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象とならない。

### 5 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について

桁等購入費	<del>あり</del>	なし
-------	---------------	----

### 6 共通仮設費、現場管理費の対象外となる鋼橋門扉等工場原価について

鋼橋門扉等工場原価	あり	<del>なし</del>
-----------	----	---------------

### 7 施工パッケージ型積算のタイヤ損耗費及び補修費への対応について

ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額を計上している。

### ~~8 仮設材賃料の補正について~~

供用月当り賃料区分が変わることにより、日数の増加に比例せず金額が減少する場合は、減少する時点の上限額として、減額補正をしている。

## 9 基準書等の適用について

本工事は、以下の基準書等を使用し、積算している。

- 1) 土木工事標準積算基準書（土木工事編） 平成 30 年 7 月 1 日版
- 2) 積算参考資料（土木工事編） 平成 30 年 7 月 1 日版
- ~~3) 土木工事標準積算基準書（電気・機械編） 平成 30 年 7 月 1 日版~~
- ~~4) 下水道用設計標準歩掛表 平成 30 年度版~~
- 5) 建設機械等損料表 平成 30 年度版


平成 30 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )	
設 計 書 番 号	年度 30
事 業 所 名	横須賀市土木部
( 工 事 ・ 業 務 ) 名	平成30年度梅田橋修繕工事
( 工 事 ・ 業 務 ) 箇 所	横須賀市内川1丁目1番地先
( 河 川 ・ 路 線 ・ 区 域 ) 名	市道6888号線
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	国費
工 期	150 日間
設 計 金 額	( 円 )
	円
設 計 概 要	
( 起 工 ・ 変 更 ) 理 由	

横須賀市



平成 30 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

<支出科目>

款	09 土木費
項	02 道路橋りょう費
目	02 道路橋りょう維持費
節	15 工事請負費
細節	84 工事請負費[維持目]その他

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

平成 30 年度 積算諸条件調書( 当初 )

経費等情報	主たる工種	橋梁保全工事		
	施工地域・工事場所区分	市街地DID補正(1)		
	現場環境改善費計上区分	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	35%を超える場合		
	契約保証の方法	金銭的保証		
	間接工事費率補正(上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分			
	土木工事標準積算基準書 適用年版	平成30年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	平成30年7月1日基準		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員A 夜間	28	人	
	交通誘導警備員B 夜間	28	人	
	交通誘導警備員B	20	人	
(その他情報欄)				



# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
橋梁保全工事			1	式			
橋梁支承工			1	式			
鋼橋支承工			1	式			第 0001 号 内訳書
橋梁付属物工			1	式			
伸縮継手工			1	式			第 0002 号 内訳書
落橋防止装置工			1	式			第 0003 号 内訳書
橋梁用高欄工			1	式			第 0004 号 内訳書
沓座拡幅工			1	式			第 0005 号 内訳書
排水施設工			1	式			第 0006 号 内訳書
橋梁補修工			1	式			
橋梁地覆補修工			1	式			第 0007 号 内訳書
ひび割れ補修工			1	式			第 0008 号 内訳書

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
断面修復工				式			第 0009 号 内訳書
			1				
現場塗装工				式			
			1				
橋梁塗装工				式			第 0010 号 内訳書
			1				
継手部塗装工				式			第 0011 号 内訳書
			1				
仮設工				式			
			1				
交通管理工				式			第 0012 号 内訳書
			1				
足場工				式			第 0013 号 内訳書
			1				
直接工事費計				式			
			1				
共通仮設費計				式			
			1				
準備費				式			第 0915 号 内訳書
			1				
技術管理費				式			第 0940 号 内訳書
			1				
共通仮設費 (率分)				式			【千円止】
			1				
純工事費				式			
			1				

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現場管理費							
			1	式			【千円止】
工事原価							
			1	式			
一般管理費等							
			1	式			
スクラップ評価額							
			1	式			第 0985 号 内訳書
工事価格							
			1	式			【万円止】
消費税及び地方消費税相当額							
			1	式			
本工事費計							
			1	式			

第0001号 内訳書  
鋼橋支承工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0030) 支承補修工					第0001号下内
	1	式			
合 計					

第0002号 内訳書  
伸縮継手工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0040) 伸縮継手補修					第0002号下内
	1	式			
(AMA0050) 殻運搬					第0003号下内
	1	式			
(AMA0060) 殻処分					第0004号下内
	1	式			
合 計					

第0003号 内訳書  
落橋防止装置工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 落橋防止装置					第0005号下内
	1	式			
(AMA0080) 削孔					第0006号下内
	1	式			
(AMA0090) アンカー(落橋防止)					第0007号下内
	1	式			
合 計					

第0004号 内訳書  
橋梁用高欄工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0110) 既設高欄撤去	1	式			第0008号下内
(AMA0300) 橋梁用高欄	1	式			第0009号下内
合 計					

第0005号 内訳書  
沓座拡幅工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0120) チップング	1	式			第0010号下内
(AMA0130) 削孔	1	式			第0011号下内
(AMA0140) アンカボルト挿入	1	式			第0012号下内
(AMA0150) コンクリート	1	式			第0013号下内
(AMA0160) 型枠	1	式			第0014号下内
(AMA0170) 鉄筋	1	式			第0015号下内
合 計					



第0006号 内訳書  
排水施設工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 排水管	1	式			第0016号下内
合 計					

第0007号 内訳書  
橋梁地覆補修工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0180) 橋梁地覆とりこわし	1	式			第0017号下内
(AMA0190) 鉄筋	1	式			第0018号下内
(AMA0200) コンクリート	1	式			第0019号下内
(AMA0280) スタッド溶接	1	式			第0020号下内
(AMA0020) 殻運搬	1	式			第0021号下内
(AMA0100) 殻処分	1	式			第0022号下内
合 計					

第0008号 内訳書  
ひび割れ補修工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0210) 低圧注入工法	1	式			第0023号下内
合 計					

第0009号 内訳書  
断面修復工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0220) 左官工法	1	式			第0024号下内
合 計					

第0010号 内訳書  
橋梁塗装工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0230) 素地調整	1	式			第0025号下内
(AMA0240) 下塗	1	式			第0026号下内
(AMA0250) 中塗	1	式			第0027号下内
(AMA0260) 上塗	1	式			第0028号下内
合 計					

第0011号 内訳書  
継手部塗装工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0340) 素地調整	1	式			第0029号下内
(AMA0350) 下塗	1	式			第0030号下内
(AMA0360) 中・上塗	1	式			第0031号下内
合 計					

第0012号 内訳書  
交通管理工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0270) 交通誘導警備員					第0032号下内
	1	式			
合 計					

第0013号 内訳書  
足場工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0320) 足場工					第0033号下内
	1	式			
合 計					

第0915号 内訳書  
準備費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0310) 試掘工					第0034号下内
	1	式			
合 計					

第0940号 内訳書  
技術管理費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0290) 塗膜調査費					第0035号下内
	1	式			
(AMA0370) 鉄筋探査費					第0036号下内
	1	式			
合 計					

第0985号 内訳書  
スクラップ評価額

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0190) スクラップ評価額 高欄					
	1	式			
(TJ0230) スクラップ評価額 伸縮装置					
	1	式			
合 計					

第0001号 下位内訳書  
 AMA0030 支承補修工

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 支承防錆工	22	基			第0001号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0002号 下位内訳書  
 AMA0040 伸縮継手補修

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0080) 伸縮装置材料費 車道用 二次止水材を含む	30.2	m			
(TJ0100) 伸縮装置材料費 歩道用 二次止水材を含む	4.6	m			
(TJ0090) 伸縮継手 施工費	34.9	m			
合 計					
	1	式			円/式

第0003号 下位内訳書  
AMA0050 殻運搬

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB227010) 殻運搬		【夜】			第0005号単価表
J01=舗装版破碎, J02=人力積込, J03=有り, J07=8.0km以下, J16=全ての費用	0.5	m3			
(CB227010) 殻運搬		【夜】			第0006号単価表
J01=Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, J02=人力積込, J03=有り, J07=8.0km以下, J16=全ての費用	1	m3			
(CB010410) 現場発生品・支給品運搬		【夜】			第0007号単価表
J01=クレーン装置付4t級2.9t吊, J02=14.0km以下, J03=2.6t超2.95t以下	2	回			
合 計					
	1	式			円/式

第0004号 下位内訳書  
AMA0060 殻処分

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z132597000) 廃材処理料(東部地区) AS殻					
	0.5	m3			
(Z132597020) 廃材処理料(東部地区) 有筋C殻					
	1	m3			
(Z132597050) 廃材処理料(東部地区) 夜間処理費					
	2	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0005号 下位内訳書  
AMA0070 落橋防止装置

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0050) 近接調査計測工	20	組			第0008号単価表
(SJ0060) 変位制限装置工	20	組			第0009号単価表
(SJ0070) 芯出し調整工	3	m2			第0010号単価表
(SJ0090) 鋼桁孔明工	162	本			第0011号単価表
(SJ0100) 補強材取付工	20	組			第0012号単価表
(SJ0120) 高力ボルト本締工	222	本			第0013号単価表
(SJ0130) ピンテール仕上げ工	222	本			第0014号単価表
(TJ0120) 変位制限装置	20	組			
(TJ0130) 工場制作品	2	t			
(TJ0210) T・C・B M22×110	102	組			
(TJ0220) T・C・B M22×115	120	組			
合 計					
	1	式			円/式

第0006号 下位内訳書  
AMA0080 削孔

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB435910) コンクリート削孔(電動式コアボ-リングマシン)					第0015号単価表
J01=23mmを超え30mm以下, J02=500mm以下, J03=全ての費用	80	孔			
合 計					
	1	式			円/式

第0007号 下位内訳書  
AMA0090 アンカー(落橋防止)

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB435940) アンカー					第0016号単価表
J01=25mm以下, J02=下方向	80	本			
(TJ0200) アンカーボルト D19×370 ねじ切り部95mmメッキ	80	本			
(TJ0260) 注入材 エポキシ樹脂	13.1	kg			
合 計					
	1	式			円/式



第0008号 下位内訳書  
AMA0110 既設高欄撤去

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0110) 既設高欄撤去工 夜間	40	m			第0017号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0009号 下位内訳書  
AMA0300 橋梁用高欄

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB422740) 橋梁用高欄	39	【夜】 m			第0018号単価表
J01=設置, J02=組立式					
合 計					
	1	式			円/式

第0010号 下位内訳書  
AMA0120 チッピング

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB434210) チッピング(厚1~2cm)	19	m <sup>2</sup>			第0019号単価表
J01=全ての費用					
合 計					
	1	式			円/式

第0011号 下位内訳書  
AMA0130 削孔

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB435930) コンクリート削孔(さく岩機[ハンドドリル(空圧式)])					第0020号単価表
J01=500mmを超え800mm以下	212	孔			
合 計					
	1	式			円/式

第0012号 下位内訳書  
AMA0140 アンカーボルト挿入

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB434220) アンカーボルト挿入					第0021号単価表
	212	本			
(CB434222) 注入材(材料費)					第0022号単価表
J01=0.355 kg/本	212	本			
合 計					
	1	式			円/式

第0013号 下位内訳書  
AMA0150 コンクリート

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB240010) コンクリート					第0023号単価表
J01=無筋・鉄筋構造物, J02=人力打設, J03=24-8-25(20)(高炉), J05=一般養生, J07=有り, J13=全ての費用	4	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0014号 下位内訳書  
AMA0160 型枠

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB240210) 型枠					第0024号単価表
J01=一般型枠, J02=鉄筋・無筋構造物	27	m <sup>2</sup>			
合 計					
	1	式			円/式

第0015号 下位内訳書  
AMA0170 鉄筋

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB810010) 鉄筋工[市場単価]					第0025号単価表
J01=SD345 D16~25, J02=一般構造物, J03=10t未満, J04=無, J05=無, J06=無, J07=無, J08=補正無(鉄筋割合10%未満含む), J09=補正無(一般構造物)	1.57	t			
合 計					
	1	式			円/式

第0016号 下位内訳書  
AMA0010 排水管

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB473320) 排水管設置					第0026号単価表
J01=VP管	3	m			
(CB473321) 排水管(材料費)					第0027号単価表
	3	m			
合 計					
	1	式			円/式

第0017号 下位内訳書  
 AMA0180 橋梁地覆とりこわし

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB431710) とりこわし		【夜】			第0028号単価表
J01=全ての費用	5.5	m3			
(CB430310) 舗装版破碎		【夜】			第0029号単価表
J01=アスファルト舗装版, J02=有り, J04=4cm以下, J06=有り, J07=全ての費用	14	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0018号 下位内訳書  
 AMA0190 鉄筋

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB431720) 鉄筋		【夜】			第0030号単価表
J01=SD345 D16~25, J02=全ての費用	0.78	t			
合 計					
	1	式			円/式

第0019号 下位内訳書  
 AMA0200 コンクリート

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB431730) コンクリート		【夜】			第0031号単価表
J01=各種, J02=有り, J03=全ての費用	5	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0020号 下位内訳書  
AMA0280 スタッド溶接

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0140) スタッド溶接 夜間施工	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第0021号 下位内訳書  
AMA0020 殻運搬

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB227010) 殻運搬	5	【夜】 m3			第0006号単価表
J01=Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, J02=人力積込, J03=有り, J07=8.0km以下, J16=全ての費用					
(CB227010) 殻運搬	0.4	【夜】 m3			第0005号単価表
J01=舗装版破碎, J02=人力積込, J03=有り, J07=8.0km以下, J16=全ての費用					
(CB010410) 現場発生品・支給品運搬	1	【夜】 回			第0032号単価表
J01=クレーン装置付2t級2t吊, J02=14.0km以下, J03=0.8t超1.1t以下					
合 計					
	1	式			円/式

第0022号 下位内訳書  
 AMA0100 殻処分

1 式 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z132597000) 廃材処理料 (東部地区) A S 殻	0.4	m3			
(Z132597020) 廃材処理料 (東部地区) 有筋C o 殻	5	m3			
(Z132597050) 廃材処理料 (東部地区) 夜間処理費	5	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0023号 下位内訳書  
 AMA0210 低圧注入工法

1 式 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB436110) ひび割れ補修工(低圧注入工法) J01=2.7 m, J02=0.2 kg, J03=0.4 kg, J04=11 個	1	橋			第0033号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0024号 下位内訳書  
AMA0220 左官工法

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB436210) 断面修復工(左官工法)					第0034号単価表
J01=有, J02=0.06 m3	1	桶			
合 計					
	1	式			円/式

第0025号 下位内訳書  
AMA0230 素地調整

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821550) 塗替塗装					第0035号単価表
J01=素地調 整, J02=無し, J03=無し, J04=無し, J05=2種 カッ(動力工具と手工具の併用)	1,846	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0026号 下位内訳書  
AMA0240 下塗

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821550) 塗替塗装					第0036号単価表
J01=下 塗り, J02=無し, J03=無し, J04=無し, J05= 有機ソリッド(1層)はけ・ロー-I	1,846	m2			
(WB821550) 塗替塗装					第0037号単価表
J01=下 塗り, J02=無し, J03=無し, J04=無し, J05= 弱溶剤形変性エポキシ(2層)はけ・ロー	1,846	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0027号 下位内訳書  
AMA0250 中塗

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821550) 塗替塗装					第0038号単価表
J01=中 塗り, J02=無し, J03=無し, J04=無し, J05= 弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー, J07=淡彩	1,846	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0028号 下位内訳書  
AMA0260 上塗

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821550) 塗替塗装					第0039号単価表
J01=上 塗り, J02=無し, J03=無し, J04=無し, J05= 弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー, J07=淡彩	1,846	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0029号 下位内訳書  
AMA0340 素地調整

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821510) 継手部素地調整(新橋現場・新橋継手部現場塗)					第0040号単価表
J01=動力工具処理, J03=無し, J04=無し	1	m2			
(WB821530) 準備・補修(新橋現場塗装)					第0041号単価表
J01=無, J02=無し, J03=無し	1	m2			
合 計					
	1	式			円/式



第0030号 下位内訳書  
AMA0350 下塗

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821520) 継手下塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装)					第0042号単価表
J01=マイクロト 変性エポキシ樹脂塗料(1層), J02=無し, J03=無し	1	m2			
(WB821520) 継手下塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装)					第0043号単価表
J01=超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗/層), J02=無し, J03=無し	1	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0031号 下位内訳書  
AMA0360 中・上塗

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821540) 中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗)					第0044号単価表
J01=新橋継手部現場塗装, J02=中塗り, J04=無し, J05=無し, J06=ふっ素樹脂塗料, J07=淡彩	1	m2			
(WB821540) 中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗)					第0045号単価表
J01=新橋継手部現場塗装, J02=上塗り, J04=無し, J05=無し, J06=ふっ素樹脂塗料, J07=淡彩	1	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0032号 下位内訳書  
AMA0270 交通誘導警備員

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SWB010211) 交通誘導警備員A 夜間		人日			第0046号単価表
(SWB010212) 交通誘導警備員B 夜間		人日			第0047号単価表
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第0048号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0033号 下位内訳書  
AMA0320 足場工

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0150) 足場工 吊り足場	504	m2			第0049号単価表
(SJ0160) 足場工 朝顔	504	m2			第0050号単価表
(SJ0170) 足場工 シート張防護	504	m2			第0051号単価表
(SJ0180) 足場工 板張防護	504	m2			第0052号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0034号 下位内訳書  
AMA0310 試掘工

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0180) 試掘調査工 夜間作業	1	式			
(CB410240) 基層(車道・路肩部)  J01=1.4m未満(仕上厚50mm以下), J02=50mm, J03=mm, J04=mm, J05=再生密粒度7スフェル ト混合物(13), J06=無し, J07=全ての費用	6	m2	【夜】		第0053号単価表 現場管理費、一般管理 費の対象
(CB410260) 表層(車道・路肩部)  J01=1.4m未満(仕上厚50mm以下), J02=45mm, J03=mm, J04=mm, J05=再生密粒度7スフェル ト混合物(13), J06=無し, J07=全ての費用	6	m2	【夜】		第0054号単価表 現場管理費、一般管理 費の対象
合 計					
	1	式			円/式

第0035号 下位内訳書  
AMA0290 塗膜調査費

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0240) 含有量試験(資料前処理含む) 鉛・総クロム・PCB	1	検体			
(TJ0250) 溶出量試験(前処理含む) 鉛・六価クロム	1	検体			
合 計					
	1	式			円/式

第0036号 下位内訳書  
 AMA0370 鉄筋探査費

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0080) 鉄筋探査工 変異制限構造（下向き）	1	m2			第0055号単価表 現場管理費、一般管理費の対象
(SJ0140) 鉄筋探査工 杏座拡幅（横向き）	19	m2			第0056号単価表 現場管理費、一般管理費の対象
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表  
SJ0040 支承防錆工

1 基 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 支承防錆工 (労務費)	1.3	基			第0002号単価表 [1]
(SJ0020) 支承防錆工 (材料費)	1.3	基			第0003号単価表 [1]
(SJ0030) 養生用防護シート設置・撤去	1	基			第0004号単価表
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	基			整数止め切捨て 円/基

第0002号 単価表  
 SJ0010 支承防錆工 (労務費)

10 基 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0124) 橋りょう世話役		人			[1]
	3				
(R0122) 橋りょう特殊工		人			[1]
	8				
(R0123) 橋りょう塗装工		人			[1]
	4				
(R0102) 普通作業員		人			[1]
	5				
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.38		式			
	1				
合 計		基			整数止め切捨て 円/基
	1				

第0003号 単価表  
 SJ0020 支承防錆工 (材料費)

10 基 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 潤滑剤 二硫化モリブデン溶液	1	リットル			[1]
(TJ0020) 研掃材 珪砂等	600	k g			[1]
(TJ0030) 溶射地金 亜鉛・アルミ合金	10	k g			[1]
(TJ0040) 封孔処理剤 エポキシ樹脂系封孔処理剤	2	k g			[1]
(TJ0050) 上塗塗料 浸透性エポキシ樹脂塗料	10	k g			[1]
(X0021) 雑材料 $\Sigma [1] * 0.1$	1	式			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	基			整数止め切捨て 円/基

第0004号 単価表  
 SJ0030 養生用防護シート設置・撤去

10 基 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0102) 普通作業員	2	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.2	1	式			
合 計					
	1	基			整数止め切捨て 円/基

第0005号 単価表 機労材構成比情報  
 CB227010 殻運搬

【夜】 1 m3 当り  
 適用年版 S3007

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オロード・ディーゼル] 2t積級	MP03010010		【損料】		M000301001
運転手(一般)	R0115			【夜】	R0115
軽油 1.2号	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 殻発生作業	2		舗装版破碎		
J02 積込工法区分	2		人力積込		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J07 運搬距離(km)(DID区間有)	10		8.0km以下		
J16 費用の内訳	1		全ての費用		



名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・タイヤセル]			【損料】		M000301001
2t積級	MP03010010				
運転手(一般)				【夜】	R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 殻発生作業	1		Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし		
J02 積込工法区分	2		人力積込		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J07 運搬距離(km)(DID区間有)	10		8.0km以下		
J16 費用の内訳	1		全ての費用		

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
トラック【クレーン装置付】			【損料】		M000302013
ベ-ストトラック4t級 吊能力2.9t	M000302013				
運転手(特殊)				【夜】	R0114
	R0114				
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 回	当り		円/回	
条件名称	入力値	条件値			
J01 トラック機種	2	クレーン装置付4t級2.9t吊			
J02 片道運搬距離(km)	4	14.0km以下			
J03 1回当り平均積載質量(t)	10	2.6t超2.95t以下			

第0008号 単価表  
 SJ0050 近接調査計測工

7 組 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1	人			[1]
(R0405) 技師 (C)	1	人			[1]
(R0122) 橋りょう特殊工	2	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計					
	1	組			整数止め切捨て 円/組

第0009号 単価表  
 SJ0060 変位制限装置工

1.35 組 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0124) 橋りょう世話役	1	人			[1]
(R0122) 橋りょう特殊工	4	人			[1]
(R0102) 普通作業員	2	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.32$	1	式			
合 計					
	1	組			整数止め切捨て 円/組

第0010号 単価表  
SJ0070 芯出し調整工

10 m2 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0124) 橋りょう世話役	1	人			[1]
(R0122) 橋りょう特殊工	4	人			[1]
(R0102) 普通作業員	6	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.07$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0011号 単価表  
SJ0090 鋼桁孔明工

96 本 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0124) 橋りょう世話役	1	人			[1]
(R0122) 橋りょう特殊工	3	人			[1]
(R0102) 普通作業員	1	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.25$	1	式			
合 計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0012号 単価表  
 SJ0100 補強材取付工

8 組 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0124) 橋りょう世話役	1	人			[1]
(R0122) 橋りょう特殊工	3	人			[1]
(R0102) 普通作業員	1	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.22$	1	式			
合 計					
	1	組			整数止め切捨て 円/組

第0013号 単価表  
 SJ0120 高力ボルト本締工

130 本 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0124) 橋りょう世話役	1	人			[1]
(R0122) 橋りょう特殊工	3	人			[1]
(R0102) 普通作業員	1	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.17$	1	式			
合 計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0014号 単価表  
SJ0130 ピンテール仕上げ工

250 本 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0122) 橋りょう特殊工	2	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.41	1	式			
合 計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0015号 単価表 機労材構成比情報  
CB435910 コンクリート削孔(電動式コアホーリングマシン)

1 孔 当り  
適用年版 S3007

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
土木一般世話役	R0125				R0125
特殊作業員	R0101				R0101
ダイヤモンドビット 40mm スタンダード	Z006531011				Z006531011
標準単価		積算単価			
	1 孔	当り		円/孔	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 アンカ材径	3		23mmを超え30mm以下		
J02 削孔深さ	1		500mm以下		
J03 費用の内訳	1		全ての費用		

第0016号 単価表 機労材構成比情報  
CB435940 アソカー

1 本 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
普通作業員					R0102
	R0102				
標準単価		積算単価			
	1 本	当り		円/本	
条件名称	入力値		条件値		
J01 適用アソカー材径	1		25mm以下		
J02 削孔方向	2		下方向		

第0017号 単価表  
SJ0110 既設高欄撤去工  
夜間

30 m 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
(R0125) 土木一般世話役		【夜】			[1]
	1	人			
(R0101) 特殊作業員		【夜】			[1]
	2	人			
(R0102) 普通作業員		【夜】			[1]
	2	人			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.03					
	1	式			
合計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0018号 単価表 機労材構成比情報  
 CB422740 橋梁用高欄

【夜】

1 m 当り  
 適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
土木一般世話役				【夜】	R0125
	R0125				
アルミ合金製車両用防護柵 C種 H=750					Y001388000 -00005
	ZP13880000				
標準単価		積算単価			
		1 m 当り			円/m
条件名称 入力値 条件値					
J01 作業区分		1	設置		
J02 設置方法		1	組立式		



第0019号 単価表 機労材構成比情報  
 CB434210 チッピング(厚1~2cm)

1 m2 当り  
 適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクエア]			【損料】		M001201051
排出ガス対策型(第1次基準)5.0m3/min	M001201051				
さく岩機(ビットハマ)			【損料】		M000603015
各種	M000603015				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
普通作業員					R0102
	R0102				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値		条件	値	
J01 費用の内訳	1			全ての費用	

第0020号 単価表 機労材構成比情報  
 CB435930 コンクリート削孔(さく岩機[ハンドドリル(空圧式)])

1 孔 当り  
 適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
標準単価		積算単価			
	1 孔	当り		円/孔	
条件名称		入力値	条件値		
J01 削孔深さ		2	500mmを超え800mm以下		

第0021号 単価表 機労材構成比情報  
 CB434220 アンカボルト挿入

1 本 当り  
 適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
標準単価		積算単価			
	1 本	当り		円/本	

第0022号 単価表 機労材構成比情報  
CB434222 注入材(材料費)

1 本 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
注入材					Y001633104 -00009
エポキシ樹脂	ZP08000000				
標準単価		積算単価			
	1 本	当り		円/本	
条件名称 入力値 条件値					
J01 注入材(樹脂)の注入量(実数入力) 0.355 0.355 kg/本					

第0023号 単価表 機労材構成比情報  
CB240010 コンクリート

1 m3 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
生コンクリート					Z002012004
24-8-25(20) 高炉W/C指定有り	Z002012005				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称 入力値 条件値					
J01 構造物種別 1 無筋・鉄筋構造物					
J02 打設工法 4 人力打設					
J03 コンクリート規格 22 24-8-25(20)(高炉)					
J05 養生工の種類 2 一般養生					
J07 現場内小運搬の有無 1 有り					
J13 費用の内訳 1 全ての費用					

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
型わく工					R0133
	R0133				
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
標準単価		積算単価			
		1 m2 当り		円/m2	
条件名称		入力値		条件値	
J01 型枠の種類		1		一般型枠	
J02 構造物の種類		1		鉄筋・無筋構造物	

第0025号 単価表  
WB810010 鉄筋工[市場単価]

1 t 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z001102020) 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16~25	1.03	t			[1]
(Q001001002) 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	1	t			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	t			円/t
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄筋材料規格・径	6		SD345 D16~25		
J02 規格・仕様区分	1		一般構造物		
J03 施工規模	2		10t未満		
J04 時間的制約を受ける場合の補正	2		無		
J05 夜間作業補正	2		無		
J06 トンネル内作業の補正	2		無		
J07 法面作業の補正	2		無		
J08 太径鉄筋補正	1		補正無(鉄筋割合10%未満含む)		
J09 構造物種別による補正	1		補正無(一般構造物)		

第0026号 単価表 機労材構成比情報  
CB473320 排水管設置

1 m 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
特殊作業員					R0101
	R0101				
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	
条件名称		入力値		条件値	
J01 管種区分		1		VP管	

第0027号 単価表 機労材構成比情報  
CB473321 排水管(材料費)

1 m 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
硬質塩化ビニル管(一般管) VP-100					Y000800001 -00010
	ZP08000000				
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	

第0028号 単価表 機労材構成比情報  
CB431710 とりこわし

【夜】

1 m3 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクエア型]			【賃料】		L001090003
吐出量3.5~3.7m3/min	L001090003				
さく岩機(コンクリートブレイカ)			【損料】		M000603016
20kg級	M000603016				
特殊作業員				【夜】	R0101
	R0101				
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
土木一般世話役				【夜】	R0125
	R0125				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 費用の内訳	1		全ての費用		

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクエア型] 吐出量3.5~3.7m3/min	L001090003		【賃料】		L001090003
さく岩機(コンクリートブレイカ) 20kg級	M000603016		【損料】		M000603016
特殊作業員	R0101			【夜】	R0101
普通作業員	R0102			【夜】	R0102
軽油 1.2号	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値	条件値			
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版			
J02 障害等の有無	2	有り			
J04 舗装版厚	1	4cm以下			
J06 積込作業の有無	1	有り			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			



名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
鉄筋工				【夜】	R0110
	R0110				
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
土木一般世話役				【夜】	R0125
	R0125				
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16~25					Z001102020
	Z001102019				
標準単価		積算単価			
	1 t	当り		円/t	
条件名称		入力値	条件値		
J01 鉄筋規格		6	SD345 D16~25		
J02 費用の内訳		1	全ての費用		

第0031号 単価表 機労材構成比情報  
CB431730 コンクリート

【夜】

1 m3 当り  
適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
型わく工				【夜】	R0133
	R0133				
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
土木一般世話役				【夜】	R0125
	R0125				
特殊作業員				【夜】	R0101
	R0101				
生コンクリート 夜間割増 21-8-25(20)高炉 W/C指定有					Y000210000 -00011
	Z002010018				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 コンクリート規格	9		各種		
J02 養生工の有無	1		有り		
J03 費用の内訳	1		全ての費用		

第0032号 単価表 機労材構成比情報  
 CB010410 現場発生品・支給品運搬

【夜】

1 回 当り  
 適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
トラック[クレーン装置付]			【損料】		M000302009
ベ-トラック2t級 吊能力2.0t	M000302009				
運転手(特殊)				【夜】	R0114
	R0114				
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 回	当り		円/回	
条件名称	入力値	条件	値		
J01 トラック機種	1	クレーン装置付2t級2t吊			
J02 片道運搬距離(km)	4	14.0km以下			
J03 1回当り平均積載質量(t)	6	0.8t超1.1t以下			

第0033号 単価表  
WB436110 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

1 橋 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(Y001633001) -00007 注入材 ひび割れ注入用エポキシ樹脂	0.2	kg			
(Y001670000) -00008 シール材 エポキシ樹脂	0.4	kg			
(Y000800005) -00001 材料費 注入器具(低圧注入工法)	11	個			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.11$	1	式			
合 計		橋			円/橋
	1				
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 1橋当りの延べ施工量(実数入力)	2.7	2.7 m			
J02 1橋当りの注入材使用量(実数入力)	0.2	0.2 kg			
J03 1橋当りのシール材使用量(実数入力)	0.4	0.4 kg			
J04 1橋当りの低圧注入器具使用量(実	11	11 個			

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(Y000800003) -00004 材料費 断面修復材	0.071	m3			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.18	1	式			
合 計					
	1	橋			円/橋
条 件 名 称					
		入 力 値	条 件 値		
J01 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無		1	有		
J02 1橋当りの延べ施工量(実数入力)		0.06	0.06 m3		

第0035号 単価表  
WB821550 塗替塗装

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001511007) 橋梁塗装工 塗替塗装 昼間 素地調整 2種ℓン 無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 作業区分	2		素地調整		
J02 構造物別の補正係数	1		無し		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 素地調整区分または塗料区分	2		2種ℓン(動力工具と手工具の併用)		

第0036号 単価表  
WB821550 塗替塗装

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001513013) 橋梁塗装工 塗替塗装 下塗 昼 無 有機ゾンクリッチ(1層) はけ・ローラー	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 作業区分	3		下塗り		
J02 構造物別の補正係数	1		無し		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 素地調整区分または塗料区分	8		有機ゾンクリッチ(1層) はけ・ローラー		

第0037号 単価表  
WB821550 塗替塗装

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001513004) 橋梁塗装工 塗替塗装 下塗 昼 無 弱溶剤形変性珪矽2層はけ・ローラー	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 作業区分	3		下塗り		
J02 構造物別の補正係数	1		無し		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 素地調整区分または塗料区分	11		弱溶剤形変性珪矽(2層)はけ・ローラー		

第0038号 単価表  
WB821550 塗替塗装

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001515016) 橋梁塗装工 塗替塗装 中塗 昼 無 弱溶剤形ふっ素はけ・ローラー淡彩	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 作業区分	4		中塗り		
J02 構造物別の補正係数	1		無し		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 素地調整区分または塗料区分	16		弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー		
J07 色彩	2		淡彩		

第0039号 単価表  
WB821550 塗替塗装

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001517016) 橋梁塗装工 塗替塗装 上塗 昼 無 弱溶剤形ふっ素はけ・ローラー淡彩	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 作業区分	5		上塗り		
J02 構造物別の補正係数	1		無し		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 素地調整区分または塗料区分	16		弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー		
J07 色彩	2		淡彩		

第0040号 単価表  
WB821510 継手部素地調整(新橋現場・新橋継手部現場塗装)

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001501001) 橋梁塗装工 新橋素地調整 昼間 動力工具処理 ISO St3 制約無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 素地調整方法	1		動力工具処理		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		



第0041号 単価表  
WB821530 準備・補修(新橋現場塗装)

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001503001) 橋梁塗装工 新橋塗装 準備・補修 昼間 制約無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 構造物別の補正係数	1		無		
J02 時間的制約の有無	1		無し		
J03 夜間作業の有無	1		無し		

第0042号 単価表  
WB821520 継手下塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装)

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001505001) 橋梁塗装工 新橋塗装 下塗り 昼間 ミストコート 変性ポキシ樹脂(1層) 無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 塗料区分	1		ミストコート 変性ポキシ樹脂塗料(1層)		
J02 時間的制約の有無	1		無し		
J03 夜間作業の有無	1		無し		

第0043号 単価表  
WB821520 継手部下塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装)

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001505004) 橋梁塗装工 新橋塗装 下塗り 昼間 超厚膜形エポキシ(2回塗/層) 無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 塗料区分	2		超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗/層)		
J02 時間的制約の有無	1		無し		
J03 夜間作業の有無	1		無し		

第0044号 単価表  
WB821540 中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装)

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001507013) 橋梁塗装工 新橋塗装 中塗り 昼間 ふっ素樹脂 淡彩 制約無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 塗装区分	2		新橋継手部現場塗装		
J02 作業区分	1		中塗り		
J04 時間的制約の有無	1		無し		
J05 夜間作業の有無	1		無し		
J06 塗料区分	2		ふっ素樹脂塗料		
J07 色彩	2		淡彩		

第0045号 単価表  
WB821540 中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装)

100 m2 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001509013) 橋梁塗装工 新橋塗装 上塗り 昼間 ふっ素樹脂 淡彩 制約無	100	m2			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 塗装区分	2		新橋継手部現場塗装		
J02 作業区分	2		上塗り		
J04 時間的制約の有無	1		無し		
J05 夜間作業の有無	1		無し		
J06 塗料区分	2		ふっ素樹脂塗料		
J07 色彩	2		淡彩		

第0046号 単価表  
SWB010211 交通誘導警備員A  
夜間

1 人日 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0803) 交通誘導警備員A	1	【夜】 人			
合 計					
	1	人日			整数止め切捨て 円/人日

第0047号 単価表  
 SWB010212 交通誘導警備員B  
 夜間

1 人日 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		【夜】			
	1	人			
合 計					
	1	人日			整数止め切捨て 円/人日

第0048号 単価表  
 WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り  
 適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B					
		人			
合 計					
	1	人日			円/人日

第0049号 単価表  
 SJ0150 足場工  
 吊り足場

1 m2 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0122) 橋りょう特殊工	0.143	人			
(TJ0060) 足場損料 吊り足場	4	月			
(R0122) 橋りょう特殊工	0.008	人			
(TJ0270) 足場損料 床面シート張防護	4	月			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0050号 単価表  
 SJ0160 足場工  
 朝顔

1 m2 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0122) 橋りょう特殊工	0.024	人			
(TJ0070) 足場損料 朝顔	4	月			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0051号 単価表  
 SJ0170 足場工  
 シート張防護

1 m2 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0122) 橋りょう特殊工	0.004	人			
(TJ0110) 足場損料 シート張防護	4	月			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0052号 単価表  
 SJ0180 足場工  
 板張防護

1 m2 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0122) 橋りょう特殊工	0.02	人			
(TJ0150) 足場損料 板張防護工	4	月			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
振動ロー(舗装用)[ハットガイ式]			【損料】		M000804001
運転質量0.5~0.6t	M000804001				
振動コンパクタ[前進型]			【損料】		M000807001
機械質量40~60kg	M000807001				
特殊作業員				【夜】	R0101
	R0101				
普通作業員				【夜】	R0102
	R0102				
土木一般世話役				【夜】	R0125
	R0125				
再生アスファルト混合物					Z004101004
再生密粒度AS混合物(13)	ZP41010020				
ガolin					Z006704001
レキユア-	Z006704001				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値	条件値			
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)			
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm			
J03 1層当平均仕上厚 50mm超70mm以下		mm			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下		mm			
J05 材料	11	再生密粒度アスファルト混合物(13)			
J06 瀝青材料種類	5	無し			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第0054号 単価表 機材構成比情報  
 CB410260 表層(車道・路肩部)

【夜】

1 m2 当り  
 適用年版 S3007

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	M000804001		【損料】		M000804001
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg	M000807001		【損料】		M000807001
特殊作業員	R0101			【夜】	R0101
普通作業員	R0102			【夜】	R0102
土木一般世話役	R0125			【夜】	R0125
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	ZP41000030				Z004101004
ガソリン レキューラ	Z006704001				Z006704001
軽油 1.2号	Z006702002				Z006702002
	標準単価		積算単価		
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値		条件値		
J01 平均幅員	1		1.4m未満(仕上厚50mm以下)		
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	45		45 mm		
J03 1層当平均仕上厚 50mm超70mm以下			mm		
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下			mm		
J05 材料	11		再生密粒度アスファルト混合物(13)		
J06 瀝青材料種類	5		無し		
J07 費用の内訳	1		全ての費用		



第0055号 単価表  
 SJ0080 鉄筋探査工  
 変異制限構造 (下向き)

18 m2 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1	人			[1]
(R0404) 技師 (B)	2	人			[1]
(R0405) 技師 (C)	2	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0056号 単価表  
 SJ0140 鉄筋探査工  
 沓座拡張 (横向き)

12.5 m2 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1	人			[1]
(R0404) 技師 (B)	2	人			[1]
(R0405) 技師 (C)	2	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TJ0010	潤滑剤 二硫化モリブデン溶液	リットル	S3007	4,800	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0020	研掃材 珪砂等	k g	S3007	80	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0030	溶射地金 亜鉛・アルミ合金	k g	S3007	1,150	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0040	封孔処理剤 エポキシ樹脂系封孔処理剤	k g	S3007	2,300	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0050	上塗塗料 浸透性エポキシ樹脂塗料	k g	S3007	2,300	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0060	足場損料 吊り足場	月	S3007	425	その他施工単価等	全間接費対象	部独自
TJ0070	足場損料 朝顔	月	S3007	50	仮設材単価等	全間接費対象	部独自
TJ0080	伸縮装置材料費 車道用 二次止水材を含む	m	S3007	163,000	資材単価	全間接費対象	特別調査
TJ0090	伸縮継手工 施工費	m	S3007	214,000	その他施工単価等	全間接費対象	特別調査
TJ0100	伸縮装置材料費 歩道用 二次止水材を含む	m	S3007	77,000	資材単価	全間接費対象	特別調査
TJ0110	足場損料 シート張防護	月	S3007	42	仮設材単価等	全間接費対象	部独自
TJ0120	変位制限装置	組	S3007	314,000	資材単価	全間接費対象	特別調査
TJ0130	工場制作品	t	S3007	745,000	資材単価	一般のみ対象	特別調査
TJ0140	スタッド溶接 夜間施工	式	S3007	259,000	その他施工単価等	全間接費対象	見積り
TJ0150	足場損料 板張防護工	月	S3007	110	仮設材単価等	全間接費対象	部独自
TJ0180	試掘調査工 夜間作業	式	S3007	862,800	その他施工単価等	現場、一般対象	見積り
TJ0190	スクラップ評価額 高欄	式	S3007	147,840	スクラップ評価額		部独自
TJ0200	アンカーボルト D19×370 ねじ切り部95mmメッキ	本	S3007	820	資材単価	一般のみ対象	見積り
TJ0210	T・C・B M22×110	組	S3007	164	資材単価	一般のみ対象	部独自
TJ0220	T・C・B M22×115	組	S3007	167	資材単価	一般のみ対象	部独自
TJ0230	スクラップ評価額 伸縮装置	式	S3007	155,150	スクラップ評価額		部独自
TJ0240	含有量試験(資料前処理含む) 鉛・総クロム・PCB	検体	S3007	110,000	その他施工単価等	現場、一般対象	見積り
TJ0250	溶出量試験(前処理含む) 鉛・六価クロム	検体	S3007	30,000	その他施工単価等	現場、一般対象	見積り
TJ0260	注入材 エポキシ樹脂	k g	S3007	3,500	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0270	足場損料 床面シート張防護	月	S3007	79	仮設材単価等	全間接費対象	部独自

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
Y000210000 -00011	生コンクリート 夜間割増 21-8-25(20)高炉 W/C指定有	m3	S3007	27,150	資材単価	全間接費対象	見積り
Y000800001 -00010	硬質塩化ビニル管(一般管) VP-100	m	S3007	868	資材単価	全間接費対象	部独自
Y000800003 -00004	材料費 断面修復材	m3	S3007	320,000	資材単価	全間接費対象	部独自
Y000800005 -00001	材料費 注入器具(低圧注入工法)	個	S3007	450	資材単価	全間接費対象	見積り
Y001388000 -00005	アルミ合金製車両用防護柵 C種 H=750	m	S3007	64,500	資材単価	全間接費対象	特別調査
Y001633001 -00007	注入材 ひび割れ注入用エポキシ樹脂	kg	S3007	3,700	資材単価	全間接費対象	見積り
Y001633104 -00009	注入材 エポキシ樹脂	kg	S3007	3,500	資材単価	全間接費対象	見積り
Y001670000 -00008	シール材 エポキシ樹脂	kg	S3007	3,200	資材単価	全間接費対象	見積り

# 本 工 事 内 訳 書

工 種	数 量 計 算	単 位	数 量
橋梁保全工事		式	1
橋梁支承工		式	1
鋼橋支承工		式	1
支承補修工		式	1
支承防錆工	=22.0	基	22
橋梁付属物工		式	1
伸縮継手工		式	1
伸縮継手補修		式	1
伸縮装置材料費	車道用 二次止水材含む =30.26	m	30.2
伸縮装置材料費	歩道用 二次止水材含む =4.69	m	4.6
【夜】 伸縮継手工	施工費 =34.96	m	34.9
殻運搬		式	1
【夜】 殻運搬 As殻	舗装版破碎 人力積込 DID有り 運搬距離6.8km(8.0km以下) =0.57	m3	0.5
【夜】 殻運搬 Co殻	Co構造物とりこわし 人力積込 DID有り 運搬距離6.8km(8.0km以下) =1.7	m3	1
【夜】 現場発生品・支給品運搬	クレーン装置付4t級 2.9t吊 運搬距離10.0km(14.0km以下) =2.0	回	2
殻処分		式	1
廃材処理料 AS殻	=0.57	m3	0.5
廃材処理料 有筋Co殻	=1.7	m3	1

廃材処理料 夜間処理料		=2.2	m3	2
落橋防止装置工			式	1
落橋防止装置			式	1
近接調査計測工		=20.0	組	20
変位制限装置工		=20.0	組	20
芯出し調整工		=3.0	m2	3
鋼桁孔明工		=162.0	本	162
補強材取付工		=20.0	組	20
高力ボルト本締工		=222.0	本	222
ピンテール仕上げ工		=222.0	本	222
変位制限装置		=20.0	組	20
工場製作製品		=2.05	t	2.0
T・C・B M22×110		=102.0	組	102
T・C・B M22×115		=120.0	組	120
削孔			式	1
コンクリート削孔 電動式コアホーリング	削孔径 23mmを超え30mm以下 削孔深 500mm以下	=80.0	孔	80
アンカー(落橋防止)			式	1
アンカー	アンカー径 25mm以下 下方向	=80.0	本	80
アンカーボルト	D19×370 ねじ切り部95mmメッキ	=80.0	本	80
注入材 エポキシ樹脂		=13.12	kg	13.1

橋梁用高欄工			式	1
既設高欄撤去			式	1
【夜】 既設高欄撤去工		=40.7	m	40
橋梁用高欄			式	1
【夜】 橋梁用高欄	設置 組立式	=39.9	m	39
沓座拡幅工			式	1
チップング			式	1
チップング 厚1~2cm		=19.0	m2	19
削孔			式	1
コンクリート削孔 さく岩機	500mmを超え800mm以下	=212.0	孔	212
アンカーボルト挿入			式	1
アンカーボルト挿入		=212.0	本	212
注入材(材料費)	0.355kg/本	=212.0	本	212
コンクリート			式	1
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設 24-8-25(20)BB 一般養生・小運搬有り	=4.8	m3	4
型枠			式	1
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	=27.6	m2	27
鉄筋			式	1
鉄筋工	SD345 D16~25 一般構造物 10t未満	=1.572	t	1.57
排水施設工			式	1

排水管			式	1
排水管設置	VP管	=3.6	m	3
排水管(材料費)		=3.6	m	3
橋梁補修工			式	1
橋梁地覆補修工			式	1
橋梁地覆とりこわし			式	1
【夜】 とりこわし		=5.54	m3	5.5
【夜】 舗装版破碎	As舗装版 積込有り 4cm以下	=14.9	m2	14
鉄筋			式	1
【夜】 鉄筋工	SD345 D16~25	=0.785	t	0.78
コンクリート			式	1
【夜】 コンクリート	21-8-25(20)BB 一般養生	=5.5	m3	5
スタッド溶接			式	1
【夜】 スタッド溶接			式	1
殻運搬			式	1
【夜】 殻運搬 Co殻	Co構造物とりこわし 人力積込 DID有り 運搬距離6.8km(8.0km以下)	=5.5	m3	5
【夜】 殻運搬 As殻	舗装版破碎 人力積込 DID有り 運搬距離6.8km(8.0km以下)	=0.45	m3	0.4
【夜】 現場発生品・支給品運搬	クレーン装置付2t級 2t吊 運搬距離10.0km(14.0km以下)	=1.0	回	1
殻処分			式	1
廃材処理料 AS殻		=0.45	m3	0.4

廃材処理料 有筋Co設	=5.5	m3	5
廃材処理料 夜間処理料	=5.9	m3	5
ひび割れ補修工		式	1
低圧注入工法		式	1
ひび割れ補修工 低圧注入工法		橋	1
断面修復工		式	1
左官工法		式	1
断面修復工 左官工法		橋	1
現場塗装工		式	1
橋梁塗装工		式	1
素地調整		式	1
塗替塗装	素地調整 2種ケレン =1846.8	m2	1846
下塗		式	1
塗替塗装	下塗り 有機ジンクリッチペイント1層 =1846.8	m2	1846
塗替塗装	下塗り 弱溶剤形変性エポキシ2層 =1846.8	m2	1846
中塗		式	1
塗替塗装	中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩 =1846.8	m2	1846
上塗		式	1
塗替塗装	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩 =1846.8	m2	1846
継手部塗装工		式	1



素地調整			式	1
継手部素地調整	動力工具処理	=1.1	m2	1
準備・補修 新橋現場塗装	動力工具処理	=1.1	m2	1
下塗			式	1
継手部下塗り 新橋継手部現場塗装	ミストコート	=1.1	m2	1
継手部下塗り 新橋継手部現場塗装	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗/層)	=1.1	m2	1
中・上塗			式	1
中塗り・上塗り 新橋継手部現場塗装	中塗り ふっ素樹脂塗料 淡彩	=1.1	m2	1
中塗り・上塗り 新橋継手部現場塗装	上塗り ふっ素樹脂塗料 淡彩	=1.1	m2	1
仮設工			式	1
交通管理工			式	1
交通誘導警備員			式	1
足場工			式	1
足場工			式	1
足場工 吊り足場		=504.6	m2	504
足場工 朝顔		=504.6	m2	504
足場工 シート張防護		=504.6	m2	504
足場工 板張防護工		=504.6	m2	504
準備費			式	1
試掘工			式	1

【夜】 試掘調査工 夜間作業		式	1
【夜】 基層(車道・路肩部)	1.4m未満(仕上厚50mm以下) t=50mm 再生密粒度As混合物(13) =6.1	m2	6
【夜】 表層(車道・路肩部)	1.4m未満(仕上厚50mm以下) t=45mm 再生密粒度As混合物(13) =6.1	m2	6
技術管理費		式	1
塗膜調査費		式	1
含有量試験 前処理含む	鉛・総クロム・PCB	検体	1
溶出試験 前処理含む	鉛・六価クロム	検体	1
鉄筋探査費		式	1
鉄筋探査工 変異制限構造(下向き)	=1.5	m2	1
鉄筋探査工 沓座拡幅(横向き)	=19.0	m2	19

支承補修工

支承補修工 (塗装塗替え工)

■ 支承補修工合計 (塗装塗替え工)

箇所	仕様	位置	主桁番号	基	数量 (m <sup>2</sup> )	摘要
				N		
支承	Rc-I 塗装系	A1橋台	G-1, 13	2	2.57	寸法は仮定値
			G-2, 12	2		寸法は仮定値
			G-3~11	9		寸法は仮定値
		A2橋台	G-3~11	9		寸法は仮定値
計				22	2.57	

※ 塗装面積は、「昭和52年度 二級河川 平作川 横須賀市内川新田地先 梅田橋詳細設計  
上部工材料計算書」(昭和53年3月)より抜粋

## 伸縮装置設置工

## 伸縮装置設置

## 伸縮装置設置工

## 設置延長

A 1 橋台 (車道部) + A 1 橋台 (歩道部) + A 2 橋台  
 17.268 + 4.692 + 13.000 = 34.960 m

## □ ジョイントタイプ

・ A1 (車) スーパーガイトップジョイント	SGT-K50TA	17.268 m
・ A1 (歩) ラバエースジョイント	RTH-35TA	4.692 m
・ A2 (車) スーパーガイトップジョイント	SGT-K50TA	13.000 m
(車) スーパーガイトップジョイント		計 30.268 m
(歩) ラバエースジョイント		計 4.692 m

## □ 超速硬コンクリート

・ A1 (車) $(0.15 \times 0.289 + 0.114 \times 0.065 / 2) \times 17.268 =$	0.813 m <sup>3</sup>
・ A1 (歩) $(0.13 \times 0.276 + 0.13 \times 0.276) \times 2.346 = 0.17 \quad 0.17 \times 2 =$	0.337 m <sup>3</sup>
・ A2 (車) $(0.15 \times 0.289 + 0.114 \times 0.065 / 2) \times 13.000 =$	0.612 m <sup>3</sup>
	計 1.761 m <sup>3</sup>

## □ シールS

・ A1 (地) $(0.02 + 0.2 + 0.2 + 0.02) \times 0.1 \times 0.02 \times 1270 =$	1.1 kg
---	--------

## □ 補強鉄筋S1 D16\*L

・ A1 (車) $2 \times 17.260 \times 1.56 =$	53.9 kg
・ A1 (歩) $4 \times 2.340 \times 1.56 = 14.6 \text{ kg} \quad 14.6 \times 2 =$	29.2 kg
・ A2 (車) $2 \times 13.000 \times 1.56 =$	40.6 kg
	計 123.7 kg

## □ コンクリートアンカー

・ A1 (車) $17.268 / 0.2 = 86 \text{ 本} \quad 86 \times 2 =$	172 本
・ A1 (歩) $2.346 / 0.2 = 11 \text{ 本} \quad 11 \times 4 \times 2 =$	88 本
・ A2 (車) $13.000 / 0.2 = 65 \text{ 本} \quad 65 \times 2 =$	130 本
	計 390 本

## □ フィラープレート 200\*0~70\*L

・ A1 (車) $0.200 \times 0.035 \times 17.268 \times 7850 =$	948.9 kg
・ A2 (車) $0.200 \times 0.035 \times 13.000 \times 7850 =$	714.4 kg
	計 1663.3 kg

## □ フィラープレート 200\*25\*L

・ A1 (車) $0.200 \times 0.025 \times 17.268 \times 7850 =$	677.8 kg
・ A2 (車) $0.200 \times 0.025 \times 13.000 \times 7850 =$	510.3 kg
	計 1188.1 kg

## □ スタッドボルト M20\*78

・ A1 (車) $17.268 / 0.2 = 86 \text{ 本} \quad 86 \times 2 =$	172 本
・ A2 (車) $13.000 / 0.2 = 65 \text{ 本} \quad 65 \times 2 =$	130 本
	計 302 本

## 既設伸縮装置撤去

### 伸縮装置撤去工

#### 撤去延長

$$A 1 \text{ 橋台 (車道部)} + A 1 \text{ 橋台 (歩道部)} + A 2 \text{ 橋台} \\ 17.268 + 4.692 + 13.000 = 34.960 \text{ m}$$

#### □ コンクリート撤去

・ A1 (車) $0.300 \times 0.150 \times 17.268 =$	0.777 m <sup>3</sup>	$0.777 \times 2.5 =$	1.943 t
・ A2 (車) $0.300 \times 0.150 \times 13.000 =$	0.585 m <sup>3</sup>	$0.585 \times 2.5 =$	1.463 t
・ A1 (歩) $0.250 \times 0.130 \times 2.346 \times 2 \times 2 =$	0.305 m <sup>3</sup>	$0.305 \times 2.5 =$	0.762 t
	計 1.667 m <sup>3</sup>	計	4.168 t

#### □ アスファルト撤去

・ A1 (車) $0.200 \times 0.095 \times 17.268 =$	0.328 m <sup>3</sup>	$0.328 \times 2.5 =$	0.820 t
・ A2 (車) $0.200 \times 0.095 \times 13.000 =$	0.247 m <sup>3</sup>	$0.247 \times 2.5 =$	0.618 t
	計 0.575 m <sup>3</sup>	計	1.438 t

#### □ 既設伸縮装置撤去

・ A1 (EJ-1, EJ-2)			3.933 t
・ A2 (EJ-3, EJ-4)			1.867 t
		計	5.800 t

変位制限設置工

変位制限設置工

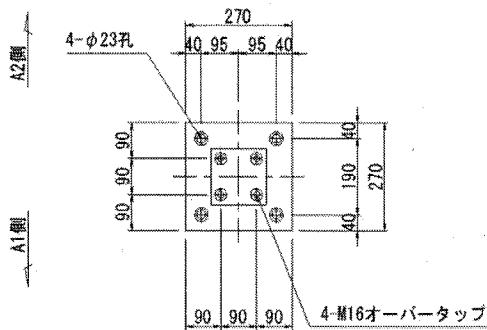
名称	単位	1基当たり 数量	設置数		数量	摘要	
			A1側	A2側			
設置基数	箇所	1	12	8	20		
削孔工	箇所	4	12	8	80		
必要樹脂量	m3	0.000456	12	8	0.0091	$(0.029^2 \times \pi / 4 \times 0.295 - 0.019^2 \times \pi / 4 \times 0.285) \times 4$	
鉄筋探查工	m2	0.073	12	8	1.5	$0.27 \times 0.27 = 0.073$ (m)	
芯出し 素地調整	片側設置	m2	0.168	6	8	2.35	$0.115 \times 0.37 + 0.17 \times 0.37 \times 2$
	両側設置	m2	0.105	6	0	0.63	$0.115 \times 0.37 + 0.17 \times 0.37$
	合計	m2	—	12	8	2.98	
鋼桁孔明工	片側設置	本	9	6	8	126	
	両側設置	本	6	6	0	36	
	合計	本	—	12	8	162	

アンカー1本当たり注入材

$$(0.029^2 \times \pi / 4 \times 0.295 - 0.019^2 \times \pi / 4 \times 0.285) \times 1200 \times 1.200 = 0.164\text{kg} \quad (\text{ロス率}20\%)$$

$$0.164\text{kg/本} \times 80\text{本} = 13.12\text{kg}$$

鋼製架台詳細図



変位制限構造 (A1橋台)  
鋼材重量表(CHR)

種別	断面	長さ	数量	単位重量(kg/m)	kg/PL	重量	材質	摘要
PL	360 × 22	× 401	1	62.172	24.931	24.9	SM400A	67%
PL	245 × 22	× 300	2	42.312	12.694	25.4	SM400A	57%
PL	170 × 28	× 370	1	37.366	13.825	13.8	SM490B	
PL	195 × 22	× 360	1	33.677	12.124	12.1	SS400	89%
PL	195 × 22	× 360	1	33.677	12.124	12.1	SS400	
PL	115 × 14	× 360	1	12.639	4.550	4.6	SS400	
			1	基当たり		92.9	kg	
		全	12	基当たり		1114.8	kg	

種別	仕様	長さ	数量	kg/本	重量	材質	摘要
TCB	M22	× 115	6	0.658	3.9	S10T	ナット、ワッシャー含む
			1	組当たり	3.9	kg	
		全	12	組当たり	46.8	kg	

桁裏補強 (G3~G6,G10,G11)

種別	断面	長さ	数量	単位重量(kg/m)	kg/PL	重量	材質	摘要
PL	170 × 28	× 370	1	37.366	13.825	13.8	SS400	
			1	セット当たり		13.8	kg	
		全	6	セット当たり		82.8	kg	

1主桁1箇所設置 (G3~G6,G10,G11)

種別	仕様	長さ	数量	kg/本	重量	材質	摘要
TCB	M22	× 110	6	0.643	3.9	S10T	ナット、ワッシャー含む
			1	セット当たり	3.9	kg	
		全	6	セット当たり	23.4	kg	

1主桁2箇所設置 (G7~G9)

種別	仕様	長さ	数量	kg/本	重量	材質	摘要
TCB	M22	× 110	6	0.643	3.9	S10T	ナット、ワッシャー含む
			1	セット当たり	3.9	kg	
		全	3	セット当たり	11.7	kg	

塗装数量

種別	仕様	長さ	数量	kg	重量	材質	摘要
PL	C-5		1	1197.6	1197.6	kg	
					1197.6	kg	

変位制限構造 (A2橋台)  
鋼材重量表(CHR)

種別	断面	長さ	数量	単位重量(kg/m)	kg/PL	重量	材質	摘要
PL	360 × 22	× 401	1	62.172	24.931	24.9	SM400A	71%
PL	245 × 22	× 300	2	42.312	12.694	25.4	SM400A	57%
PL	170 × 28	× 370	1	37.366	13.825	13.8	SM490B	
PL	195 × 22	× 360	1	33.677	12.124	12.1	SS400	89%
PL	195 × 22	× 360	1	33.677	12.124	12.1	SS400	
PL	115 × 14	× 360	1	12.639	4.550	4.6	SS400	
			1	基当たり		92.9	kg	
		全	8	基当たり		743.2	kg	

種別	仕様	長さ	数量	kg/本	重量	材質	摘要
TCB	M22	× 115	6	0.658	3.9	S10T	ナット、ワッシャー含む
			1	組当たり	3.9	kg	
		全	8	組当たり	31.2	kg	

桁裏補強 (G3~G6,G8~G11)

種別	断面	長さ	数量	単位重量(kg/m)	kg/PL	重量	材質	摘要
PL	170 × 28	× 370	1	37.366	13.825	13.8	SS400	
			1	セット当たり		13.8	kg	
		全	8	セット当たり		110.4	kg	

1主桁1箇所設置 (G3~G6,G8~G11)

種別	仕様	長さ	数量	kg/本	重量	材質	摘要
TCB	M22	× 110	6	0.643	3.9	S10T	ナット、ワッシャー含む
			1	セット当たり	3.9	kg	
		全	8	セット当たり	31.2	kg	

塗装数量

種別	仕様	長さ	数量	kg	重量	材質	摘要
PL	C-5		1	853.6	853.6 kg		
					853.6 kg		

合計

種別	仕様	長さ	数量	kg	重量	材質	摘要
PL	C-5		1	35.1	2051.2 kg		
					2051.2 kg		

排水装置補修  
鋼材重量表

種別	断面	長さ	数量	単位重量(kg/m)	kg/PL	重量	材質	摘要
PL	100 × 6	299	2	4.710	1.408	2.8	SS400	
PL	125 × 6	167	1	5.888	0.983	1.0	SS400	
			1	組当たり		3.8 kg		
		全	2	組当たり		7.6 kg		

工場製作計

PL	製作重量	2058.8 kg
T・C・B	M22 × 110	102 組
T・C・B	M22 × 115	120 組
ANC	D19 × 370	80 組

継手部塗装

5.06/1000 × 222      1.12 m2



地覆・高欄工

地覆・高欄

横断防止柵・地覆とりこわし工

仕様	箇所数	断面積 (m <sup>2</sup> )	延長 (m)	体積 (m <sup>3</sup> )	重量 (t)	摘要
	N	A	L	A×L×N	A×L×N×2.5	
地覆コンクリート	2	0.050	20.350	2.035	5.088	$A = (0.180 + 0.205) / 2 \times 0.260 = 0.050 \text{ (m}^2\text{)}$
アスファルト舗装	2	0.011	20.350	0.448	1.120	$A = 0.030 \times 0.365 = 0.011 \text{ (m}^2\text{)}$
軽量コンクリート	2	0.086	20.350	3.500	8.750	$A = (0.230 + 0.241) / 2 \times 0.365 = 0.086 \text{ (m}^2\text{)}$
合計		0.147		5.983	14.958	

アスファルト舗装取壊し 20.35m × 0.365m × 2 14.856 m<sup>2</sup>

コンクリート取壊し 2.035+3.5 5.535 m<sup>3</sup>

横断防止柵撤去 20.350m × 2 40.700 m

鉄筋 図面より 0.785 t

コンクリート 5.983 m<sup>3</sup>

スタット溶接 図面より 82.000 本

既設高欄 23.1kg/m × 40.0m 924.000 kg

車両防護柵設置新設

車両防護柵設置工

車両防護柵設置工

仕様	箇所数	設置延長	数量 (m)	摘要
	N	箇所当(m)		
車両防護柵	2	19.960	39.919	

沓座拡幅工

沓座拡幅工

名称	単位	数量			摘要
		A1側	A2側	合計	
コンクリート	m3	3.150	1.620	4.770	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
型枠	m2	18.150	9.480	27.630	
鉄筋	t	1.041	0.531	1.572	SD345
アンカー工	本	140.00	72	212	D25, L=550mm, 横向き
エポキシ樹脂注入材	kg	0.355	0.355	-	アンカー1本当たり
チッピング	m2	12.600	6.480	19.080	
鉄筋探査工	m2	12.600	6.480	19.080	

注入材樹脂量

$$(0.035 \times 0.035 \times \pi / 4 \times 0.56 - 0.025 \times 0.025 \times \pi / 4 \times 0.55) \times 1200 \times 1.10 = 0.3548 \text{kg}$$

■A1橋台側

コンクリート

$$A = 0.250 \times 0.600 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V = 0.150 \times 21.000 = 3.150 \text{ m}^3$$

型枠

$$A1 = 0.250 \times 0.600 \times 2 = 0.300 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.600 \times 21.000 = 12.600 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.250 \times 21.000 = 5.250 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 18.150 \text{ m}^2$$

鉄筋

鉄筋表より = 1.041 t

アンカー工

鉄筋表より = 140.00 本

チッピング, 鉄筋探査工

$$A = 0.600 \times 21.000 = 12.600 \text{ m}^2$$

■A2橋台側

コンクリート

$$A = 0.250 \times 0.600 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V = 0.150 \times 10.800 = 1.620 \text{ m}^3$$

型枠

$$A1 = 0.250 \times 0.600 \times 2 = 0.300 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.600 \times 10.800 = 6.480 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.250 \times 10.800 = 2.700 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 9.480 \text{ m}^2$$

鉄筋

鉄筋表より = 0.531 t

アンカー工

鉄筋表より = 72 本

チッピング, 鉄筋探査工

$$A = 0.600 \times 10.800 = 6.480 \text{ m}^2$$

橋梁排水管設置工

排水管

流水延長

項目	箇所数 N	寸法 (m)	数量 (m)	備考
【A1橋台】	2	0.720	1.440	VP100
小計			1.440	
【A2橋台】	2	0.112	0.224	VP100
	2	0.350	0.700	VP100
	2	0.601	1.202	VP100
小計			2.126	
合計			3.566	

ひびわれ補修工 (ひびわれ注入工: エポキシ系注入材)

■橋台ひびわれ補修

箇所	損傷	箇所数	幅 (mm)	長さ (mm)	ひび割れ 注入 (m)
—	—	N	t	ℓ	L
橋台-②	ひびわれ	1	0.200	640	0.64
合計	t=0.2mm以上~1.0mm以下				0.64

■地覆ひびわれ補修

箇所	損傷	箇所数	幅 (mm)	長さ (mm)	ひび割れ 注入 (m)
—	—	N	t	ℓ	L
地覆-⑬	ひびわれ	1	0.300	300	0.30
地覆-⑭	ひびわれ	1	0.300	500	0.50
地覆-⑮	ひびわれ	2	1.000	280	0.56
地覆-⑯	ひびわれ	1	0.200	700	0.70
合計	t=2.0mm以上~1.0mm以下				2.06

■ひびわれ補修計

箇所	損傷	箇所数	平均幅 (mm)	長さ (m)	ひび割れ 注入 (m)
合計		6	0.396	2.70	2.70

エポキシ樹脂シーラ材 比重1.7

$$0.030 * 0.003 * 2.700 * 1700 * 1.15 = 0.475 \text{ kg}$$

エポキシ樹脂注入材 比重1.2

$$0.300 * 0.396 / 1000 / 2 * 2.700 = 0.221 \text{ kg}$$

低圧注入器具 @250mm

$$2.70 / 0.25 = 10.800 \text{ 個}$$

①断面修復工(左官工法:ポリマーセメントモルタル)

■A1橋台断面補修

箇所	損傷	箇所数	寸法 (m)			カッター工 (m)	下地処理 (m <sup>2</sup> )	打継用 プライマー (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメント モルタル (m <sup>3</sup> )
			a	b	t				
—	—	N				(a+b)×2×N	a×b×N	a×b×N	a×b×t×N
橋台-①	剥離・鉄筋露出、うき	2	0.100	0.750	0.067	3.40	0.15	0.15	0.010
合計		2			0.067	3.40	0.15	0.15	0.010

※ 下地処理のはつり量はかぶり相当t=67mmを想定する。

■地覆断面補修

箇所	損傷	箇所数	寸法 (m)			カッター工 (m)	下地処理 (m <sup>2</sup> )	打継用 プライマー (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメント モルタル (m <sup>3</sup> )
			a	b	t				
—	—	N				(a+b)×2×N	a×b×N	a×b×N	a×b×t×N
地覆-①	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.300	0.300	0.030	1.20	0.09	0.09	0.003
地覆-②	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.300	0.300	0.030	1.20	0.09	0.09	0.003
地覆-③	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.500	0.300	0.030	1.60	0.15	0.15	0.005
地覆-④	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.200	0.030	1.20	0.08	0.08	0.002
地覆-⑤	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.900	0.300	0.030	2.40	0.27	0.27	0.008
地覆-⑥	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.200	0.250	0.030	0.90	0.05	0.05	0.002
地覆-⑦	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.600	0.300	0.030	1.80	0.18	0.18	0.005
地覆-⑧	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.500	0.300	0.030	1.60	0.15	0.15	0.005
地覆-⑨	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.600	0.200	0.030	1.60	0.12	0.12	0.004
地覆-⑩	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.200	0.030	1.20	0.08	0.08	0.002
地覆-⑪	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.200	0.030	1.20	0.08	0.08	0.002
地覆-⑫	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.300	0.030	1.40	0.12	0.12	0.004
合計		12				17.30	1.46	1.46	0.045

※ 下地処理のはつり量はかぶり相当t=30mmを想定する。

断面修復工計

箇所	損傷	箇所数	寸法 (m)	カッター工 (m)	下地処理 (m <sup>2</sup> )	打継用 プライマー (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメント モルタル (m <sup>3</sup> )
合計	-	14	-	20.7	1.61	1.61	0.055

断面修復材

$$0.055 \times 1.18 = 0.065 \text{ m}^3$$

(2) 塗装塗替え (桁、床版)

塗装塗替え (桁、床版)

部位	塗装面積 (m <sup>2</sup> )	摘要
鋼床版	600.0	
横リブ	304.5	
主桁	942.3	
合計	1846.8	

塗装塗替面積

(1) 鋼床版

鋼床版

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
デッキ下面	PL	10.500	30.591	1	1	321.21	
		2.386	4.773	2	1	11.39	50%
		3.603	9.922	2	1	32.17	45%
		1.051	3.320	2	1	5.23	75%
縦リブ	バルブ	0.180	30.591	16	2	176.20	
		0.180	2.290	2	2	1.65	
		0.180	3.816	2	2	2.75	
		0.180	2.765	2	2	1.99	
		0.180	7.200	2	2	5.18	
		0.180	5.850	2	2	4.21	
		0.180	5.129	2	2	3.69	
		0.180	4.407	2	2	3.17	
		0.180	3.686	2	2	2.65	
		0.180	0.290	2	2	0.21	
		0.180	0.690	2	2	0.50	
		0.180	1.090	2	2	0.78	
		0.180	1.490	2	2	1.07	
		0.180	1.890	2	2	1.36	
		0.180	1.266	2	2	0.91	
		0.180	2.196	2	2	1.58	
		0.180	2.900	2	2	2.09	
側縦リブ	PL	0.234	1.318	2	1	0.62	
		0.234	9.285	2	1	4.35	
		0.234	2.556	2	1	1.20	
		0.234	8.930	2	1	4.18	
		0.234	7.538	2	1	3.53	
		0.234	1.905	2	1	0.89	
		0.234	1.735	2	1	0.81	
HTB	縦リブ	6.51/1000		400	1	2.60	現場塗装
縦リブ	バルブ	0.180	0.629	8	2	1.81	
	合計		工場塗装			597.38	
			現場塗装			599.98	

タールエポ塗装（鋼床版端部）

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
デッキ下面	PL	0.1955	21.982	1	1	4.30	
		0.1955	12.982	1	1	2.54	
縦リブ	バルブ	0.180	0.185	50	2	3.33	
		0.180	0.262	10	2	0.94	
側縦リブ	PL	0.234	0.195	4	1	0.18	
	合計					11.29	

(2)横リブ

端横リブ

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
ウェブ		0.300	1.190	16	1	5.71	
		0.300	2.540	4	1	3.05	
		0.300	1.091	2	1	0.56	86%
		0.300	1.686	2	1	0.94	93%
フランジ		0.3055	1.190	16	1	5.82	
		0.3055	2.540	4	1	3.10	
		0.3055	1.091	2	1	0.67	
		0.3355	1.686	2	1	1.13	
HTB		6.51/1000		280	1	1.82	現場塗装
	合計		工場塗装			20.98	
			現場塗装			22.80	

タールエポ塗装（端横リブ）

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
ウェブ		0.300	1.190	16	1	5.71	
		0.300	2.540	4	1	3.05	
		0.300	1.091	2	1	0.56	86%
		0.300	1.686	2	1	0.94	93%
フランジ		0.1055	1.190	16	1	2.01	
		0.1055	2.540	4	1	1.07	
		0.1055	1.091	2	1	0.23	
		0.1155	1.686	2	1	0.39	
	合計					13.96	



中間横リブ

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
標準	ウェブ	0.300	1.190	184	2	131.38	
		0.300	0.425	26	2	6.63	
	フランジ	0.411	1.190	182	1	89.01	
		0.411	0.433	26	1	4.63	
		0.455	1.190	2	1	1.08	
拡幅部	ウェブ	0.300	0.896	12	2	6.45	
		0.300	1.143	2	2	1.18	86%
		0.300	1.043	2	2	1.08	86%
		0.300	1.076	2	2	1.11	86%
		0.300	1.418	2	2	1.46	86%
		0.300	0.409	2	2	0.49	
		0.300	1.407	2	2	1.69	
		0.300	0.445	4	2	1.07	
		0.300	0.749	2	2	0.81	90%
		0.300	0.309	2	2	0.36	96%
		0.300	0.504	2	2	0.52	86%
		0.300	0.528	2	2	0.54	86%
		0.300	0.635	4	2	1.52	
		0.300	0.404	2	2	0.45	93%
		0.300	1.051	2	2	1.12	89%
	フランジ	0.411	1.450	2	1	1.19	
		0.411	0.896	12	1	4.42	
		0.411	1.162	2	1	0.96	
		0.411	1.050	2	1	0.86	
		0.411	1.091	2	1	0.90	
		0.411	0.445	2	1	0.37	
		0.411	1.473	2	1	1.21	
		0.411	0.445	4	1	0.73	
		0.411	0.803	2	1	0.64	97%
		0.411	0.369	2	1	0.28	92%
		0.411	0.511	2	1	0.42	
		0.411	0.557	2	1	0.46	
		0.411	0.635	4	1	1.04	
		0.411	0.481	2	1	0.40	
		0.411	1.055	2	1	0.87	
HTB		6.51/1000		2200	1	14.32	現場塗装
	合計		工場塗装			267.33	
			現場塗装			281.65	

## (3)主桁

## 主桁G1-G7

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
G1	ウェブ	0.647	6.571	2	2	13.94	82%
		0.665	0.606	2	2	1.61	
	フランジ	0.534	6.859	2	1	7.33	
		0.914	0.457	2	1	0.42	50%
	HTB	6.51/1000		40	1	0.26	現場塗装
G2	ウェブ	0.530	2.965	2	2	5.66	90%
		0.552	0.631	2	2	1.39	
	フランジ	0.414	3.253	2	1	2.69	
		0.794	0.432	2	1	0.30	44%
	HTB	6.51/1000		28	1	0.18	現場塗装
G3-G7	ウェブ	0.827	10.830	18	2	257.94	80%
		0.865	8.930	9	2	136.26	98%
G3	フランジ	0.922	11.035	4	2	81.39	
		0.922	8.930	2	2	32.93	
G4-G7	フランジ	0.822	11.035	14	2	253.98	
		0.822	8.930	7	2	102.77	
G3-G7	スチフナー	0.150	0.105	36	1	0.57	
		0.090	0.176	36	2	1.14	
		0.090	0.243	34	2	1.49	
		0.090	0.302	32	2	1.74	
		0.090	0.355	32	2	2.04	
		0.090	0.402	34	2	2.46	
		0.090	0.442	34	2	2.71	
		0.090	0.477	32	2	2.75	
		0.090	0.505	32	2	2.91	
		0.090	0.527	32	2	3.04	
		0.090	0.542	32	2	3.12	
		0.090	0.552	32	2	3.18	
		0.090	0.555	16	2	1.60	
	HTB	6.51/1000		1664	1	10.83	現場塗装
G3	スチフナー	0.090	0.317	2	2	0.11	
		0.090	0.373	2	2	0.13	
		0.090	0.353	2	2	0.13	
		0.090	0.420	2	2	0.15	
		0.090	0.460	2	2	0.17	
		0.090	0.492	4	2	0.35	
		0.090	0.523	4	2	0.38	
		0.090	0.545	4	2	0.39	
		0.090	0.560	4	2	0.40	
		0.090	0.570	4	2	0.41	
		0.090	0.573	2	2	0.21	

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
G1, G2	スチフナー	0.150	0.117	2	1	0.04	
		0.150	0.105	6	1	0.09	
		0.090	0.149	2	2	0.05	
		0.090	0.199	2	2	0.07	
		0.090	0.192	2	2	0.07	
		0.090	0.241	2	2	0.09	
		0.090	0.234	2	2	0.08	
		0.090	0.279	2	2	0.10	
		0.090	0.272	2	2	0.10	
		0.090	0.122	2	2	0.04	
		0.090	0.167	2	2	0.06	
		0.090	0.209	2	2	0.08	
	合計		工場塗装			931.06	
			現場塗装			942.33	

タールエボ塗装（桁端部）

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
G1, G2	ウェブ	0.278	0.415	4	2	0.92	
G3-G7	ウェブ	0.1955	0.415	18	2	2.92	
	スチフナー	0.150	0.105	42	1	0.66	
		0.150	0.117	2	1	0.04	
	合計					4.54	

(4) 塗装塗替面積

塗装塗替面積

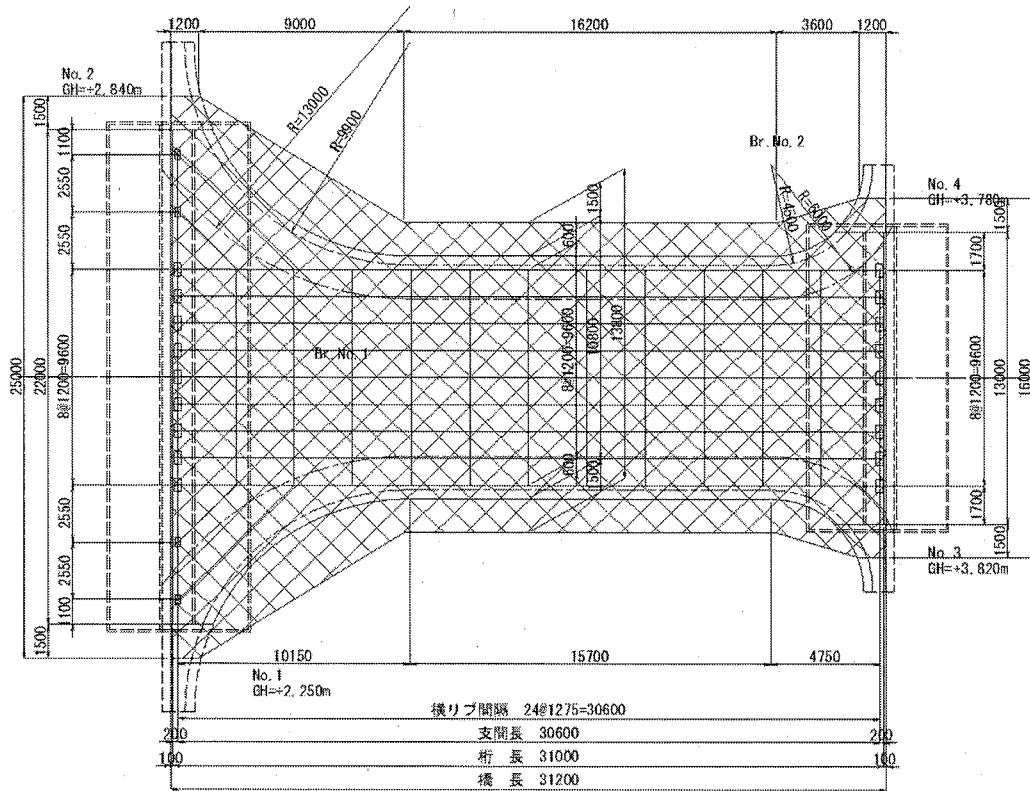
用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
鋼床版						599.98	
端横リブ						22.80	
中間横リブ						281.65	
主桁G1-G7						942.33	
合計						1846.76	

桁端存置部

用途	名称	幅(m)	長さ(m)	数量	面数	面積(m2)	摘要
タールエボ塗装（鋼床版端部）						11.29	
タールエボ塗装（端横リブ）						13.96	
タールエボ塗装（桁端部）						4.54	
合計						29.79	

足場工

上部工補修補強用足場



$$\begin{aligned}
 \text{足場工数量(m}^2\text{)} &= 25.0 \times 1.75 &&= 43.8 \\
 &+ (25.0 + 13.8) \times 8.4 / 2 &&= 163.0 \\
 &+ 13.8 \times 16.2 &&= 223.6 \\
 &+ (13.8 + 16.0) \times 3.1 / 2 &&= 46.2 \\
 &+ 16.0 \times 1.75 &&= 28.0 \\
 \hline
 \text{合計} &&&504.6 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

設 計 図				1枚の内1	
工事名称		平成30年度梅田橋修繕工事			
図面名称		位置図・平面図・各種補修補強図	縮尺	各 記	
課長		係長			
審査		設計			
平成30年 8月 日設計		図面番号	の第 号		
<b>横須賀市土木部道路補修課</b>					

位置図

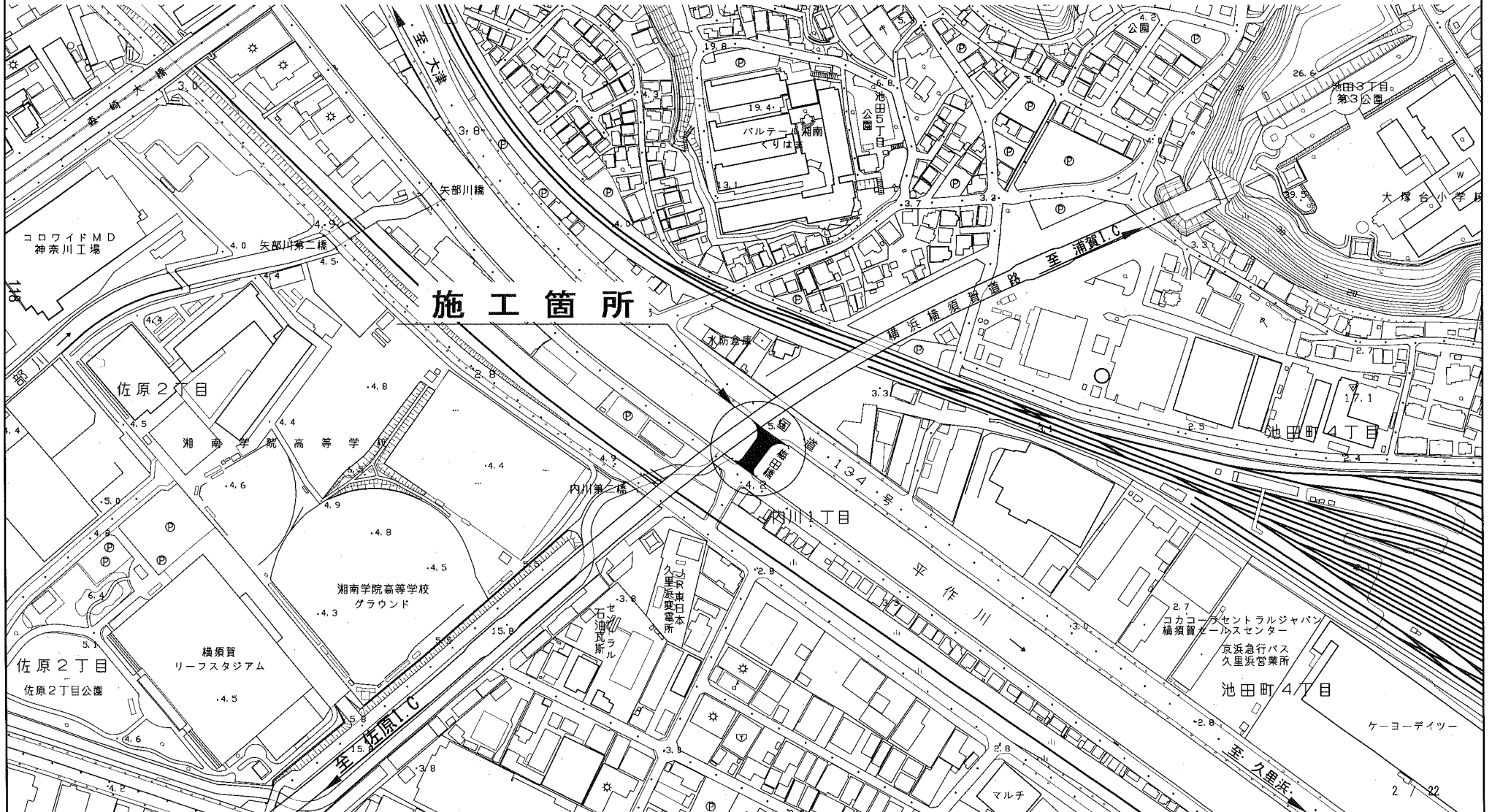
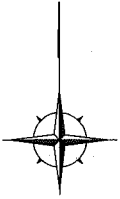
non scale

記号

縮尺

1 : 2500 制定年度

平成30年度梅田橋修繕工事  
横須賀市内川1丁目1番地先



記号

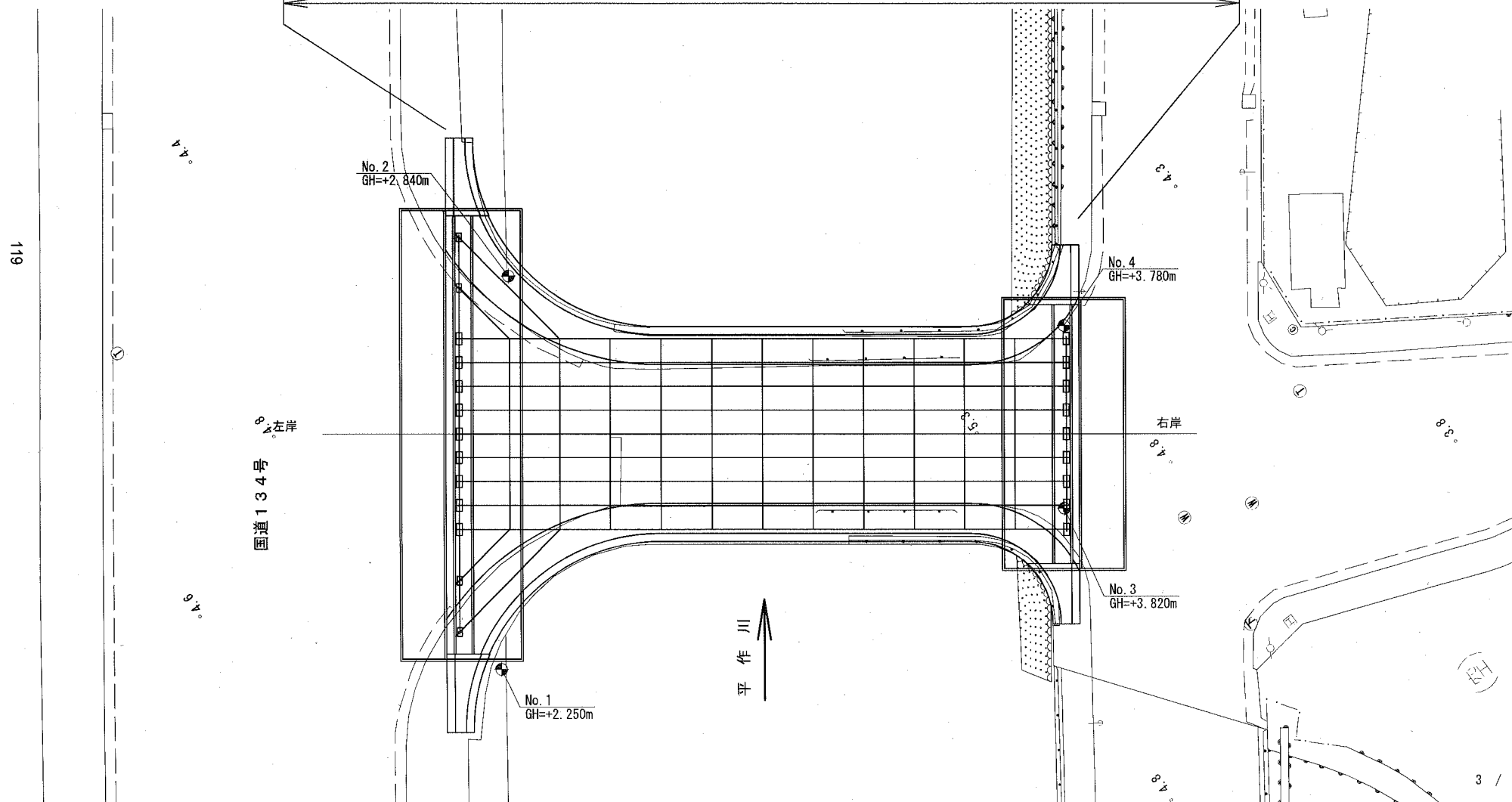
縮尺 1 : 200 制定年度

non scale

平成30年度梅田橋修繕工事 橋長 31.2m 幅員 10.8~22.0m

橋梁支承工 1式 橋梁付属物工 1式 橋梁補修工 1式 現場塗装工 1式

支承防錆工 n=22 基 伸縮継手工  $\ell=34.9$  m 変位制限装置工 n=20 組 高欄工  $\ell=39.9$  m 脊座拡幅工  $\ell=35.0$  m  
ひび割れ補修工  $\ell=2.7$  m 断面修復工  $v=0.055$ m<sup>3</sup> 橋梁塗装工  $a=1846.8$ m<sup>2</sup>



# 現況橋梁一般図

non scale

# 現況橋梁一般図

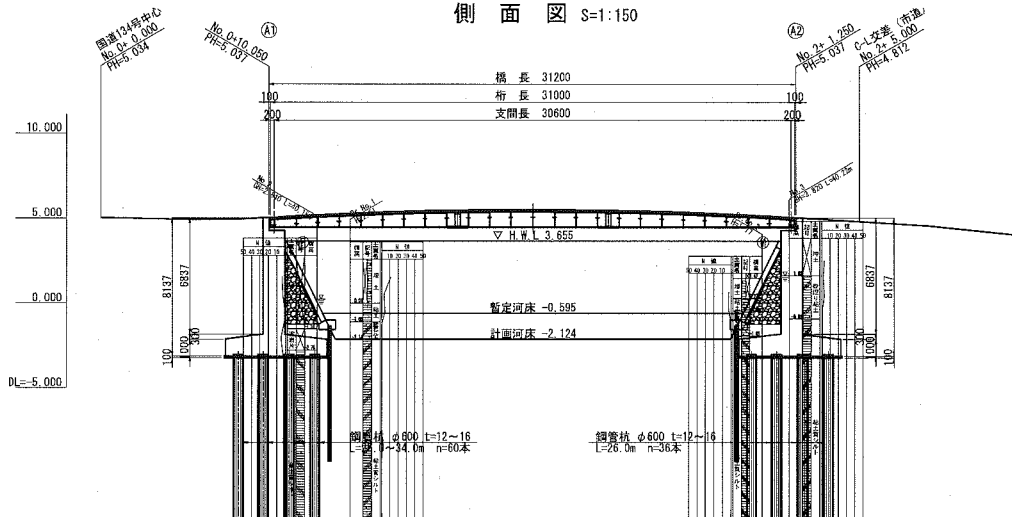
記号

縮尺

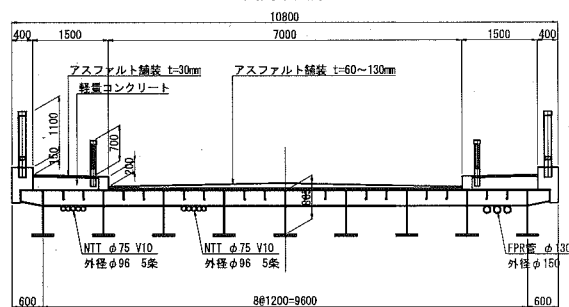
各記

制定年度

側面図 S=1:150

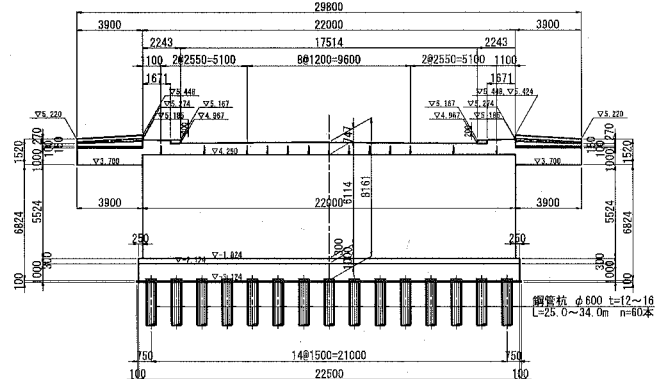


断面図 S=1:50  
支間中央部

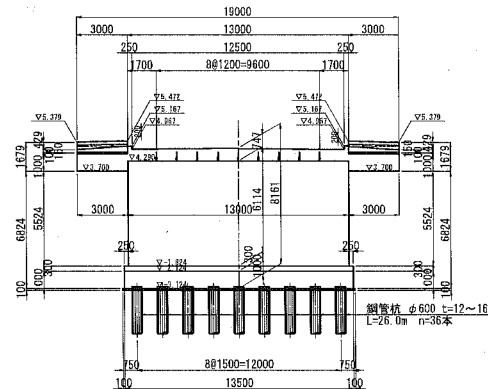


既設橋梁設計条件	
路線名	市道6888号線
道路規格	第3種 第3級
設計速度	30 km/h
活荷重	TL-20
橋の種類	一等橋
橋長	31,200 m
支間長	30,800 m
横断分配	i=1.71%~
縦断勾配	i=6.00%~6.00%
橋脚構成	車道7.00m
斜角	90° 00' 00"
設計標度	Kh=0.24
適用示方書	道路橋示方書・河解規 昭和48年2月 道路橋耐震設計指針 昭和47年7月

橋台正面図 S=1:150  
A1橋台 (固定側)



A2橋台 (可動側)

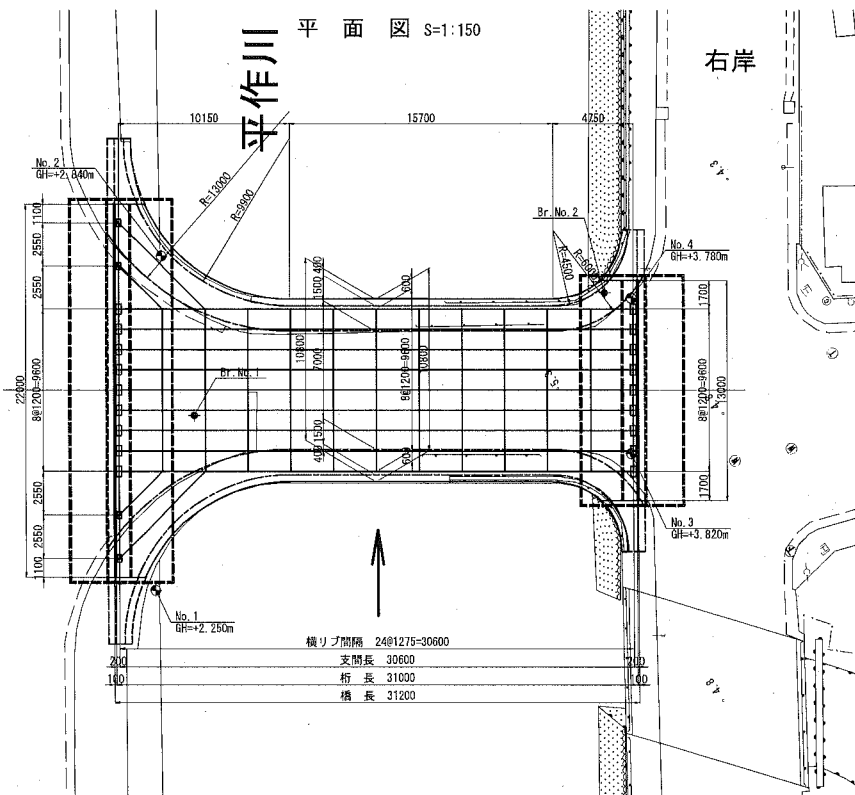


左岸

右岸

国道134号

平面図 S=1:150







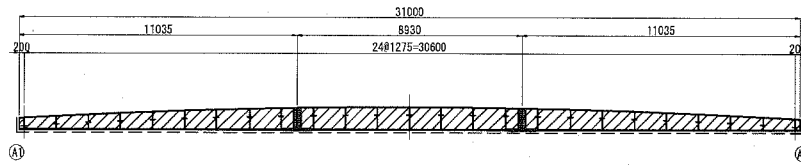
# 主桁および床版補修図

non scale

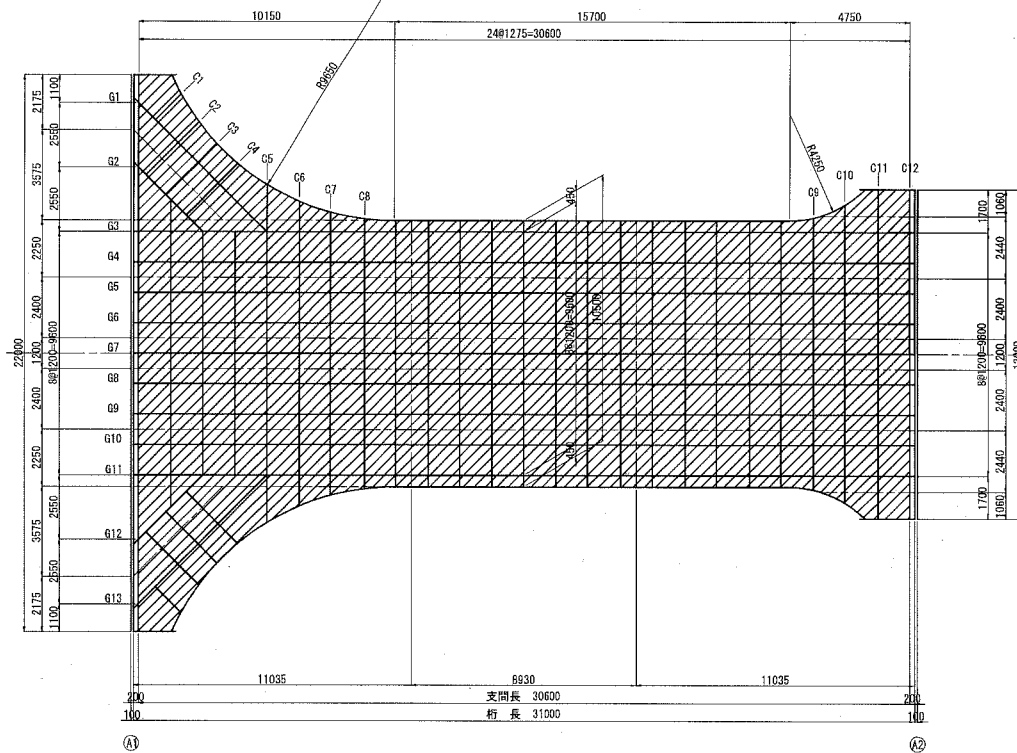
# 主桁および床版補修図

記号		
縮尺	各記	制定年度

側面図 S=1:100

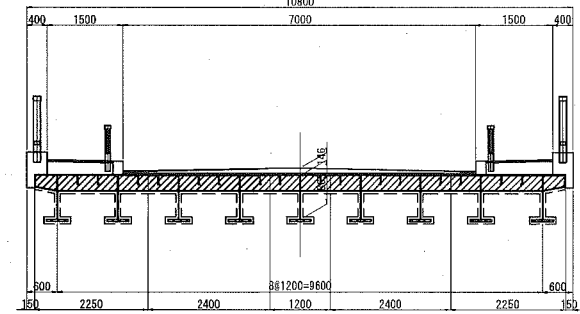


平面図 S=1:100



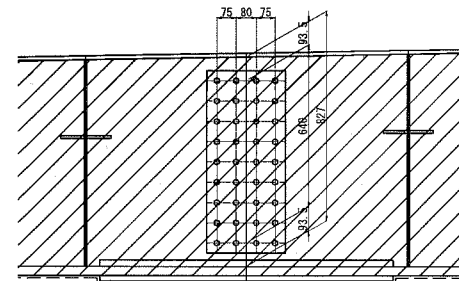
断面図 S=1:50

支間中央部

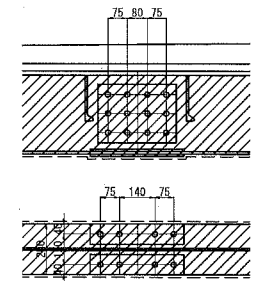


添接部詳細図 (代表作図) S=1:10

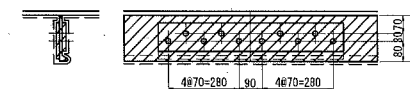
G3, G11主桁添接部



横リブ添接部



縦リブ添接部



現場塗装の仕様及び数量

RC-II塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240)	1日~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

	塗装塗替え面積
鋼床版	600.0 m <sup>2</sup>
横リブ	304.5 m <sup>2</sup>
主桁	942.3 m <sup>2</sup>
合計	1846.8 m <sup>2</sup>

※ 全塗装工程 共通

特記事項

1. 塗装塗替え前に既存塗膜の成分分析を行うこと。対策基準値以上の有害物質の含有量が検出された場合には、既存塗膜のはく離方法を監理員と協議すること。
2. 塗替え塗膜面積は補修時の上部工材料計算書より転記している。
3. 各種寸法はしゅん工図より転記している。
4. 施工時に亀裂等が確認された場合には、速やかに監理員に報告し、対応を協議すること。

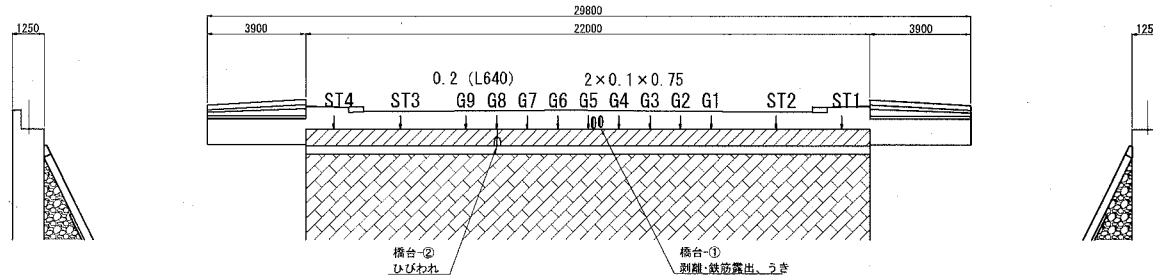
# 橋台補修図

non scale

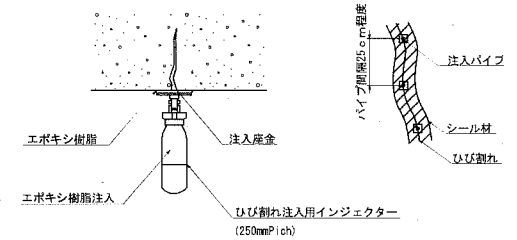
# 橋台補修図

記号		
縮尺	各記	制定年度

A1橋台（固定側）S=1:100



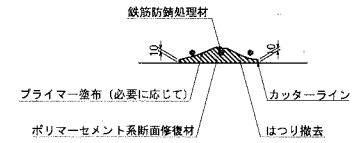
ひびわれ注入工施工図（参考図）



ひびわれ注入作業手順

- [step.1] 準備工：事前調査を行い、ひびわれ箇所及び範囲を確認する。
- [step.2] 表面処理工：ディスクサンダーやワイヤー・ブラシでひび割れに沿って汚れを落とす。
- [step.3] 取付けパイプ接着：取付けパイプをひび割れ中心に取り付ける（25cm間隔）。

断面修復工標準図（参考図）



断面修復作業手順

- [step.1] 事前調査を行い、断面修復箇所・深さ及び範囲を確認する。
- [step.2] 小型ブレード・ディスクサンダー等で断面修復部のコンクリートを撤去する。
- [step.3] 鉄筋露出部は、鉄筋の防錆処理を行う。
- [step.4] 修復部を養生する。（1日）
- [step.5] 資材・機材撤去及び清掃。

断面修復工 うき・剥離（左官工法：ポリマーセメントモルタル）

箇所	損傷	箇所数	寸法 (m)			カッター工 (m)	下地処理 (m <sup>2</sup> )	打機用プライマー (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメントモルタル (m <sup>3</sup> )
—	—	N	a	b	t	(a+b) × 2 × N	a × b × N	a × b × N	a × b × t × N
橋台-①	剥離・鉄筋露出、うき	2	0.100	0.750	0.067	3.40	0.15	0.15	0.010
合計		2			0.067	3.40	0.15	0.15	0.010

※ 下地処理のはつり量はかぶり相当t=67mmを想定する。

ひびわれ注入工（エポキシ系注入材）

箇所	損傷	箇所数	幅 (mm)	長さ (mm)	ひび割れ注入 (m)
—	—	N	t	L	L'
橋台-②	ひびわれ	1	0.200	640	0.64
合計			t=0.2mm以上~1.0mm以下		0.64

損傷凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ[幅0.2mm未満]	
ひびわれ[幅0.2mm以上1.0mm以下]	
ひびわれ[遊離石灰を伴うひびわれ]	
鉄筋露出	
剥離(豆板)	
変形・欠損	
漏水	
うき	

特記事項

・詳細寸法を現地検測により確認して決定すること。

支承補修図

支承補修図

non scale

支承詳細図 S=1:6

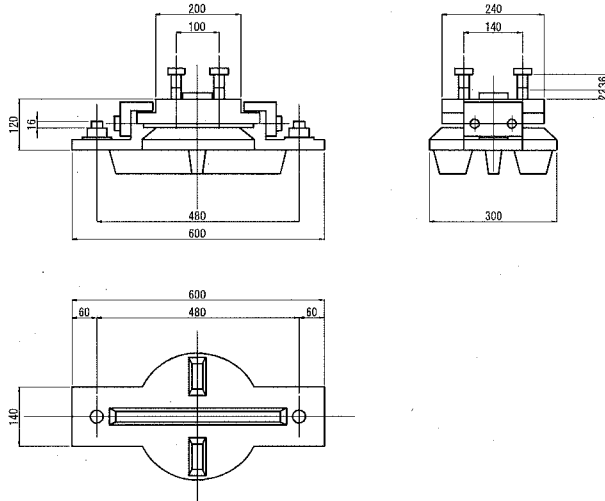
記号

縮尺

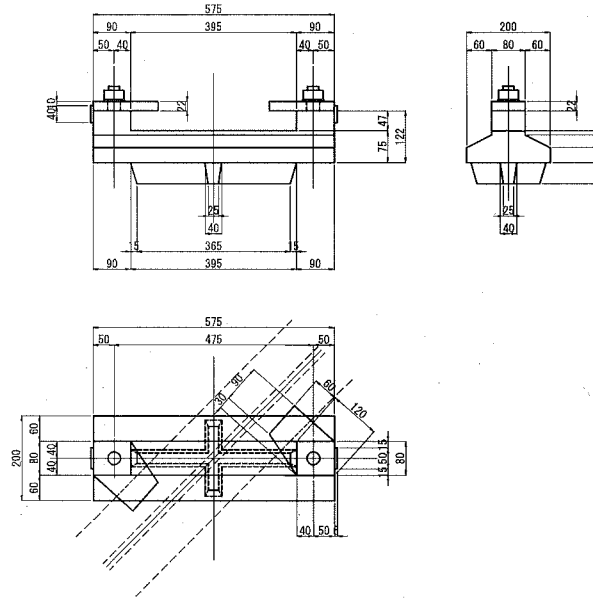
各記

制定年度

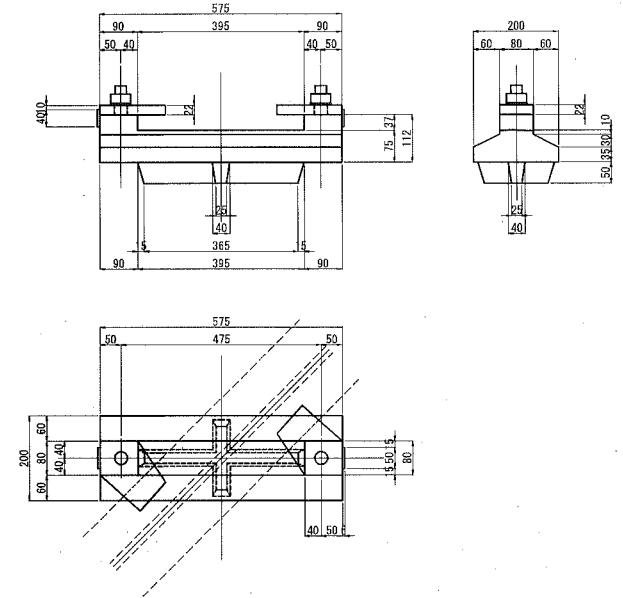
支承 F-3 (全反力36.6t)



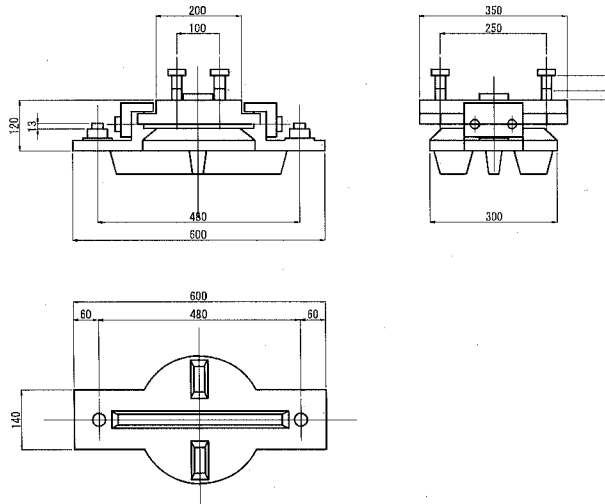
支承 F-1 (全反力30t)



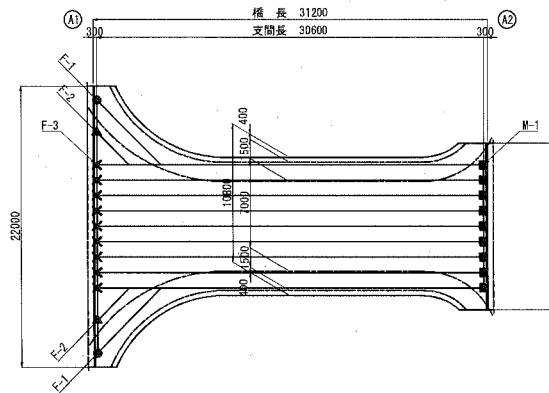
支承 F-2 (全反力30t)



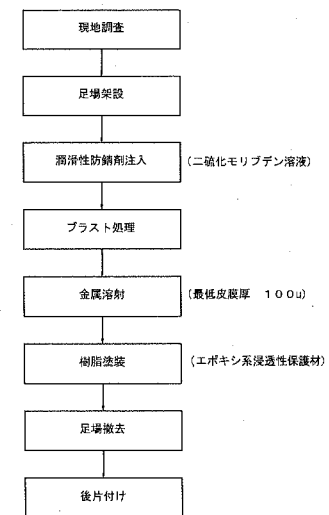
支承 M-1 (全反力36.6t)



施工位置図 S=1:200



支承防錆工施工フロー



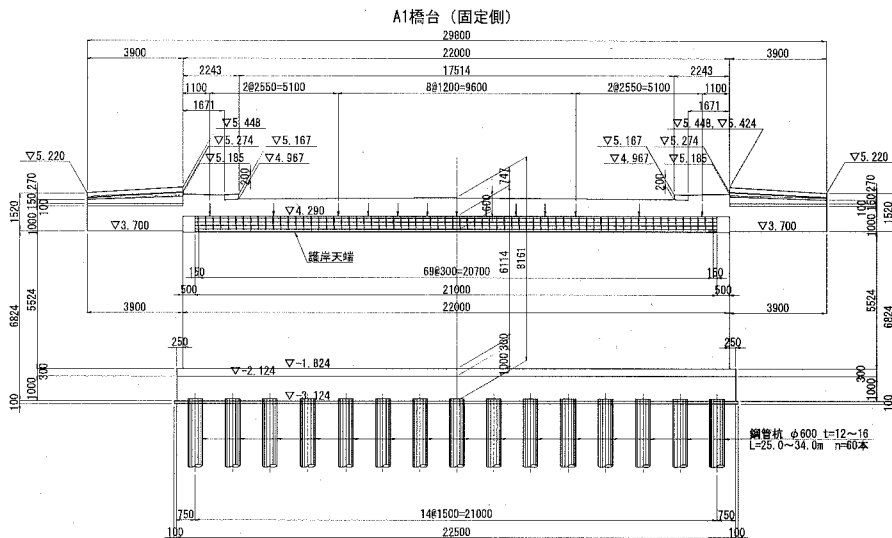
位置	主桁番号	支承名	固定or可動	種類	施工基数(基)	
A1橋台側	G-1, 13	F-1	固定	線支承	2	●
	G-2, 12	F-2	固定	線支承	2	▲
	G-3~11	F-3	固定	線支承	9	×
A2橋台側	G-3~11	M-1	可動	線支承	9	■

沓座拡幅工詳細図 (その1)

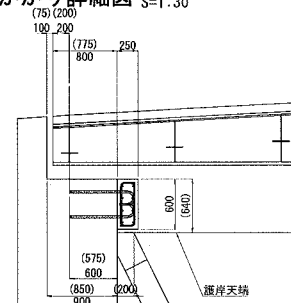
non scale

沓座拡幅工詳細図 (その1)

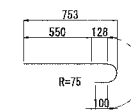
橋台正面図 S=1:100



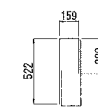
桁かかり詳細図 S=1:30



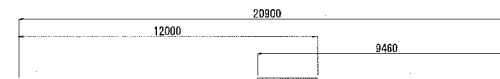
注: ( ) 内寸法は詳細点検による計測値を示す。



Ⓛ1 140-D25x1010



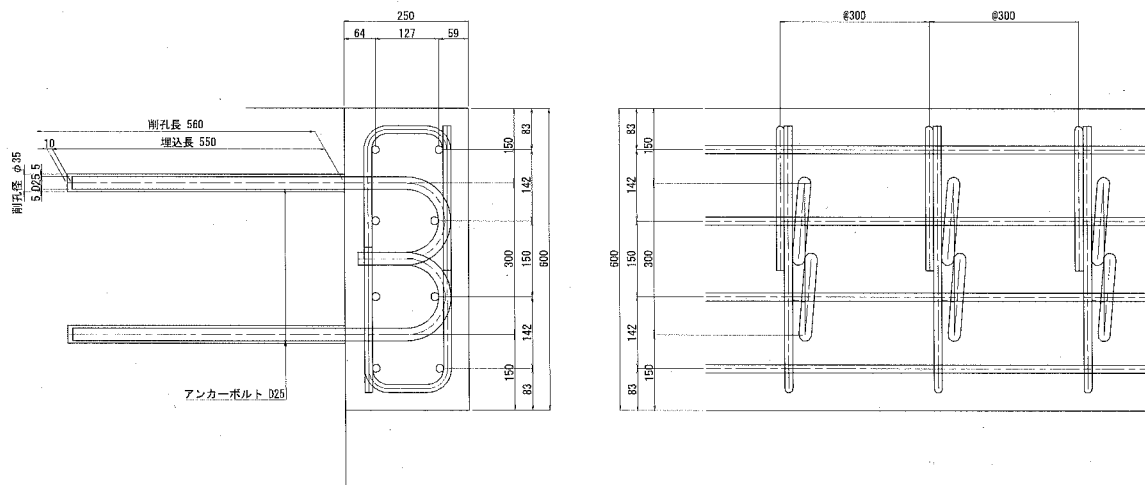
Ⓛ2 140-D16x960



Ⓛ3-1 8-D16x12000

Ⓛ3-2 8-D16x9460

沓座拡幅詳細図 S=1:5



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L1	D25	1010	140	3.98	4.02	563	→
L2	D16	960	140	1.56	1.50	210	┘
L3-1	"	12000	8	"	18.7	150	—
L3-2	"	9460	8	"	14.8	118	—
						1041 kg	
						D25	563 kg
						D16	478 kg
						合計	1041 kg

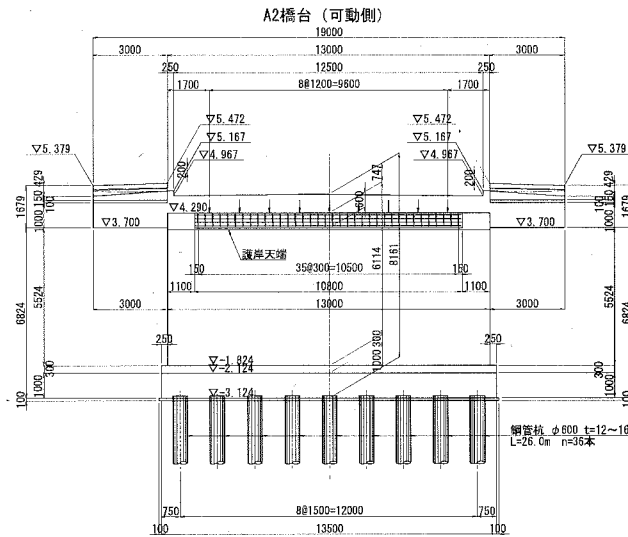
特記事項

1. 既設コンクリートへの剛孔は、鉄筋検査を実施し、既設鉄筋との干渉を避けること。アンカーボルト施工位置が設計図と異なる場合は、必ず設計計算を再照査すること。
2. 取付け位置の既設コンクリートは、不陸修正やひび割れ注入などの下地処理を行うこと。

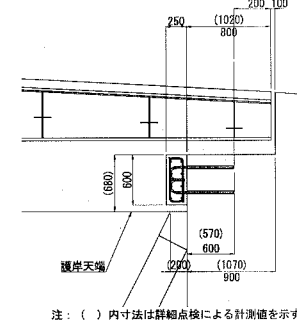
# 沓座拡幅工詳細図 (その2) non scale

## 沓座拡幅工詳細図 (その2)

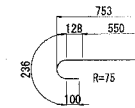
橋台正面図 S=1:100



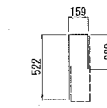
桁かかり詳細図 S=1:30



注: ( ) 内寸法は詳細点検による計測値を示す。

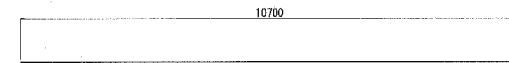
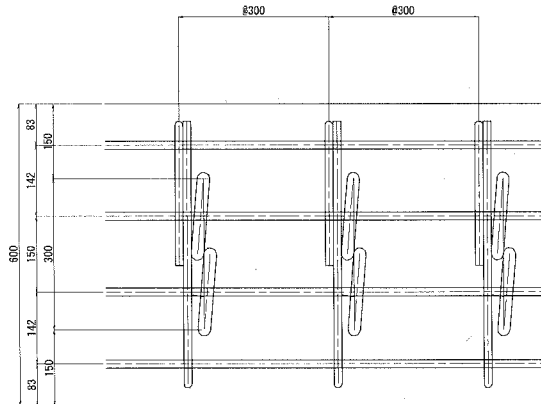
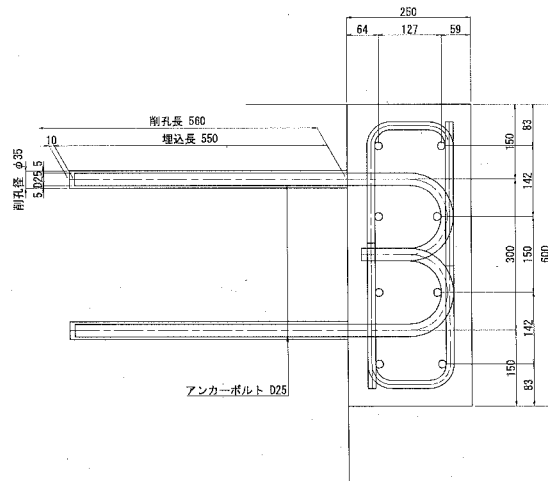


L1 72-D25x1010



L2 72-D16x960

沓座拡幅詳細図 S=1:5



L3 8-D16x10700

鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L1	D25	1010	72	3.98	4.02	289	→
L2	D16	960	72	1.56	1.50	108	┘
L3	"	10700	8	"	16.7	134	—
531 kg							
D25							289 kg
D16							242 kg
合計							531 kg

特記事項

1. 既設コンクリートへの削孔は、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋との干渉を避けること。アンカーボルト施工位置が設計図と異なる場合は、必ず設計計算を再照査すること。
2. 取付け位置の既設コンクリートは、不陸修正やひび割れ注入などの下地処理を行うこと。

変位制限構造配置図 (その1) S=1:40

変位制限構造配置図 (その1)

A1橋台

non scale

記号

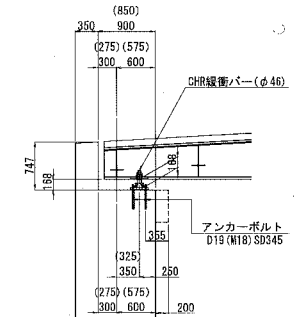
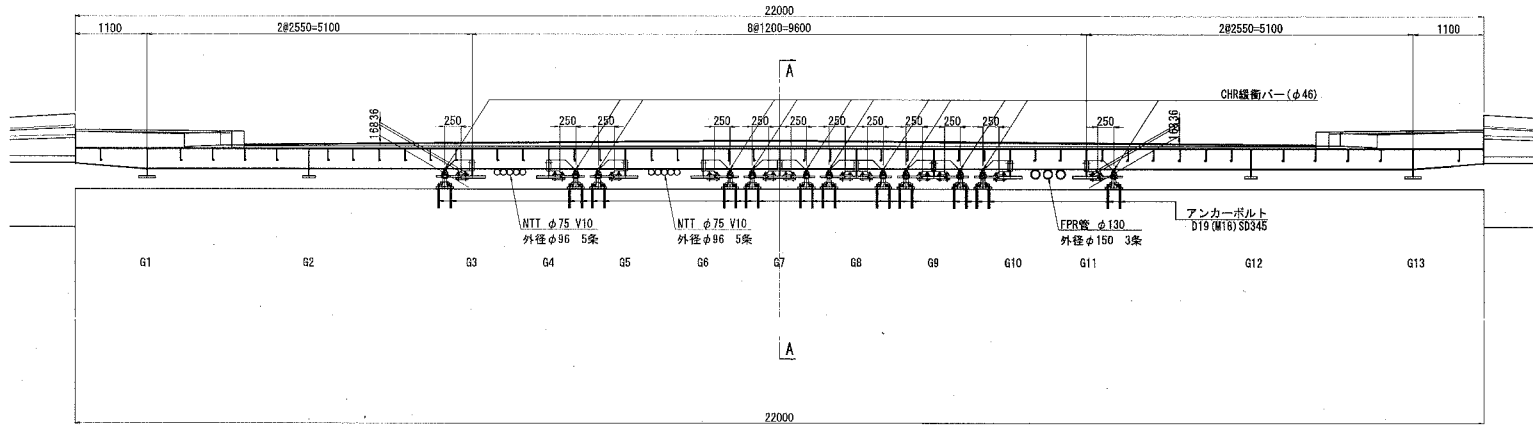
縮尺

1:40

制定年度

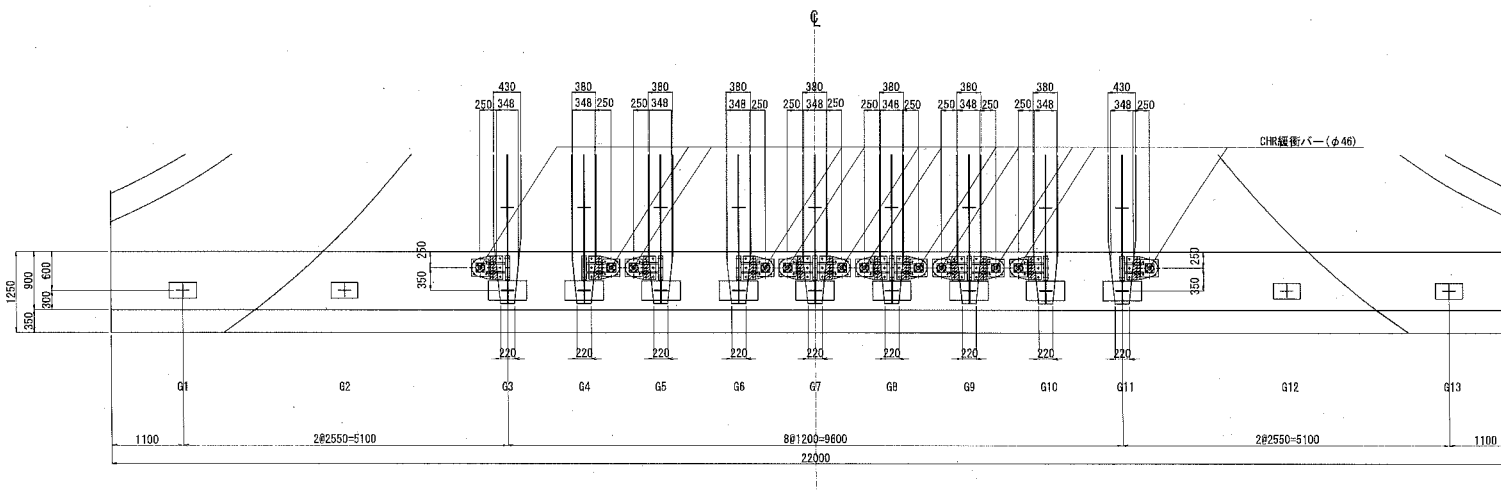
正面図

側面図  
(A-A)



注：( ) 内寸法は詳細点検による計測値を示す。

平面図



特記事項

1. 施工にあたっては、現地検測で既設構造物寸法を確認してから製作寸法等を決定すること。
2. アンカーボルトは、非破壊検査で内部鉄筋位置を確認してから削孔すること。
3. 取付け位置や構造寸法が設計図と異なる場合は、必ず設計計算を再照査すること。
4. 取付け位置の既設コンクリートは、不陸修正やひび割れ注入などの下地処理を行うこと。

変位制限構造配置図 (その2) S=1:40

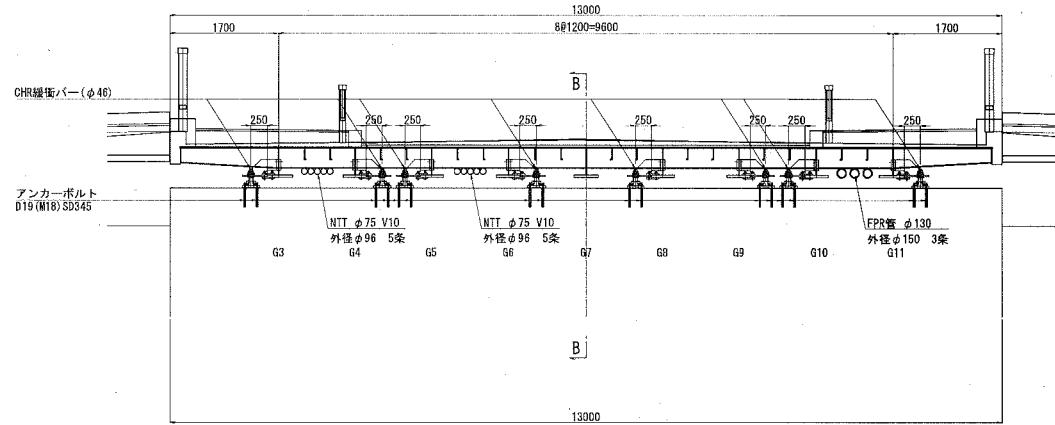
A2橋台

non scale

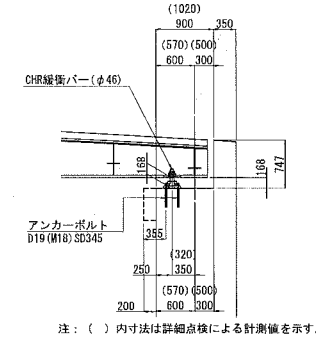
変位制限構造配置図 (その2)

記号		
縮尺	1:40	制定年度

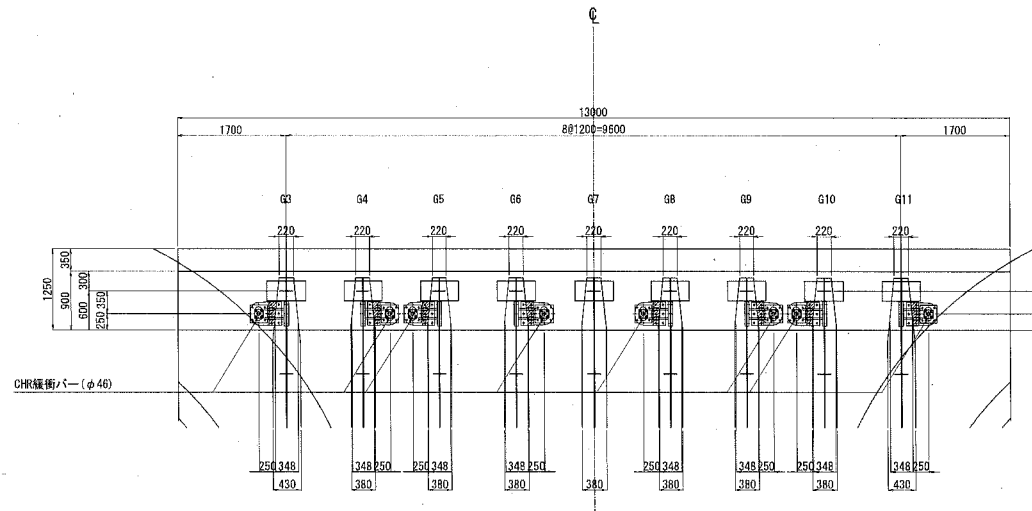
正面図



側面図  
(B-B)



平面図



特記事項

1. 施工にあたっては、現地検測で既設構造物寸法を確認してから製作寸法等を決定すること。
2. アンカーボルトは、非破壊検査で内部鉄筋位置を確認してから削孔すること。
3. 取付け位置や構造寸法が設計図と異なる場合は、必ず設計計算を再調査すること。
4. 取付け位置の既設コンクリートは、不陸修正やひび割れ注入などの下地処理を行うこと。



# 変位制限構造詳細図 (その1) S=1:10

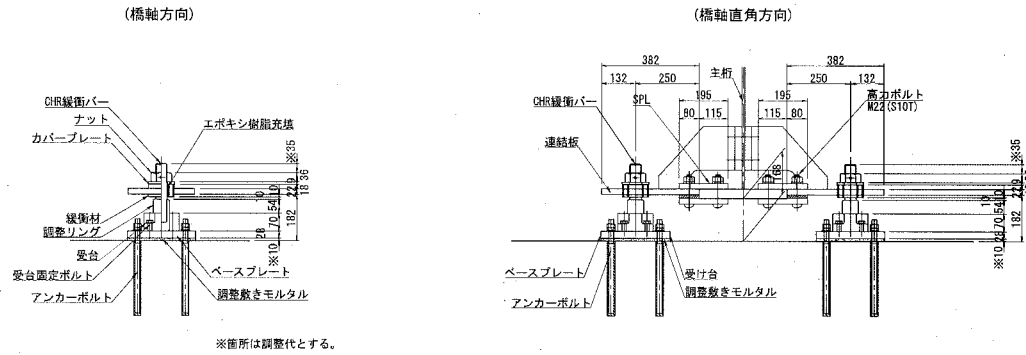
A1, A2橋台 CHR緩衝バー(CHR 46型)

non scale

## 変位制限構造詳細図 (その1)

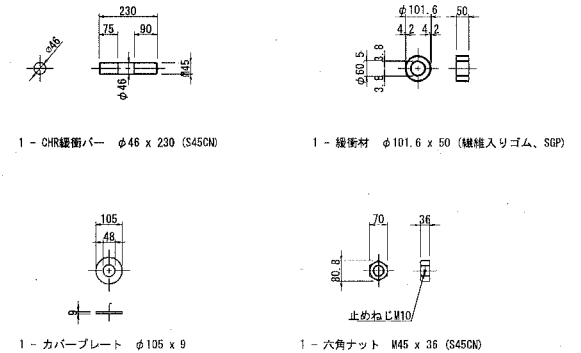
記号		
縮尺	1:10	制定年度
設計荷重	橋軸方向	A1(固定側) 77 kN/基
	橋軸直角方向	A2(可動側) 0 kN/基
	橋軸方向	43 kN/基
	橋軸直角方向	51 kN/基
移動量	橋軸方向	±15 mm
	橋軸直角方向	±55 mm

CHR緩衝バー組立図

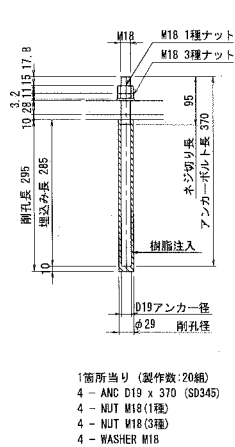


CHR緩衝バー詳細図

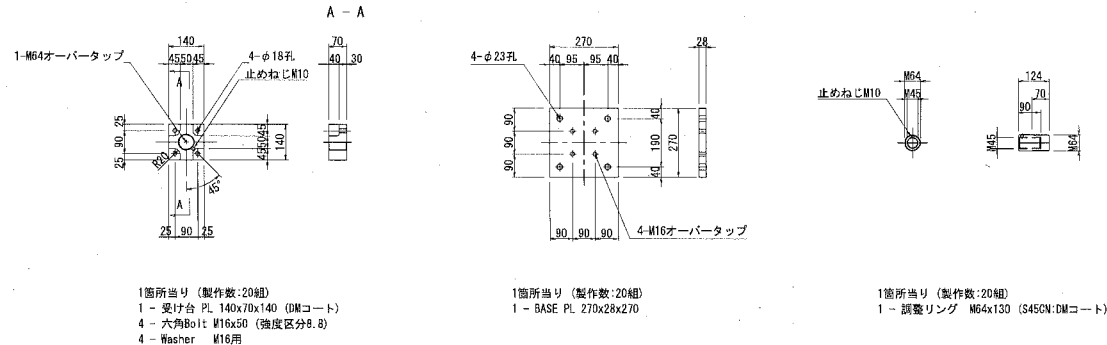
(防錆処理: DMコート)



アンカーボルト詳細図 S=1:5



鋼製架台詳細図



注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は環境計測の上、最終決定のこと。
- 特記なき鋼部材は、工場検査0-5検査系とする。  
アンカーボルトのネジ切り部、およびボルト・ナット類はHDZ35の溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- 既設コンクリートへの剛孔の際には、無筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。  
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

変位制限構造詳細図 (その2) S=1:10

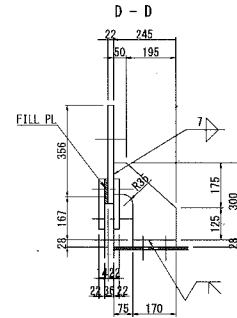
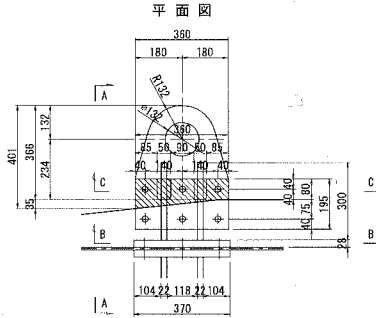
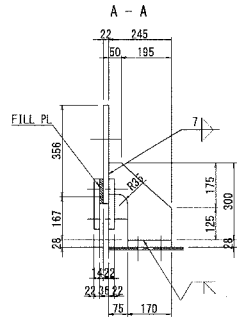
A1, A2橋台 CHR緩衝バー(CHR 46型)

non scale

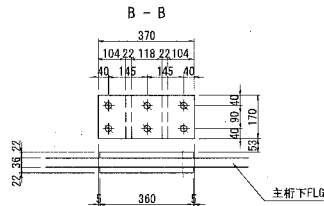
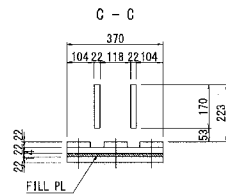
変位制限構造詳細図 (その2)

記号		
縮尺	1:10	制定年度

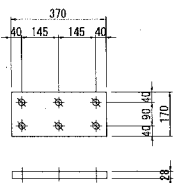
A1側



- 1箇所当り (製作数:12組)
- 1 - TOP PL 360x22x401 (SM400A)
  - 2 - RIB PL 245x22x300 (SM400A)
  - 1 - BASE PL 170x28x370 (SM490B)
  - 1 - SPL PL 195x22x360
  - 1 - SPL PL 195x22x360
  - 1 - FILL PL 115x14x360
  - 6 - TCB M22x115 (S10T)

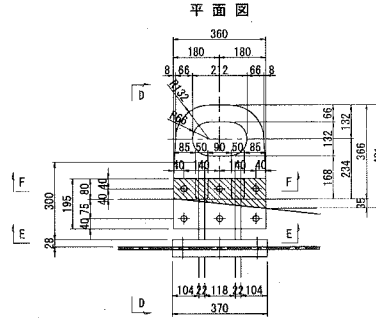


桁裏補強

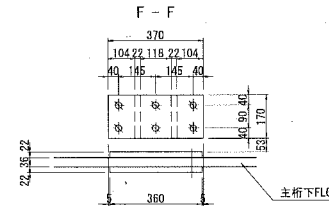
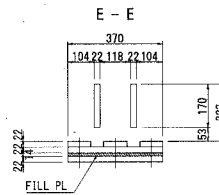


- 1主桁1箇所設置 <G3, G4, G8~G11> (製作数:8セット)
- 1 - BASE PL 170x28x370
  - 6 - TCB M22x110 (S10T) (2-冊付)
- 1主桁2箇所設置 <G5~G7> (製作数:3セット)
- 6 - TCB M22x110 (S10T) (2-冊付)

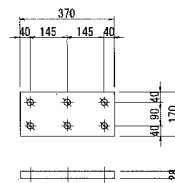
A2側



- 1箇所当り (製作数:8組)
- 1 - TOP PL 360x22x401 (SM400A)
  - 2 - RIB PL 245x22x300 (SM400A)
  - 1 - BASE PL 170x28x370 (SM490B)
  - 1 - SPL PL 195x22x360
  - 1 - SPL PL 195x22x360
  - 1 - FILL PL 115x14x360
  - 6 - TCB M22x115 (S10T)

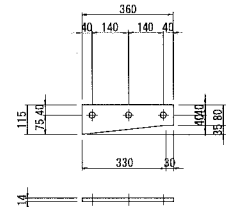


桁裏補強



- 1主桁1箇所設置 <G3~G6, G8~G11> (製作数:8セット)
- 1 - BASE PL 170x28x370
  - 6 - TCB M22x110 (S10T) (2-冊付)

FILL PL 詳細図



注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
3. 特記なき鋼部材は、工場塗装D-5塗装系とする。  
アンカーボルトのネジ切り部、およびボルト・ナット類はH0Z35の滑融垂鉛メッキ仕上げとする。
4. 既設コンクリートへの掘削の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。  
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

# 車両用防護柵取付詳細図

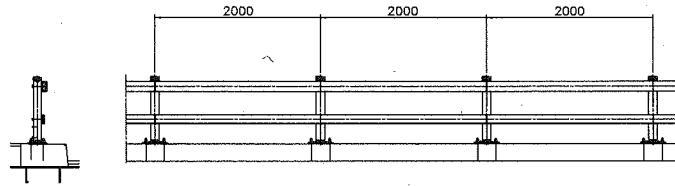
<参考図>

non scale

# 車両用防護柵取付詳細図

記号	
縮尺	各記 制定年度

姿図 S=1/30

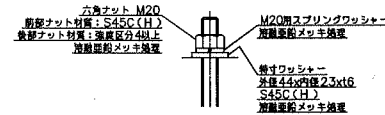


## 材料表

部号	名称	寸法	数量	重量	1本当	総重量	材質	備考
1	主要横梁	3990.0	1	6.671	26.62	26.6	A6061S-T6	
2	下段横梁	3990.0	1	3.558	14.20	14.2	A6061S-T6	
3	支柱	715.0	2	6.492	4.64	9.3	A6061S-T6	
4	主要スリーブ	50.0	1	7.589	0.38	0.4	A6061S-T6	
5	主要スリーブ	300.0	1	7.589	2.28	2.3	A6061S-T6	
6	下段スリーブ	50.0	1	4.902	0.25	0.3	A6061S-T6	
7	下段スリーブ	300.0	1	4.902	1.47	1.5	A6061S-T6	
8	支柱キャップ		2		0.63	1.3	アルミ合金陸物	
9	六角ボルト	M12x120	2		0.13	0.3	SUS304	W1,SW1
10	六角ボルト	M12x30	4		0.05	0.2	SUS304	W1,SW1
11	六角ボルト	M16x130	2		0.28	0.5	SUS304	W1,SW1
12	六角ボルト	M16x35	4		0.11	0.4	SUS304	W1,SW1
13	六角ボルト	M4x20	8		0.002	-	SUS304	
14	ベースボルト		2		12.50	25.0	SS400	
15	六角ボルト	M12x30	4		0.05	0.2	SUS304	W1,SW1
16	アンカーボルト	M20x220	4		0.68	2.7	強度区分4.6以上	N1,φ44,SW1
17	アンカーボルト	M20x250	4		0.79	3.2	SCM435	N3,φ44,SW1
18	アンカープレート	100x100x12	4		0.94	3.8	SS400	

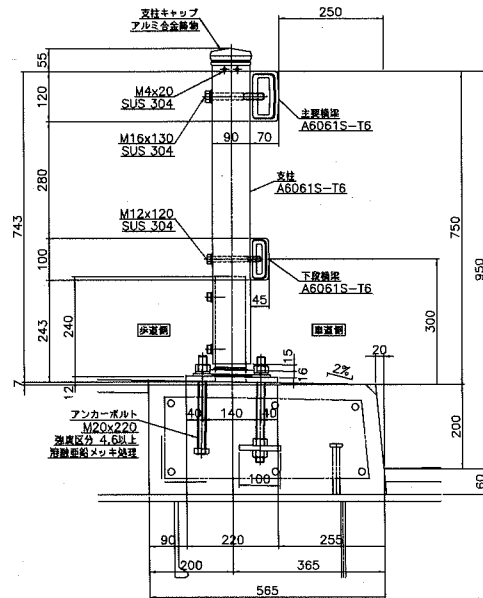
総重量 92.2 Kg/4M  
M/㎡ 23.1 Kg/M (幅材は除く)

## アンカーナット締め付け部 S=1/3

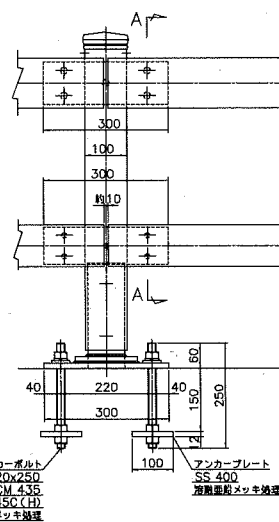


## 車両用防護柵取付詳細図

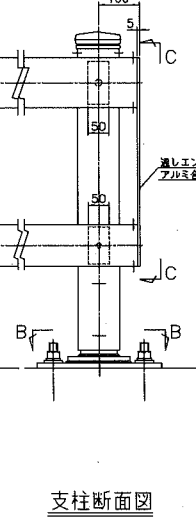
種別 C種 S=1/6



## 継手部



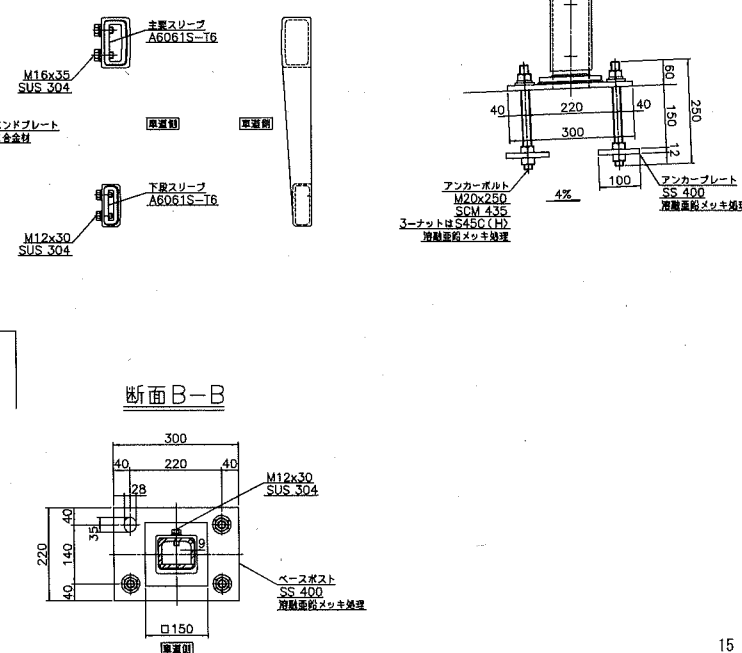
## 端部



## 断面A-A

## 断面C-C

## 勾配部定着詳細図 S=1/3



注記 1. 本防護柵の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成  
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成22年10月)による。  
2. 本防護柵の表面処理は別途打ち合わせとする。  
コンクリート強度  $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ 以上

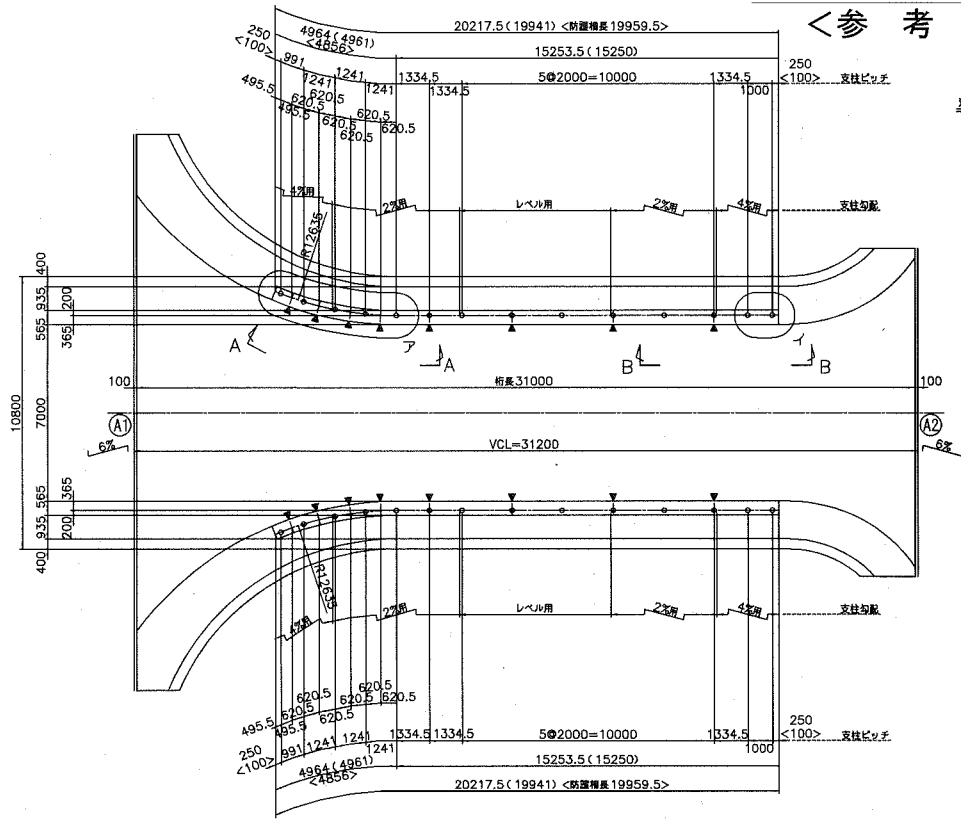
# 車両用防護柵割付図

<参考図>

non scale

# 車両用防護柵割付図

記号		
縮尺	各記	制定年度



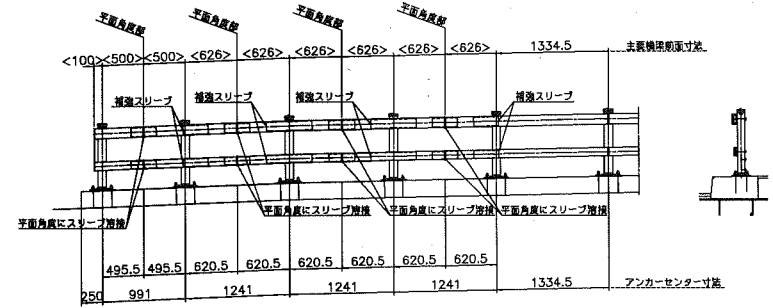
平面図 S=1/100

注記  
 1. 記入寸法はアンカーセンター間寸法とし、変異も示す。  
 2. 図中の寸法は支柱位置を示し、ア印は橋脚端手位置を示す。  
 3. < > 内寸法は橋脚寸法を示す。

車両用防護柵総延長	39M919
レベル用~2次用	30M346
4次用	9M573

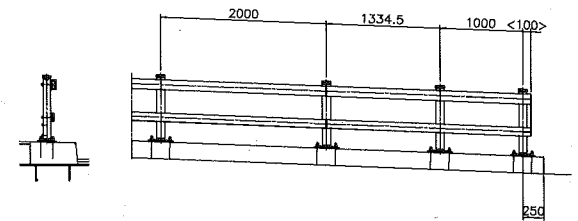
姿図 S=1/30

A-A

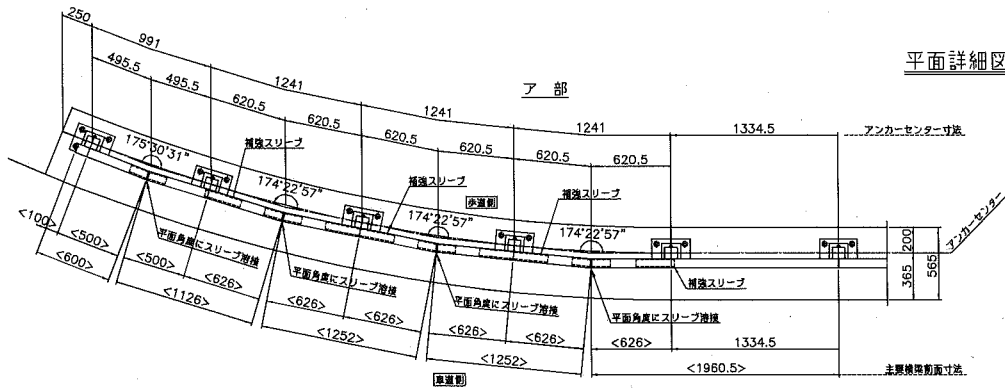


姿図 S=1/30

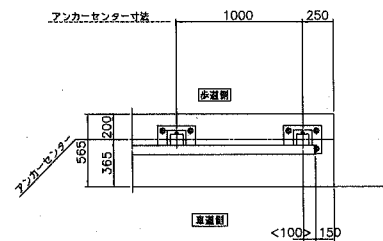
B-B



平面詳細図 S=1/20



イ部



# 車両用防護柵基礎詳細図

## 車両用防護柵基礎詳細図

記号

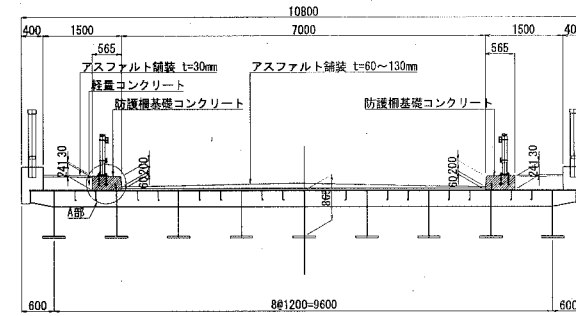
縮尺

各記

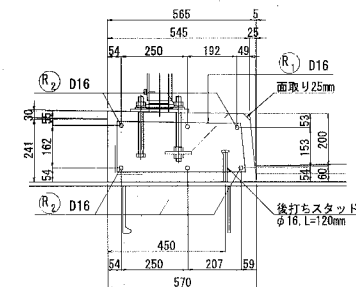
制定年度

non scale

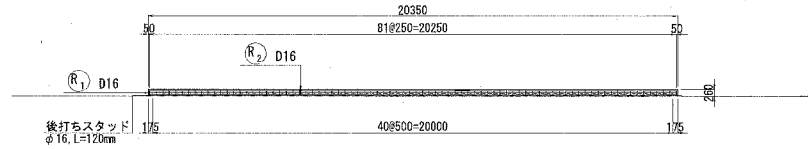
### 断面図 S=1:50



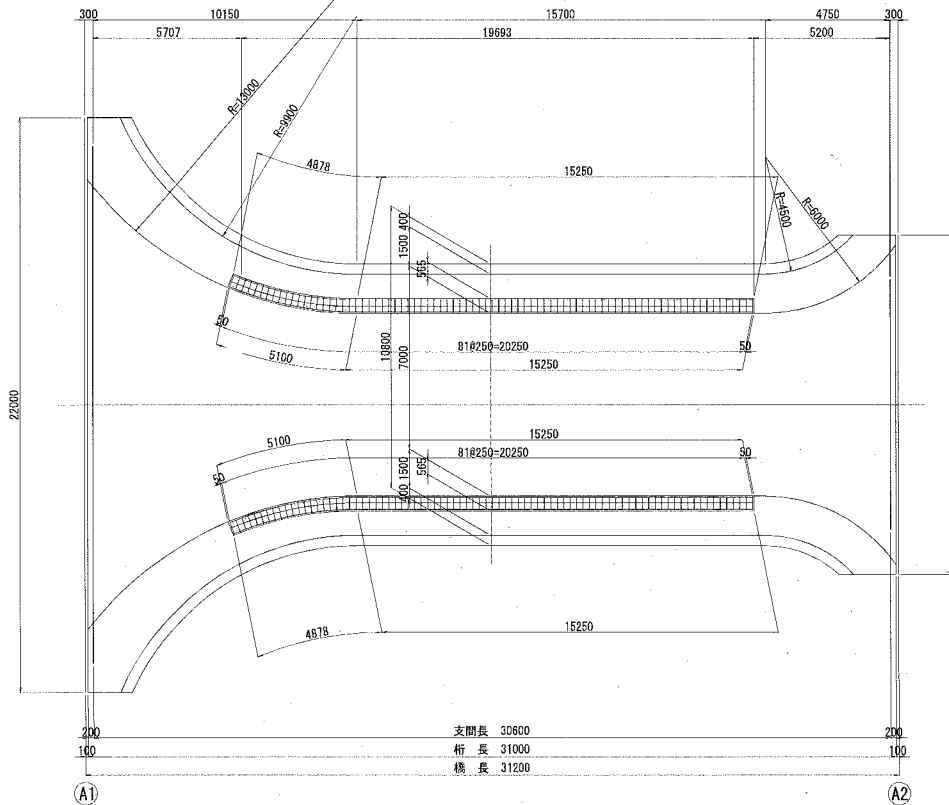
### A部詳細図 S=1:10



### 側面図 S=1:100



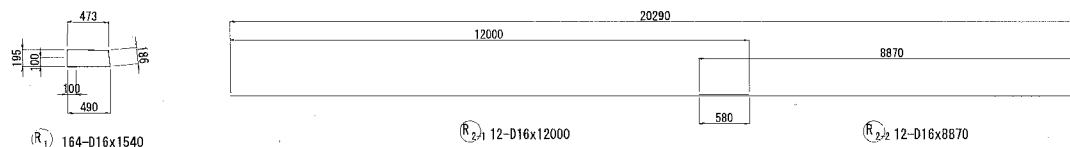
### 平面図 S=1:100



### 鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R1	D16	1540	164	1.56	2.40	394	□
R2-1	"	12000	12	"	18.72	225	—
R2-2	"	8870	12	"	13.84	166	—
						785	鉄筋
						D16	785
						合計	785
						後打ちスタッド φ16×120	82箇所
							19

### 鉄筋加工図



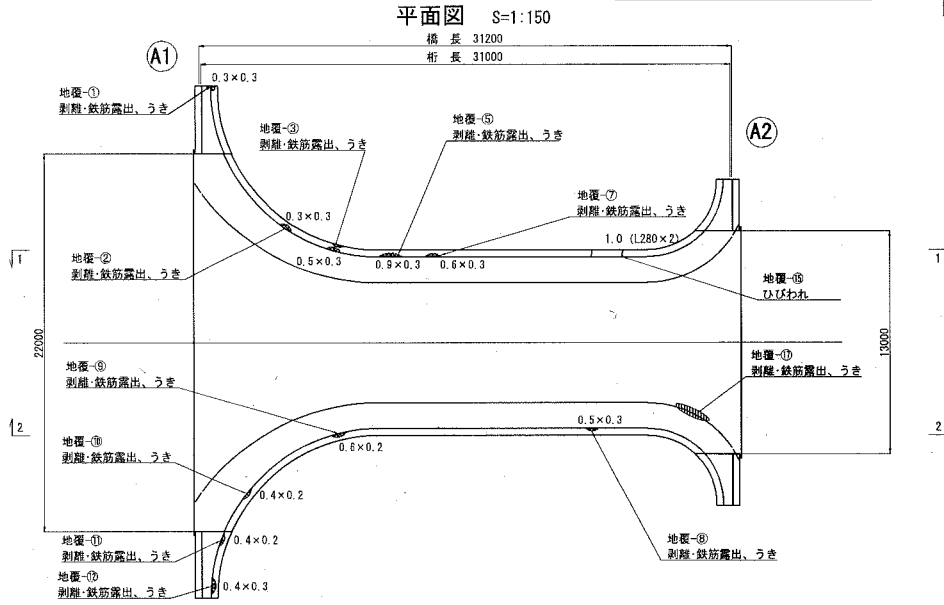
#### 特記事項

- 基礎コンクリートの設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上とする。
- 使用鉄筋はSD345とする。
- 施工にあたっては、現地検測で既設橋筋防止柵設置範囲を確認し、同等程度以上の範囲に設置すること。
- 後打ちスタッドの間隔は50cm以下とすること。
- 基礎コンクリートの端部は縁石および歩道面に滑らかにすり付けること。

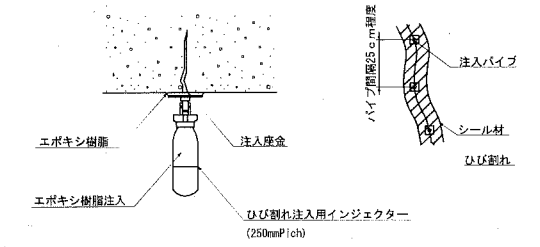
# 地覆補修図

non scale

地覆補修図		
記号		
縮尺	各記	制定年度

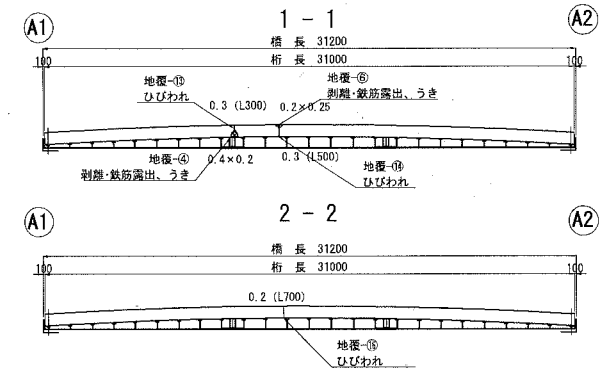


## ひびわれ注入工施工図 (参考図)

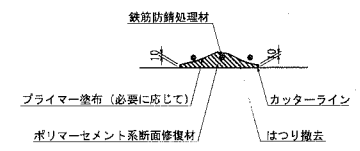


- ひびわれ注入作業手順
- [step.1] 準備工：事前調査を行い、ひび割れ箇所及び範囲を確認する。
  - [step.2] 表面処理工：ディスクサンダーやワイヤー・ブラシでひび割れに沿って汚れを落とす。
  - [step.3] 取付けパイプ接着：取付けパイプをひび割れ中心に取り付ける (25cm間隔)。

## 側面図 S=1:150



## 断面修復工標準図 (参考図)



- 断面修復作業手順
- [step.1] 事前調査を行い、断面修復する箇所・深さ及び範囲を確認する。
  - [step.2] 小型ブレード・ディスクサンダー等で断面修復部のコンクリートを撤去する。
  - [step.3] 鉄筋露出部は、鉄筋の防錆処理を行う。
  - [step.4] 修復部を養生する。(1日)
  - [step.5] 資材・機材撤去及び清掃。

断面修復工 うき・剥離 (左官工法：ポリマーセメントモルタル)

箇所	損傷	箇所数	寸法 (m)			カット工 (m)	下地処理 (m <sup>2</sup> )	打撃用プライマー (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメントモルタル (m <sup>3</sup> )
			a	b	t				
地覆-①	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.300	0.300	0.030	1.20	0.09	0.09	0.003
地覆-②	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.300	0.300	0.030	1.20	0.09	0.09	0.003
地覆-③	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.500	0.300	0.030	1.60	0.15	0.15	0.005
地覆-④	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.200	0.030	1.20	0.08	0.08	0.002
地覆-⑤	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.900	0.300	0.030	2.40	0.27	0.27	0.008
地覆-⑥	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.200	0.250	0.030	0.90	0.06	0.05	0.002
地覆-⑦	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.600	0.300	0.030	1.80	0.18	0.18	0.005
地覆-⑧	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.500	0.300	0.030	1.60	0.15	0.15	0.005
地覆-⑨	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.600	0.200	0.030	1.60	0.12	0.12	0.004
地覆-⑩	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.200	0.030	1.20	0.08	0.06	0.002
地覆-⑪	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.200	0.030	1.20	0.08	0.08	0.002
地覆-⑫	剥離・鉄筋露出、うき	1	0.400	0.300	0.030	1.40	0.12	0.12	0.004
合計		12				17.30	1.46	1.46	0.045

※ 下地処理のはつり量はかぶり相当t=30mmを想定する。

ひびわれ注入工 (エポキシ系注入材)

箇所	損傷	箇所数	幅 (mm)	長さ (mm)	ひびわれ注入 (m)
地覆-①	ひびわれ	1	0.300	300	0.30
地覆-②	ひびわれ	1	0.300	500	0.50
地覆-⑤	ひびわれ	2	1.000	280	0.56
地覆-⑥	ひびわれ	1	0.200	700	0.70
合計			t=0.2mm以上~1.0mm以下		2.06

## 損傷凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ(幅0.2mm未満)	
ひびわれ(幅0.2mm以上1.0mm以下)	
ひびわれ(遊離石灰を伴うひびわれ)	
鉄筋露出	
剥離(豆板)	
変形・欠損	
漏水	
うき	

特記事項  
・詳細寸法を現地検測により確認して決定すること。

# 伸縮装置補修図

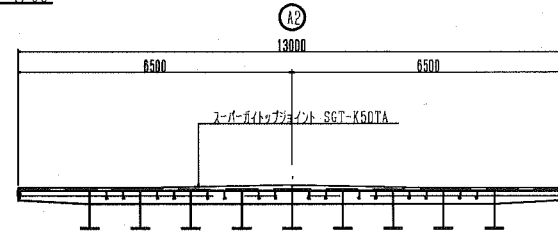
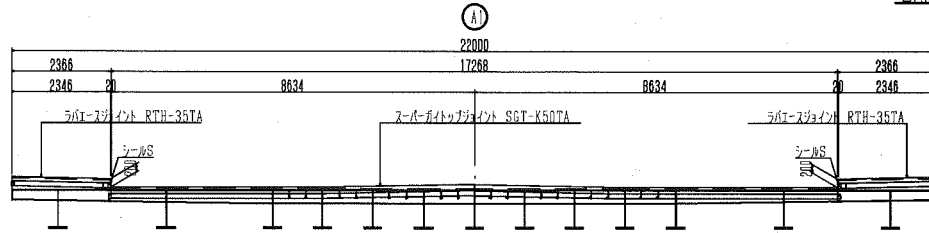
<参考図>

non scale

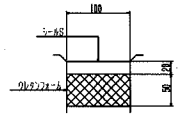
# 伸縮装置補修図

記号		
縮尺	各記	制定年度

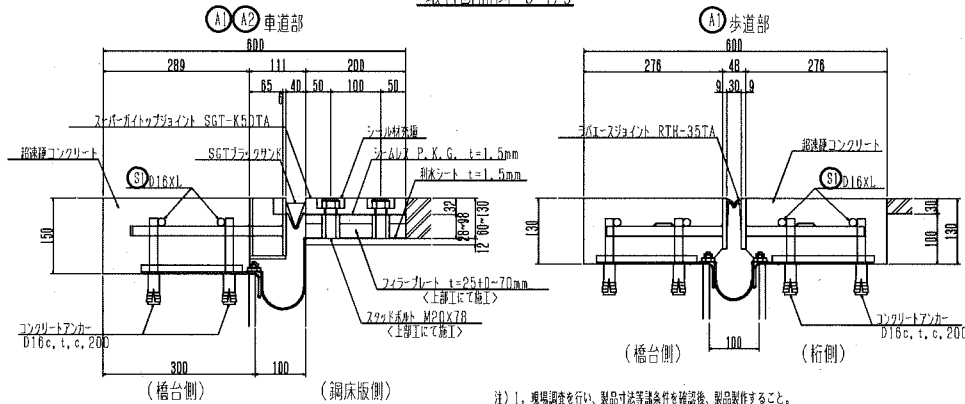
断面図 S=1/60



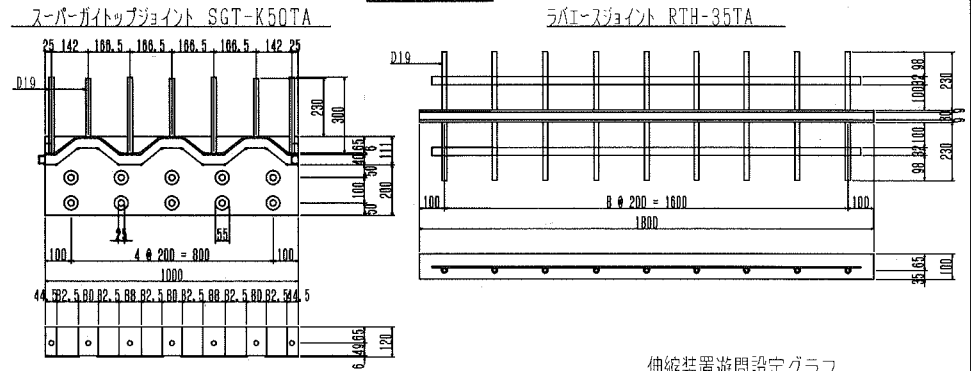
シールS詳細図 S=1/4



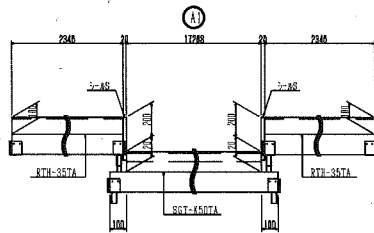
取付断面図 S=1/5



製品図 S=1/10

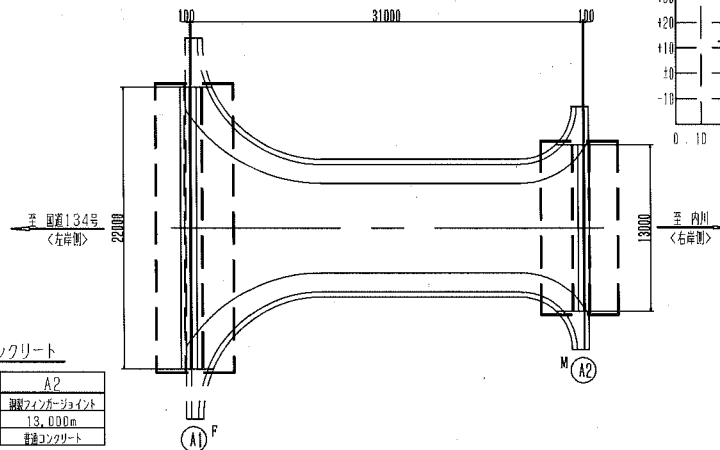


地覆部止水処理図 S=1/15

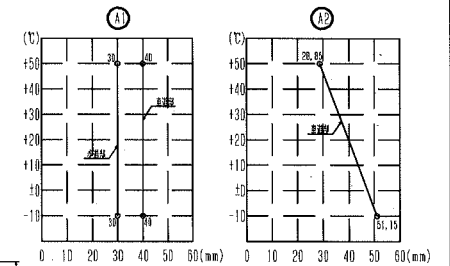


- 現場調査を行い、製品寸法等諸条件を確認後、製品製作すること。
- ダブル止水ユニットからの排水場所・方法は、協議を行い別途設計により決定すること。
- 定着は現場確認にて行うこと。
- 伸縮装置施工後に橋面上の防水及び舗装の補修を行うこと。
- 試験調査後に配列図を作成し、スタッドボルト位置及びフィラップレートの形状を決定すること。

位置図



伸縮装置遊間設定グラフ

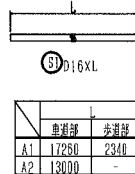


特記事項  
・詳細寸法を現地検測により確認して決定すること。

材料表

品名	仕様	単位	A1	A2	合計	備考
スーパーガイトップジョイント	SGT-K50TA	n	17,268	13,000	30,268	車道部
ラバージョイント	RTH-35TA	n	4,692	-	4,692	歩道部
鉛線コンクリート		m <sup>3</sup>	1.15	0.81	1.96	
シールS	仕様=L27	kg	1.1	-	1.1	
補強鉄筋	S1	kg	83.1	40.6	123.7	
コンクリートアンカー	D16	本	260	130	390	
フィラプレート	200X0-70XL	kg	948.9	714.4	1663.3	(参考値)
	200X25XL	kg	677.8	510.3	1188.1	(参考値)
スタッドボルト	M20X78	本	172	130	302	(参考値)

鉄筋加工図



旧伸縮鉄手及び既設コンクリート

	A1	A2
旧伸縮鉄手	鋼製フィンガジョイント	鋼製フィンガジョイント
既設鉄系	21,960m	13,000m
既設コンクリート	普通コンクリート	普通コンクリート

# 排水装置補修図

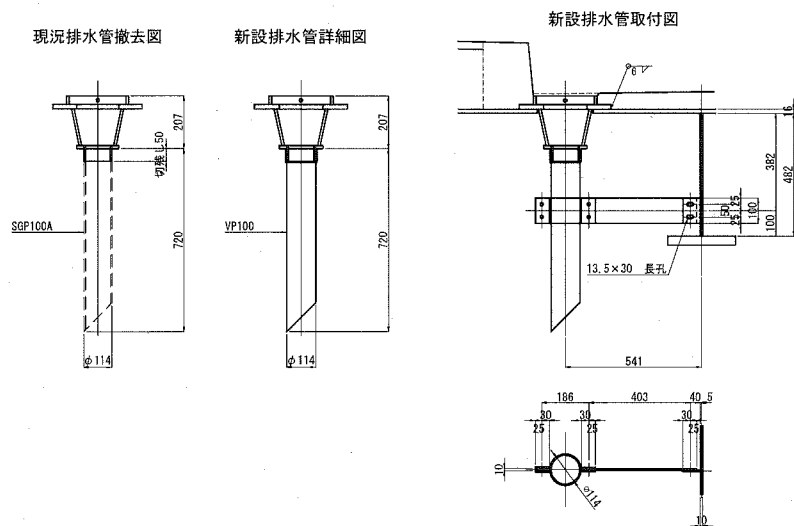
non scale

## 排水装置補修図

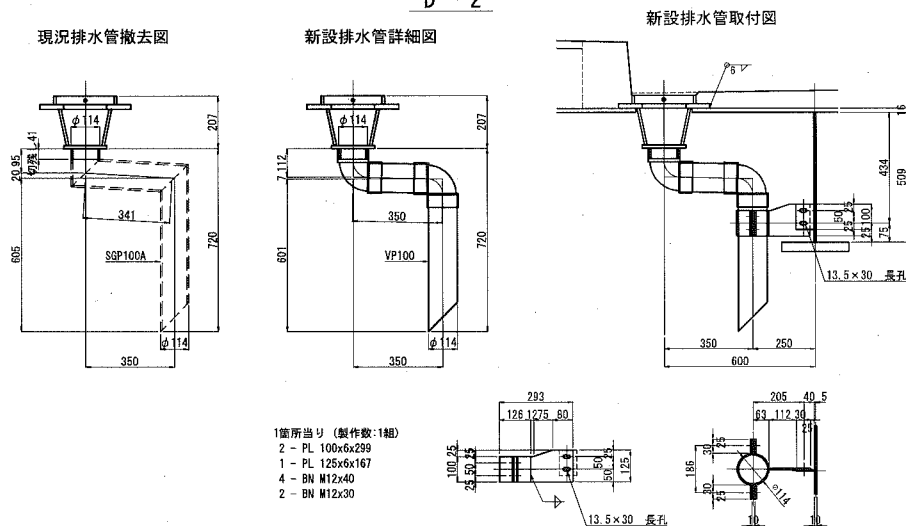
記号		
縮尺	各記	制定年度

排水管詳細図 S=1:10

D-1



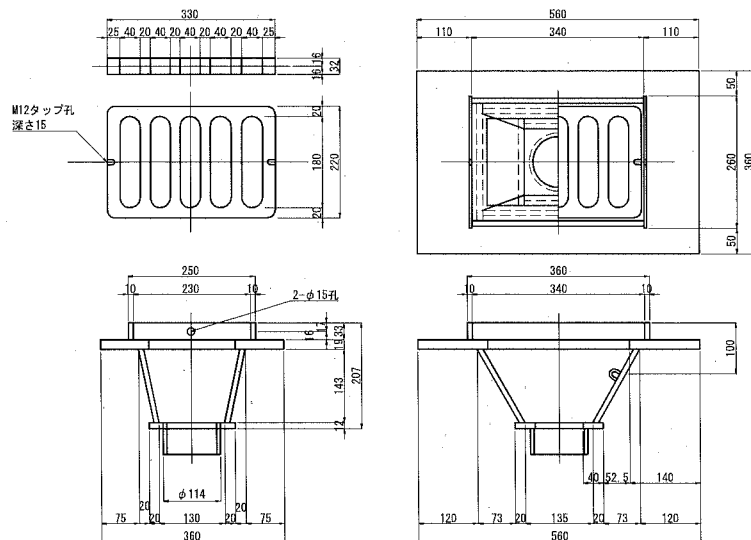
D-2



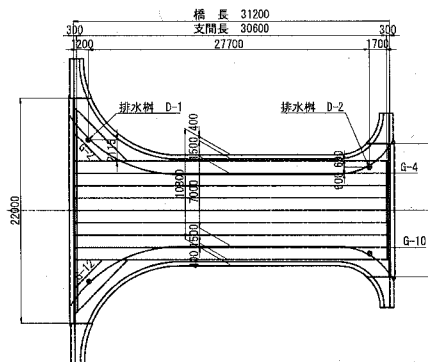
- 1箇所当り (製作数:1組)
- 2 - PL 100x6x299
- 1 - PL 125x6x167
- 4 - BN M12x40
- 2 - BN M12x30

注) 排水管支持金具のうち、主桁取付部は既設を準用し、排水管取付部は新規製作する。

既設排水ます詳細図 S=1:5



位置図 S=1:250



特記事項  
・特記なき材質はすべてSS400とする。  
・施工にあたっては、現地検測で既設構造物寸法を確認してから排水管路長等を決定すること。  
・排水ますは清掃、補修して既設排水ますを使用することを基本とする。損傷が著しい場合など交換が必要と認められる場合には、監督員と協議すること。



施工計画図 (その1)

<参考図>

non scale

施工計画図 (その1)

記号

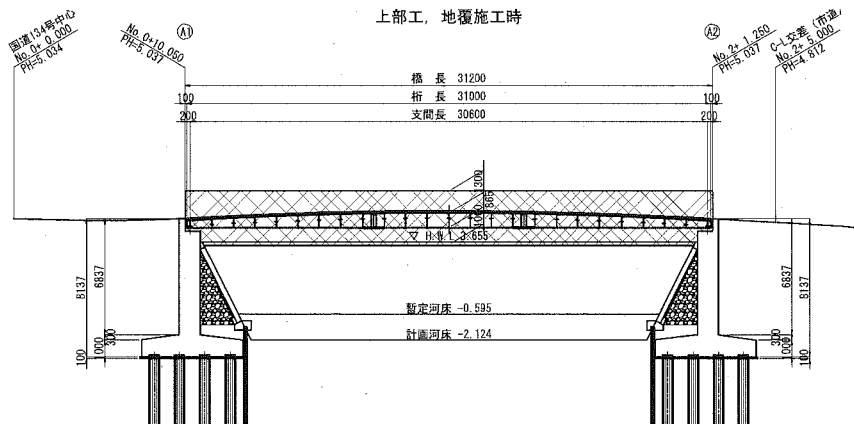
縮尺

各記

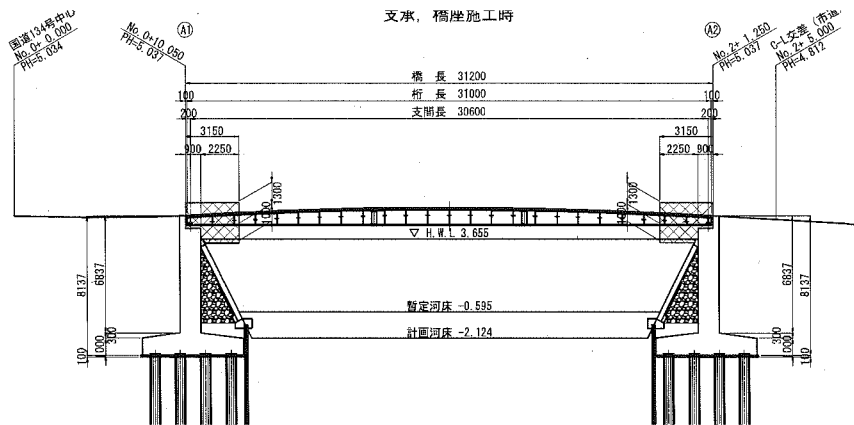
制定年度

側面図 S=1:150

上部工、地覆施工時



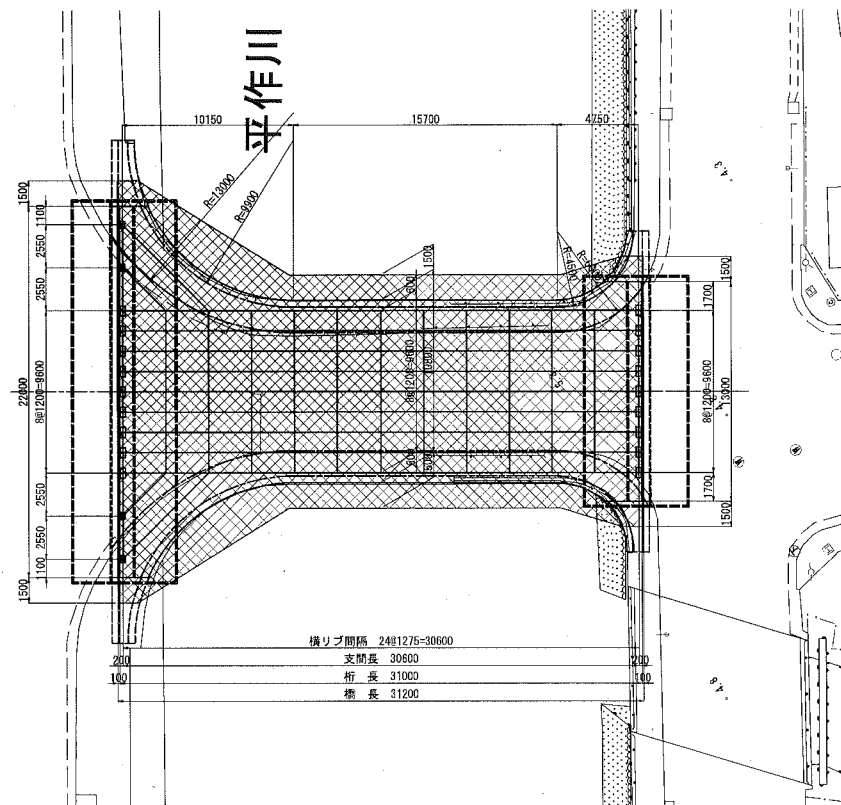
支承、橋座施工時



平面図 S=1:50

国道134号

平作川



施工計画図 (その2)

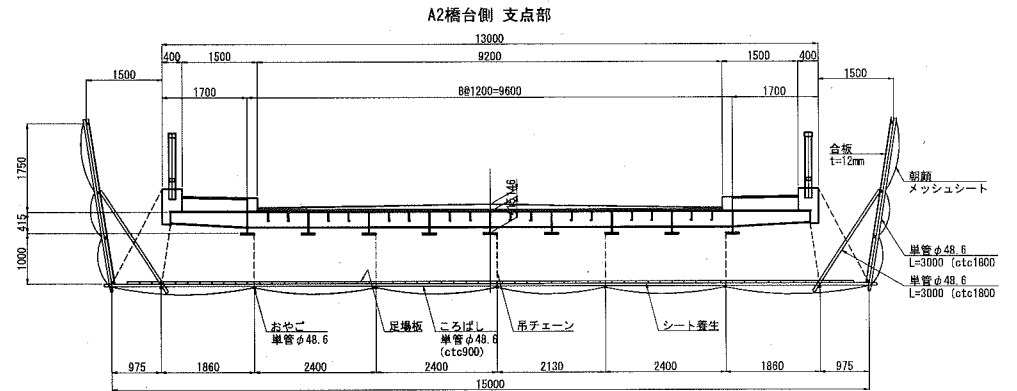
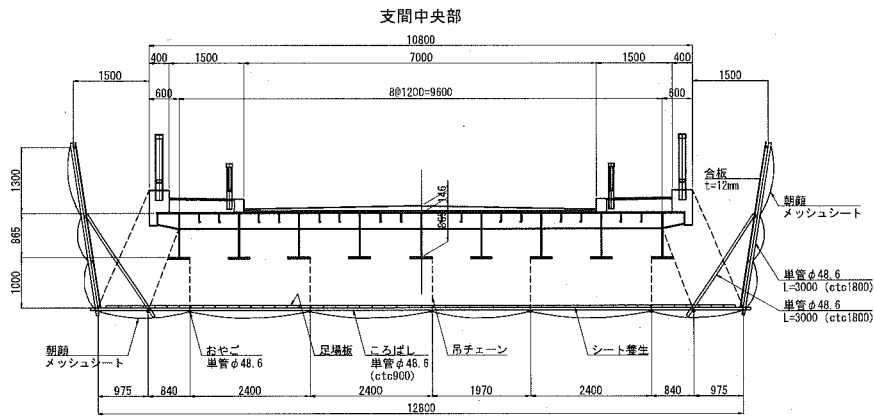
<参考図>

non scale

施工計画図 (その2)

記号		
縮尺	1:50	制定年度

断面図 S=1:50



注) 桁の塗装塗替え施工時および地盤側面のはく落防止対策施工時は、邪魔にならない位置に吊チェーン等を盛り替えながら施工すること。

